

JMA

医師会の組織強化に向けて

令和6年2月17日（土）

公益社団法人 日本医師会
常任理事 笹本 洋一



日本医師会キャラクター

「日医君（にちいくん）」



「日医君 北海道バージョン」

本日の内容

Part 1. 医師会入会率等の現状分析

Part 2. 入会促進に向けた取り組み例

Part 3. 組織強化に向けた取り組み

Part 4. 医師会って、なんだ! ?

Part 5. まとめ



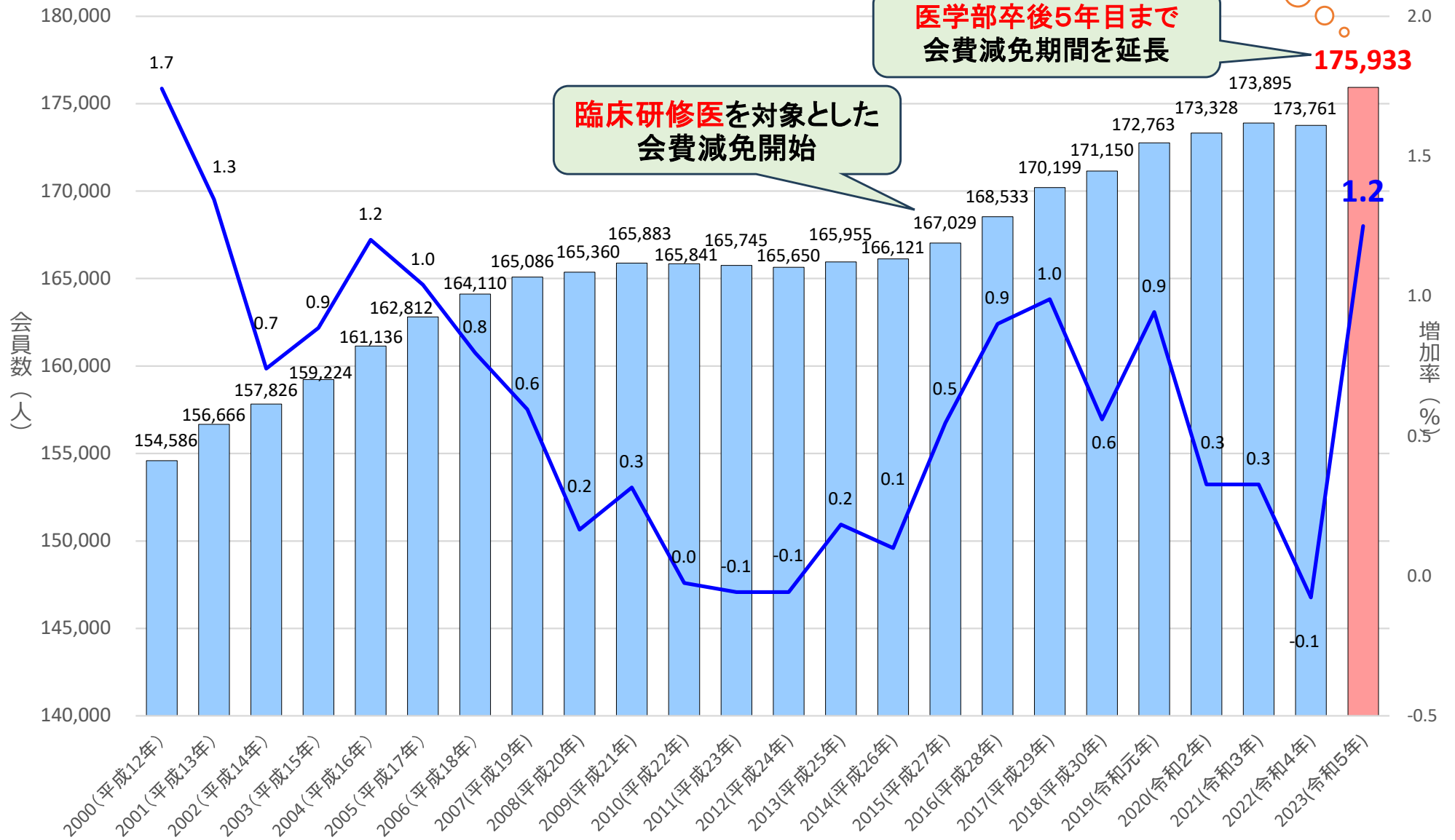
日本医師会会員数の推移

前年比で会員数が**2,000人以上増加**したのは2001年以降、**22年ぶり!**

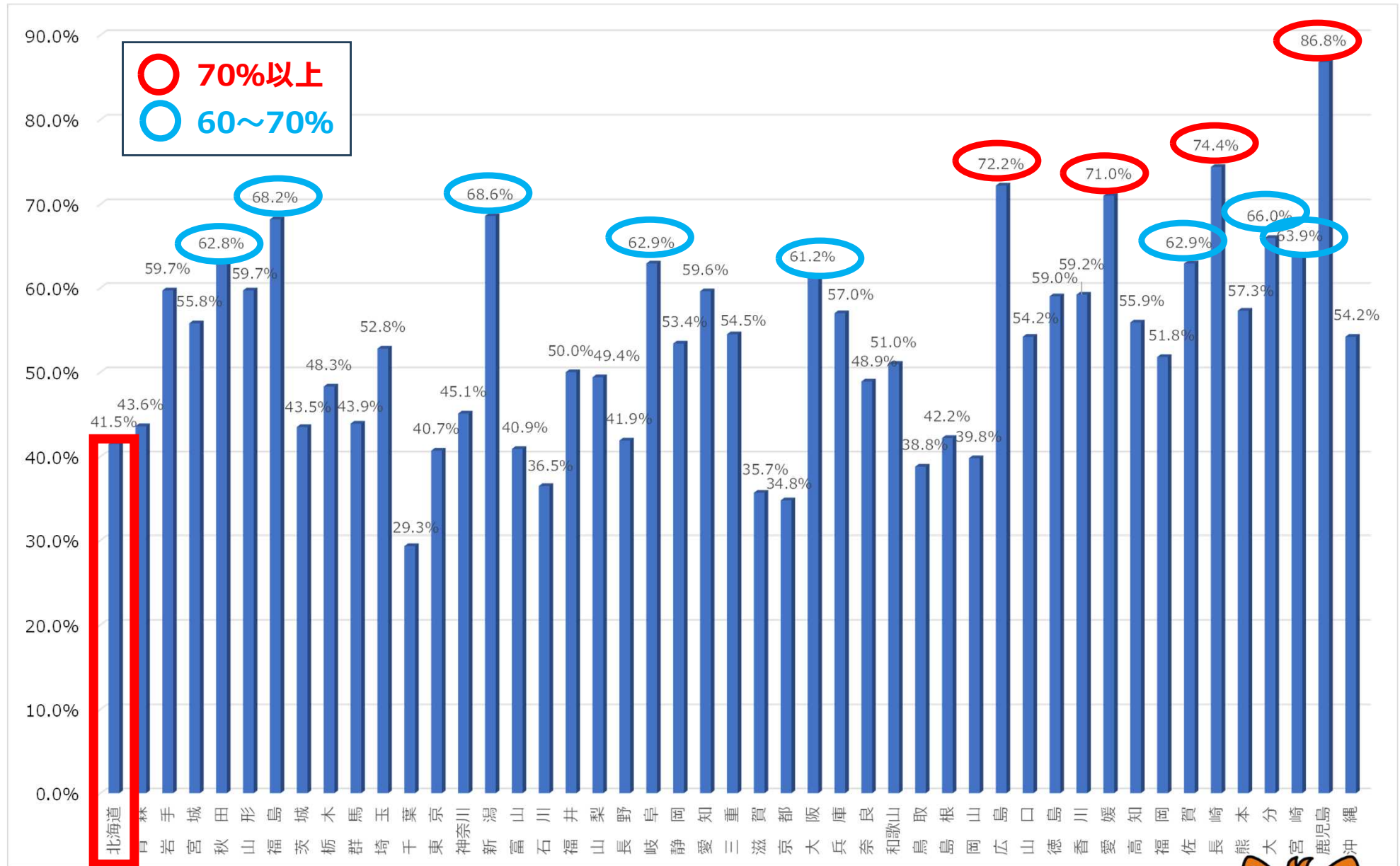
医学部卒後5年目まで
会費減免期間を延長

175,933

臨床研修医を対象とした
会費減免開始



令和4年度 都道府県における日本医師会入会率（総数）



70%を超えているのは、広島、愛媛、長崎、鹿児島の4県

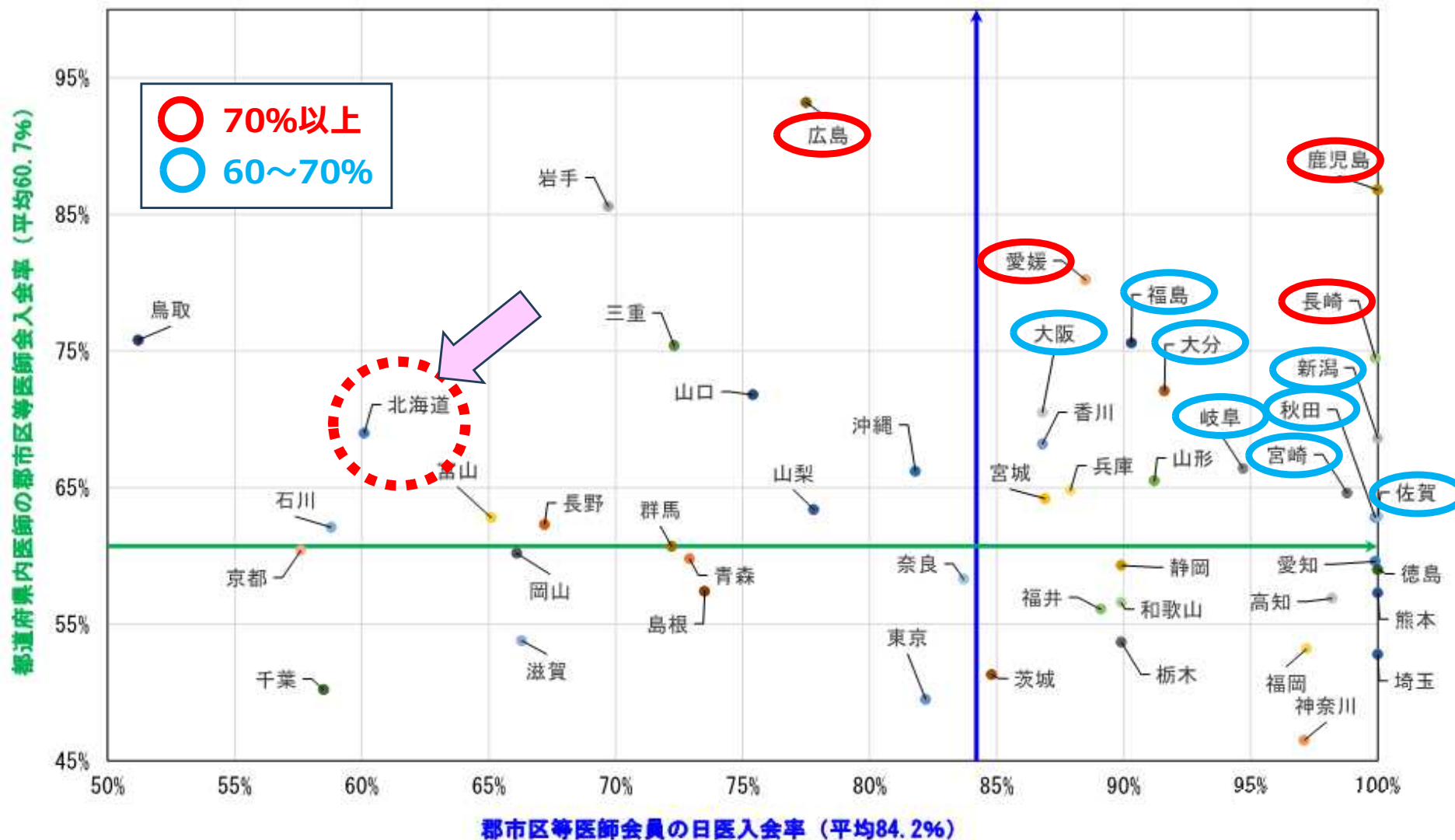
60~70%は、秋田、福島、新潟、岐阜、大阪、佐賀、大分、宮崎の8府県



令和4年度 郡市区等医師会入会率と郡市区等医師会員の日医入会率

総数

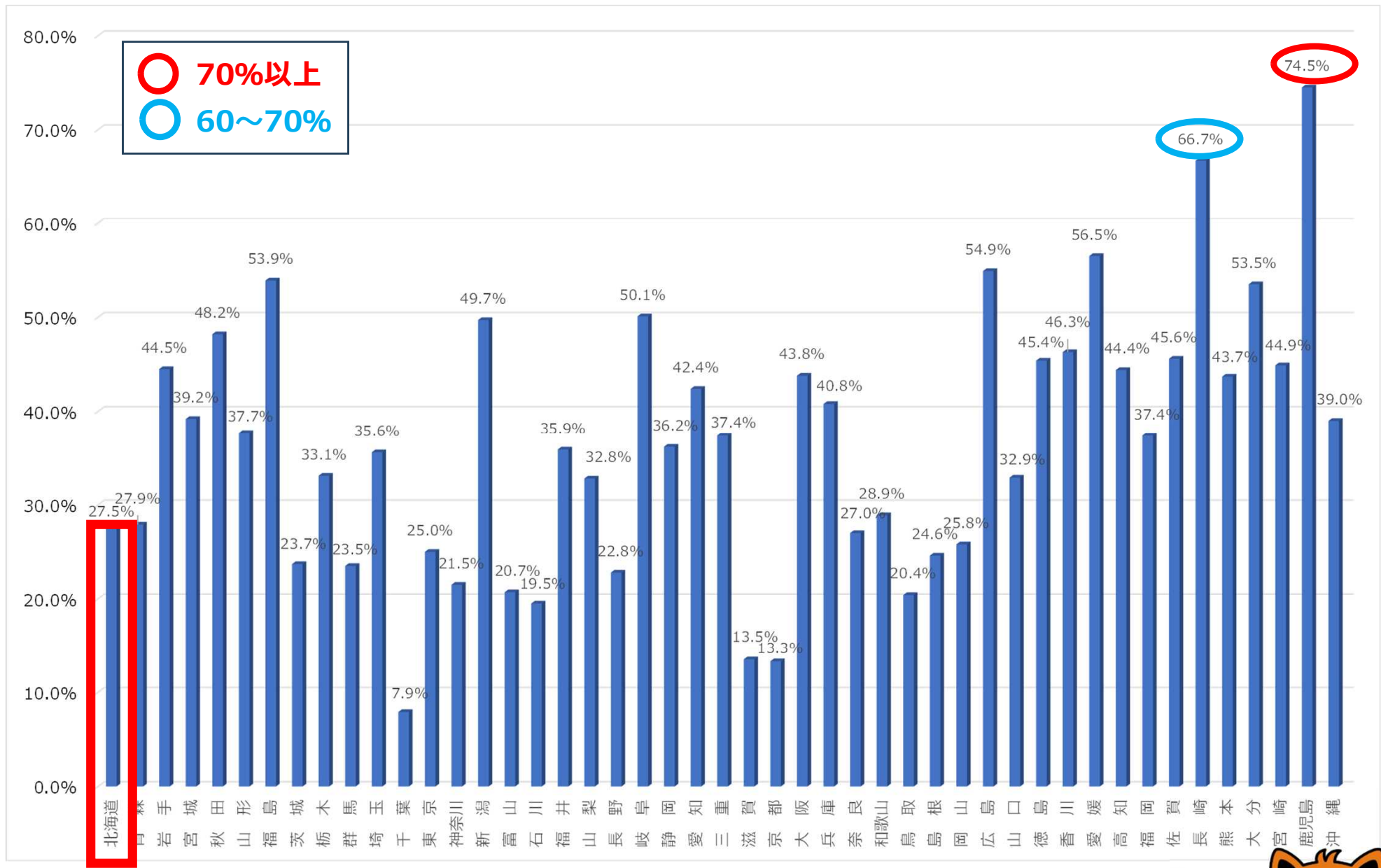
散布図：令和4年度都道府県内医師の郡市区等医師会入会率と郡市区等医師会員の日本医師会入会率（総数）



都道府県によってばらつきが大きいですが、大きく4つの区分に分類される。それぞれの地域の実情に合わせた対策が必要。



令和4年度 都道府県における日本医師会入会率（勤務医）



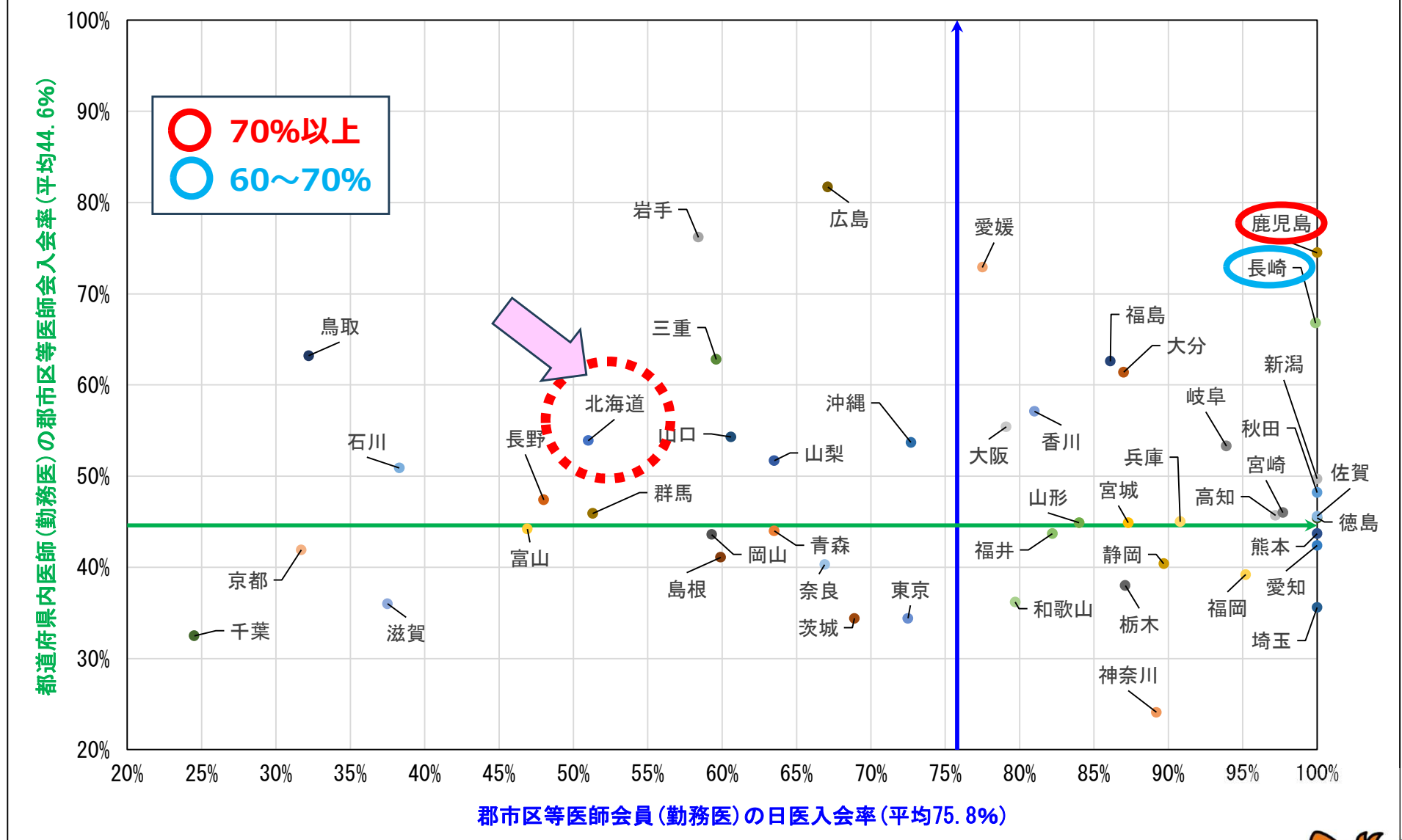
70%を超えているのは、鹿児島のみ。60~70%も、長崎県しかない。
 40都道府県が50%未満。



令和4年度 郡市区等医師会入会率と郡市区等医師会員の日医入会率

勤務医

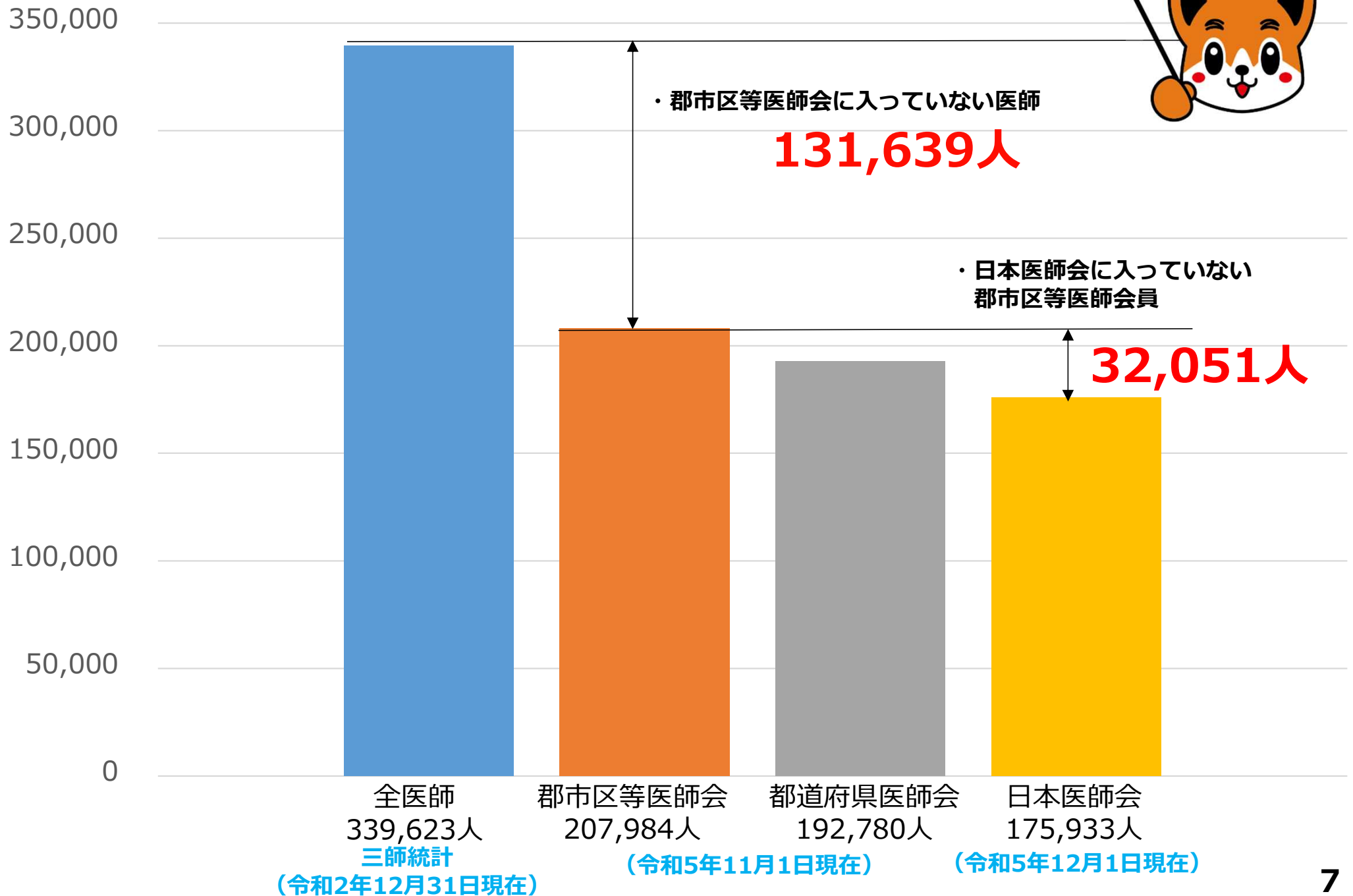
散布図：令和4年度都道府県内医師の郡市区等医師会入会率と郡市区等医師会員の日本医師会入会率（勤務医）



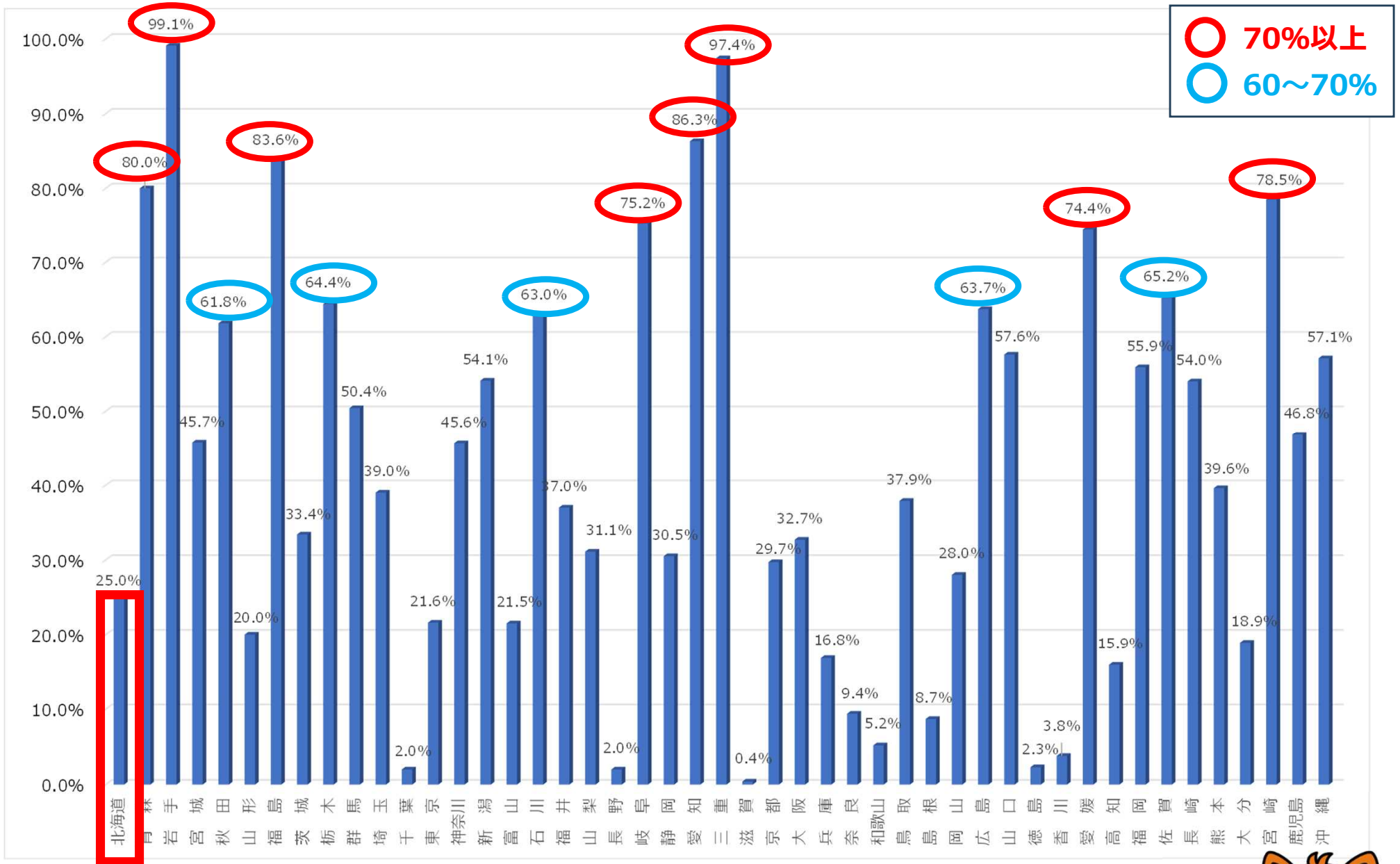
勤務医の状況も都道府県によってばらつきが大きいですが、全体的に総数の平均に比べて、入会率が低い。勤務医の入会率upがポイント。



アプローチすべきターゲット



令和4年度 都道府県における日本医師会入会率（臨床研修医）



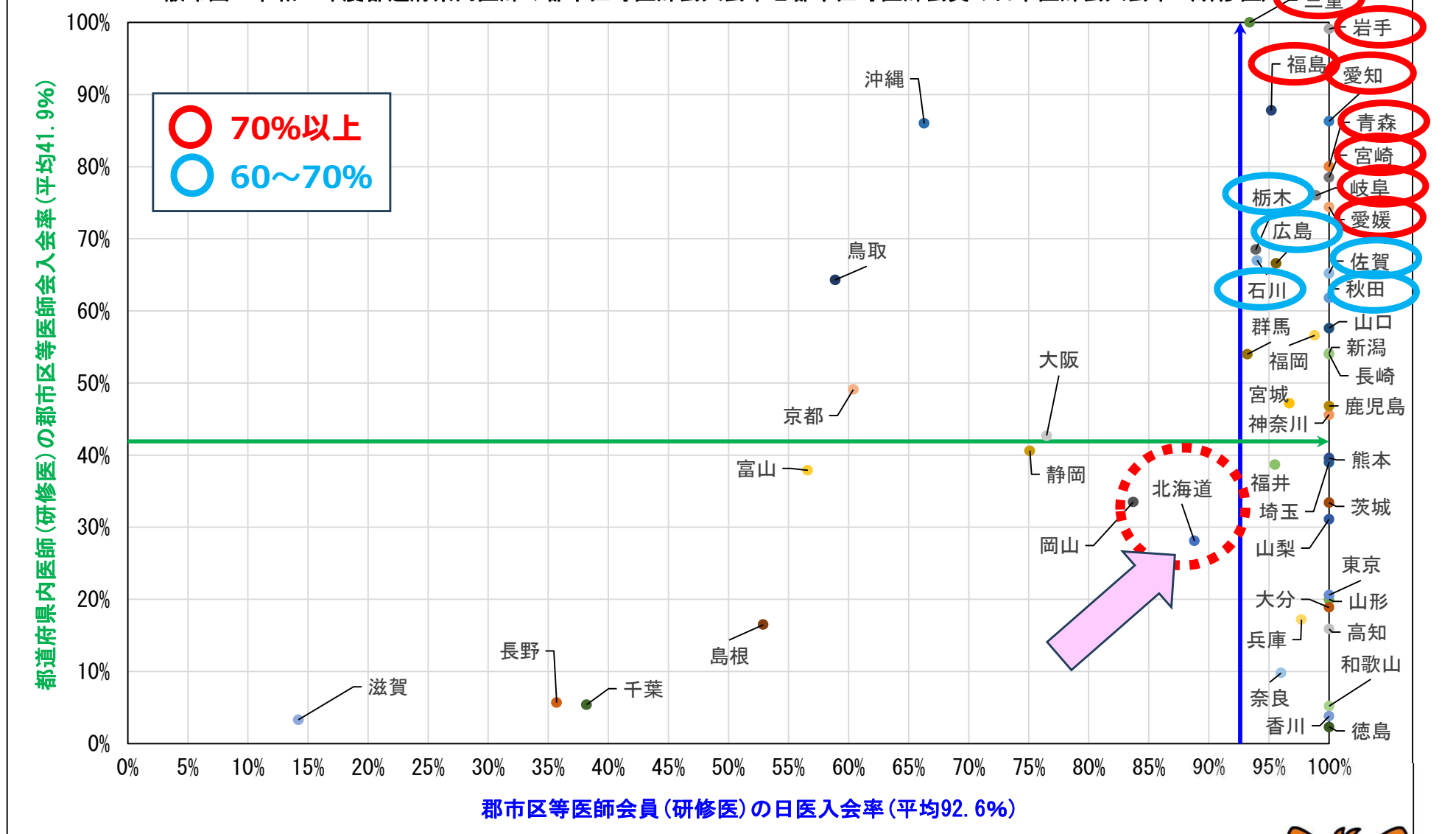
岩手、三重の両県は90%超え、青森、福島、愛知の3県は80~90%
 70~80%は、岐阜、愛媛、宮崎の3県
 60~70%は、秋田、栃木、石川、広島、佐賀の5県



令和4年度 郡市区等医師会入会率と郡市区等医師会員の日医入会率

研修医

散布図：令和4年度都道府県内医師の郡市区等医師会入会率と郡市区等医師会員の日本医師会入会率（研修医）

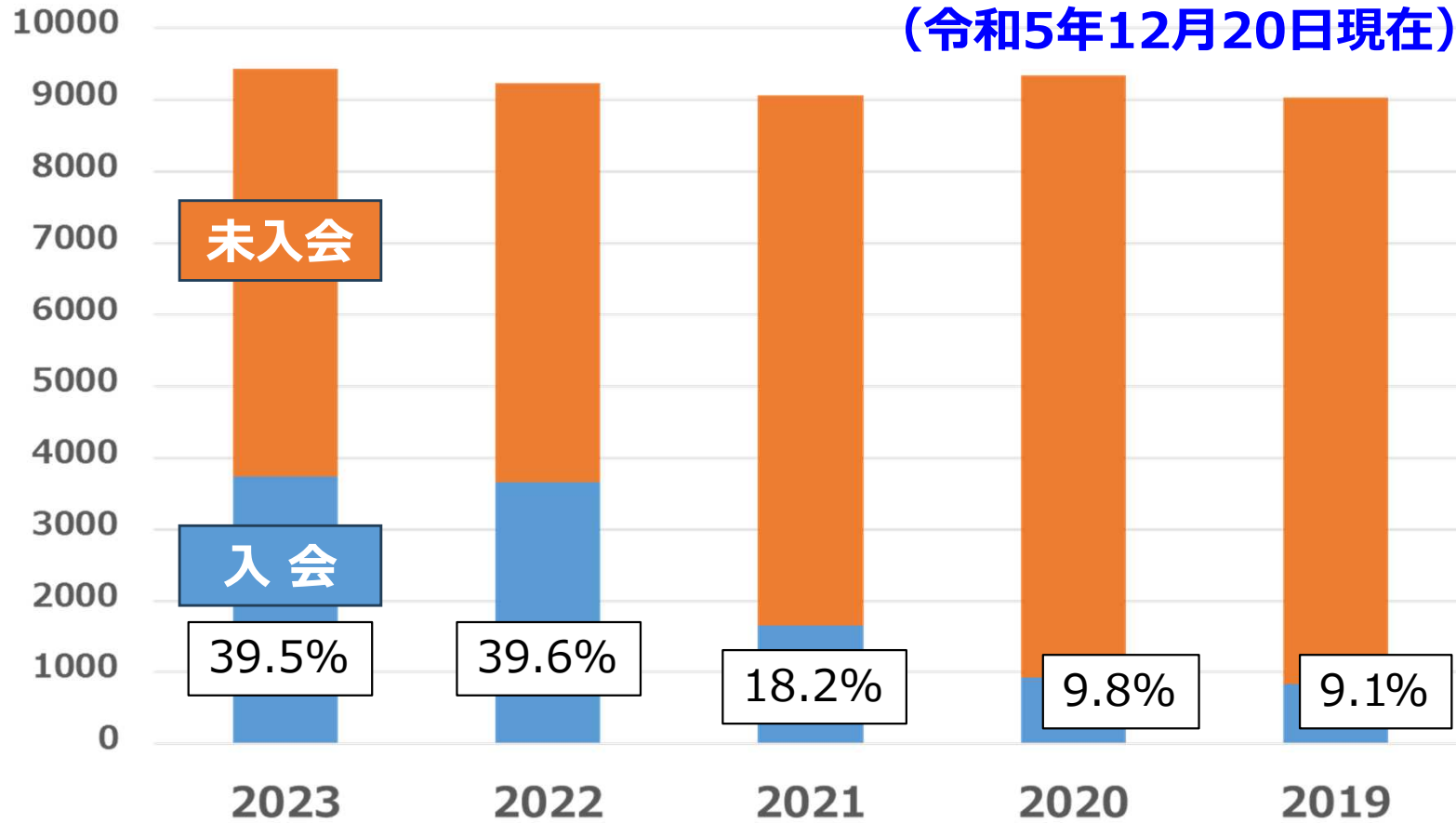


研修医の状況は、さらに都道府県によってばらつきが大きい。研修医のオリエンテーションが最もアプローチしやすい場なので、各都道府県の対策を確認し、好事例を共有する。

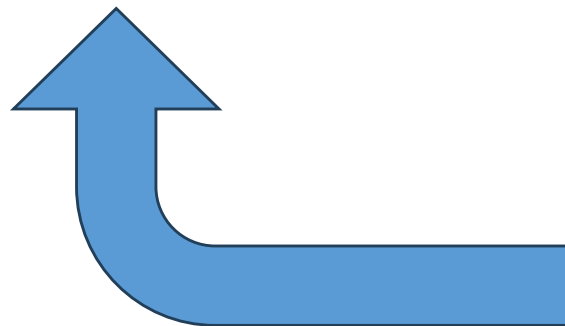
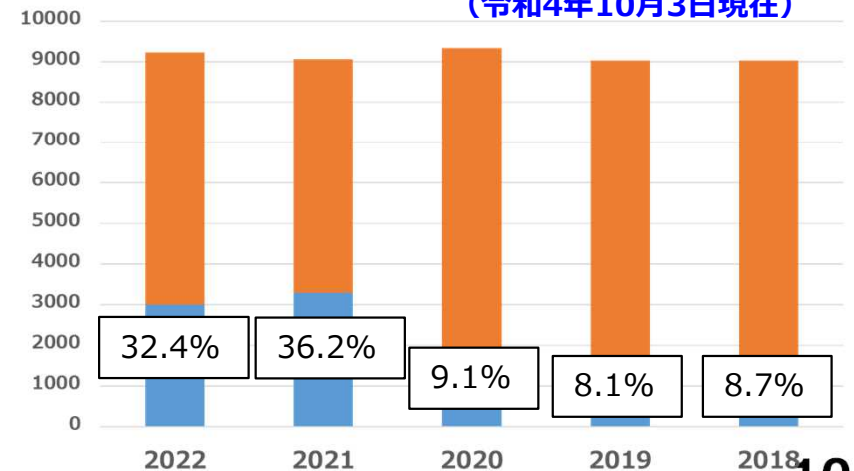


年度別の新規医師数と日医会員数

(令和5年12月20日現在)



(令和4年10月3日現在)



医学部卒後 5 年目までの日医会員数(令和5年12月20日現在)

	会員区分	会員数	年度合計
2019	A①	14	823
	A②(B)	496	
	A②(C)	13	
	B	279	
	C	21	
2020	A①	12	913
	A②(B)	547	
	A②(C)	28	
	B	289	
	C	37	
2021	A①	0	1,653
	A②(B)	766	
	A②(C)	218	
	B	544	
	C	125	
2022	A①	0	3,655
	A②(B)	0	
	A②(C)	1,871	
	B	1	
	C	1,783	
2023	A①	1	3,728
	A②(B)	0	
	A②(C)	1,841	
	B	2	
	C	1,884	
合 計			10,772

現状でも、3年目以降の医賠責の需要は一定程度ある

日医の医賠責の有用性がまだまだ知られておらず、強くアピールすることが極めて重要

さらに、医賠責以外の医師会のメリットを紹介する



(令和4年10月3日現在)

卒業年度	会員区分	会員数	年度合計
2018	A1	9	782
	A2(B)	538	
	A2(C)	15	
	B	204	
	C	16	
2019	A1	9	731
	A2(B)	510	
	A2(C)	25	
	B	147	
2020	C	40	847
	A1	3	
	A2(B)	511	
	A2(C)	100	
	B	128	
2021	C	105	3,281
	A2(B)	1	
	A2(C)	1,720	
	B	1	
2022	C	1,559	2,992
	A2(C)	1,495	
	B	1	
2023	C	1,496	9,361
	合計		

本日の内容

Part 1. 医師会入会率等の現状分析

Part 2. 入会促進に向けた取り組み例

Part 3. 組織強化に向けた取り組み

Part 4. 医師会って、なんだ！？

Part 5. まとめ



岩手県医師会の例（聞き取り）

【特徴】

- 郡市区等医師会入会率は、総数85.6%、勤務医76.2%、臨床研修医99.1%である。
- ただし、日本医師会までの入会率を見ると、総数59.7%、勤務医44.5%、臨床研修医は99.1%であり、特に勤務医に関しては、日本医師会への入会率が大きく落ち込んでいる。

【主な理由等】

- 勤務医のうち、多くの入会者は、県立病院と岩手医大の先生である。
- 県立中央病院からは、病院長に県医師会の常任理事を務めていただいている。
- 岩手医大からは、県医師会の副会長と常任理事を各1名務めていただいている。
- 臨床研修医については、医師会に入会するものだという意識があり、入会申込書を渡せば、日本医師会まで入会してもらえるとという土壌が定着しているようである。
- ただし、臨床研修医以外の勤務医については、郡市区等医師会あるいは県医師会までの入会までにとどまっている。

三重県医師会の例（聞き取り）

【特徴】

- 郡市区等医師会入会率は、総数75.4%、勤務医62.8%、臨床研修医100%である。
- 日本医師会までの入会率を見ると、総数54.5%、勤務医37.4%、臨床研修医97.4%と、特に勤務医の入会率が大幅に減少するが、臨床研修医の入会率は極めて高い。

【主な理由等】

- 県医師会長が、各臨床研修病院の院長を個人的に知っているのも、それぞれ個別にお願いしている。また、臨床研修病院の院長が集まる会などでも理解を得ている。しかしながら、3年目以降の専攻医が入っていないという問題もある。
- また、県医師会長より、大学病院の院長に5年目までの会費が減免になったことを直接お話しして、お願いしている。他の臨床研修病院についても、10月初めに各病院宛てに要請して、動きがなければ電話をする予定とのこと。
- 三重県には、MMC(Mie medical complex)というNPOの卒後診療研修センターがあり、研修システムを一律に管理している。初期研修の間は足並み揃えて対応できることが大きい。

広島県医師会の例（日医勤務医部会設立状況等調査回答）

【特徴】

- 郡市区等医師会入会率は、総数93.2%、勤務医81.7%、臨床研修医66.6%である。
- ただし、日本医師会までの入会率を見ると、総数72.2%、勤務医54.9%、臨床研修医は63.7%であり、特に勤務医に関しては、日本医師会への入会率が大きく落ち込んでいる。

【主な理由等】

- 広島県医師会では、「①大学病院との緊密な連携」「②広島県地域保健対策協議会を通じた行政・大学・医師会との連携」「③学術活動(広島医学会)の充実」「④基幹病院に直接出向いた医師会入会意義の説明」などの取り組みを行っている。
- ①については、**広島大学医師会の会長が県医師会理事として参画**しており、県内の多くの病院が広島大学関連であることから、勤務医の入会率に影響していると考えられると思われる。
- ②の対策協議会については、昭和44年の設置以降、長年にわたる活動を通じて、**行政・大学・医師会が連携する土壌・文化**が培われたことも勤務医の入会率に反映されているようである。
- ③については、初期臨床研修医の論文投稿を奨励し、優秀な論文には「広島医学会総会」にて「論文奨励賞」を授与しているとのことである。また、**医学会総会では、研修医セッション**を設け、**基幹病院の病院長等に研修医への参加の声かけ**をお願いしているようである。

長崎県医師会の例（勤務医委員会答申、日医ニュース原稿(H29)）

【特徴】

- 郡市区等医師会入会率は、総数74.5%、勤務医66.8%、臨床研修医54.0%であり、日本医師会への入会率も概ね同様である。

【主な理由等】

- 大学医師会に入会している勤務医に関しては、県内で他の勤務地に移動しても、新たな入退会手続きを要しないという運用を行っており、勤務医の入会・定着に効果を上げている。
- 毎年、勤務医部会総会を開催し、勤務医を対象とした内容で講演会やパネルディスカッションを行っているほか、勤務医部会以外でも、長崎県医師会としてさまざまな形で勤務医に対する取り組みを行っている。
- 長崎大学と協力し、初期研修医のオリエンテーションの時間に医師会活動の説明を行い、医師会への入会を勧めている。
- 研修医の全般的な問題を扱う長崎県医師臨床研修協議会へも参加をしている。この会は、通称"新・鳴滝塾構想推進事業"と呼ばれ、大学、基幹病院、行政のオール長崎で長崎県内の医師の拡充を目指し、医学生や研修医をサポートする事業を展開している。研修医の誘致のための病院見学の旅費の助成を大きな柱としており、合同説明会の主催、県外でのフェア出展などを通して、長崎県での研修をアピールしている。
- また、研修医教育に当たる指導医の指導力強化のために、指導医養成講習会も行っている。
- 長崎大学に対しては、研修医の教育資材購入のための寄付金や若手研究医師のために、助成金の贈与を毎年行っている。その他にも、県や大学主催の勤務環境改善や総合診療医に関する会議にも参加している。
- 女性医師等に関連した取り組みとしては、保育サポートシステムを構築し、現在は主に長崎市域の勤務医のためにサービスを提供しているが、いずれは全県下に拡充したいと考えている。

鹿児島医師会の例（聞き取り）

【特徴】

- 郡市区等医師会入会率は、総数86.8%、勤務医74.5%、臨床研修医46.8%であり、日本医師会への入会率も同様である。
- 臨床研修医の入会率は決して高くはない。

【主な理由等】

- 定款の規定により、郡市区等医師会入会者は、もれなく日本医師会まで入会することになっている。
- 岩手県医師会、広島県医師会と異なり、勤務医の入会率は決して高くない。県医師会事務局に確認したところ、特段の理由は不明との回答であった。
- 鹿児島県医師会の勤務医として医師会に参加する方々は、日本医師会の医賠責保険に入ることを一番大きな目的として入会しているということのようである。大学の先生方も、医師になったら、まず医師会に入会して医賠責の保険に入ることが定着していった結果ということのようである。
- また、大学が中心になって、しっかりと医師会に加入という仕組みを作っているということも入会率に影響している。
- 医師協同組合のメリットなども上手く広報しているようである。

茨城県医師会の取り組み

茨城県医師会の勤務医組織率を向上させるための特例として、**茨城県医師会勤務医入会サポートデスク**（以下、「サポートデスク」とします。）を創設し、令和3年4月1日より運用を開始いたしました。

なお、**対象者は40歳以下の日本医師会勤務医会員および制度発足後日本医師会まで入会しようとする勤務医**とします。※ただし、制度が安定するまでの当面の間、経過的に茨城県医師会まで入会の勤務医会員も対象とします。

また、サポートデスクに参加中の郡市等医師会（17郡市等医師会、R5.7.1現在）における対象者については、

- 入会・退会・異動手続きを**県医師会事務局が全て代行**
- 郡市医師会**入会金無料**
- 郡市医師会会費を**年額24,000円に統一**
- 会費徴収方法は本人口座からの引き落とし
- 引き落としした会費は所属郡市医師会に還元

なお、筑波大学医師会・東京医科大学茨城医療センター医師会につきましては、

- 他郡市医師会への入会手続きを県医師会事務局が全て代行（両大学等医師会への入会・退会手続き等は従前のとおり）となります。

【出典】：茨城県医師会ホームページ

<https://www.ibaraki.med.or.jp/info/%E8%8C%A8%E5%9F%8E%E7%9C%8C%E5%8C%BB%E5%B8%AB%E4%BC%9A%E5%8B%A4%E5%8B%99%E5%8C%BB%E5%85%A5%E4%BC%9A%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88%E3%83%87%E3%82%B9%E3%82%AF%E3%81%AE%E5%89%B5%E8%A8%AD%E3%81%AB/>



京都府医師会の取り組み 1/2

01

KMA.com会員とは？

Q1 どんな人が会員になれる？

A1

- ① 勤務医・研修医・医学部医学科生なら、だれでも登録可能！
- ② 卒業年数に制限はありません！
- ③ 勤務地、診療科、大学は問いません！

Q2 入会金・会費は？

A2 すべて無料です！

Q3 登録方法は？

A3 QRコードから簡単に登録できます！

Q4 どんなメリットがある？

A4

- ① 会員だけが見られる「KMA.comサイト」にアクセスできる！
- ② 研修会等の情報をメールやLINEでいち早く受け取れる！



02

「KMA.com」には役立つ情報が満載！

研修医・若手医師応援サイト「KMA.com」



<p>イベント情報 WEBから参加申込可能！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修医向け(産科互換KYOTO、研修医ワークショップの案内) ② 学術講演会(医師会共催の学術講演会情報) ③ ワークライフバランス関係(ワークライフバランス塾KYOTO等の案内) ④ 産業系・スポーツ医研連会 ⑤ 研修医交流パーティー
<p>必読 是非、読んでほしい情報は！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修医向け情報誌「Arzt」 ② 研修医向け情報誌「Arzt」 ③ 厚血・血管硬直時の痛み・しびれへの対応
<p>動画ライブラリー 日常診療で役立つ経験知を配信！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修医向け動画配信(役立つ知識、明日から使える最新診断など) ② 学術講演会 動画配信
<p>研修医「知」つク情報！ 知って得する情報満載！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 研修医REALインタビュー(研修医の先方リアルな一日を紹介！) ② missionをクリアする！(明日からの現場に使えるTips満載！) ③ みんなのLife&Work style(研修医向けアンケート結果)
<p>生活支援情報 いざという時の強い味方！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師賠償責任保険 ② 教育研修 ③ 日医年金 ④ 医師資格証 ⑤ 所得増進保険 ⑥ 無料会議室提供サービス ⑦ 講師出席サービス
<p>医師会について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 医師会活動について ② 医務トレーニングセンター ③ 子育てサポートセンター



<https://www.kyoto.med.or.jp/kmacom/>

※Google等の検索エンジンからは「KMA.com」のサイトをご覧いただけません。必ず上記のQRコード又はURLをご利用ください。

京都府医師会の取り組み 2/2

03

「KMA.com」に登録してみよう

まずは京都府医師会公式LINEへの友だち登録から！

研修医・勤務医・医学部生であればだれでも登録可能！

入会金、年会費は無料！QRコードから簡単登録！

STEP 01



公式LINE友だち登録をお願いします！
上記のQRコードを読み込んでください

STEP 02



登録完了のLINE通知が届きます
通知に記載のURLをクリック

STEP 03



①氏名 ②勤務先病院
③メール/LINE配信選択
④メールアドレスを入力してください

STEP 04



「KMA.com会員」登録完了の通知
登録完了！

LINEをされない先生は右記のQRコードからも登録できます▶



04

医師会への入会について

医師会への入会を希望される先生は引き続き登録してください

京都府医師会・日本医師会への入会希望の先生は

「KMA.com会員」登録完了のLINEに記載されているURLから登録をお願いします

医師賠償責任保険もスマホから簡単登録！

STEP 01



登録完了のLINE通知に記載のURLをクリック

STEP 02



メールアドレスを入力してください

STEP 03



医籍登録番号や医師賠償責任保険の
加入の有無等を入力してください

STEP 04

「京都府医師会」
入会完了の通知
入会完了！

05

「KMA.com」から最新情報をお届け！



新会員情報管理システム構築と 全医師会導入への展望



1. 新会員情報管理システム構築状況と対象範囲

1) 新会員情報管理システム(新システム)構築プロジェクト実施状況について

① 2023年12月14日構築開始

a. 日医関係各課同席の元、キックオフを実施

② 新システム主要機能(2024年10月頃公開分)

a. 医師のMyページ:個人情報の管理

- 医師自らが登録情報を管理:住所・送付物発送/停止・所属学会等を管理
- Web手続きにより異動手続きを簡便化
 - 新たな勤務先や所属医師会を選択し申請

b. 医師会事務局:会員情報の管理

- 所属会員の入会・異動・退会および登録情報を管理(代理申請を含む)
- 医賠償特約保険加入状況や医師年金加入状況を把握

c. システム管理:共通マスタ管理と運用管理

- 全医師会が医師会マスタ・医療機関マスタ・学会等マスタを共通利用可能
- コールセンタの設置:会員・事務局へのサポートを充実
- FAQサイトを公開





③ 新システム主要機能(2025年3月公開予定)

a. 認定産業医・認定健康スポーツ医関連機能

- Myページから会員・非会員が受講可能な研修会を選択し申請が可能
 - **非会員もMyページ登録が必須**
- 取得単位の確認・受講履歴確認・取得中の認定医の有効期限を確認可能
 - 各医師会事務局が所属会員の認定医取得状況を閲覧可能
- 認定産業医申請・認定健康スポーツ医申請をWeb手続き化
 - 各医師会事務局が会員の申し出により代理申請が可能

b. 生涯学習関連機能

- 研修会の申込みと状況管理・受講履歴確認が可能
- 取得単位の確認・学習単位取得証の発行
 - 各医師会事務局が所属会員の単位取得状況を閲覧
- 取得単位の事後申請:生涯教育申告をWeb手続き化
- 日医生涯教育認定証出力をご自身や最寄り医師会が可能

c. 研修会開催管理

- 研修会を開催する医師会が研修会情報を登録管理
- 受講者の申込み状況の管理と出欠登録
- 将来的には医師資格証による出欠管理も視野





2. 新システム画面イメージ

1) ログイン画面イメージ案 ※システム名・カラー共にデザイン案



(パソコン用)



(スマートフォン用)

MAMIS : Medical Association Member Information System
の略



2) 会員の登録情報管理画面イメージ案

マイページ： 日医 太郎 日本医師会 10年 | 医籍登録番号：第999999号 医師会の切替 日本医師会

マイページTop > 登録情報

日本医師会

登録情報

異動届

退会届

ログイン情報

医師会検索

よくあるご質問

お問合せ

お知らせ一覧

日本医師会 登録情報

会員様の登録情報を表示しています。
登録内容を変更する場合は「登録情報を変更する」ボタンを押してください。

1. 個人について 登録情報を変更する

医籍登録番号	100001
氏名(フリガナ)	日医 太郎 (ニチイ タロウ)
生年月日・性別	1984年 7月 20日 男
連絡先 自宅	TEL. 00-0000-0000 FAX. 00-0000-0000
<input type="text" value="文書送付先"/>	550-0002 大阪府大阪市西区土佐堀1-3-8ビル00F
電子メールアドレス	aaa@a.a.com
その他詳細情報	詳細を見る

2. 医師会情報 登録情報を変更する

所属医師会	日本医師会
-------	-------

3. 所属施設について 登録情報を変更する

所属施設名	大阪〇〇〇〇病院
所属施設の役職	院長
開設主体	医療法人〇〇〇〇
施設業務	〇〇〇〇〇〇
その他詳細情報	詳細を見る

日本医師会 10年 |
通算所属年数を可視化

- ・会員自らが登録情報を管理
- ・医師会事務局は代理入力可



3)会員の異動申請時の画面イメージ案

マイページ： 日医 太郎 日本医師会 10年 | 医籍登録番号：第999999号 医師会の切替 豊中市医師会

都道府県医師会

登録情報

異動届

退会届

豊中市医師会 異動届

ご登録の医師会の会員登録情報を表示しています。
異動先の医師会名を入力登録情報をご確認のうえ「異動を申請する」ボタンを押してください。

退会する医師会

豊中市医師会

退会希望月日

2024年 3月31日

異動先医師会

堺市医師会

異動希望月日

2024年 4月 1日

次へ

Step1
所属中の医師会を
自動設定

Step2
異動先医師会を選択

1 医師会选择 2 確認 3 完了

異動届

確認画面

異動先の医師会をご確認のうえ「異動を申請する」ボタンを押下してください。
異動申請が最寄りの医師会事務局に通知されます。

異動申請先

豊中市医師会

堺市医師会

異動を申請する

戻る

Step3
確認後申請

【重要】

- 所属中医師会(退会する医師会)事務局へ退会申請、異動先医師会(入会する医師会)事務局へ入会申請を同時に通知
- 両医師会事務局の承認操作完了時に異動が成立



4) 会員の退会申請時の画面イメージ案 ※複数入会時の例

1 医師会選択 2 確認 3 完了

退会届

退会する医師会を選択してください。

※ 複数のグループが表示されている場合、1回の操作につき1グループのみ申請が可能です。
 ※ 上層の医師会を退会する場合、下層の医師会も同時退会となります。

Step1
退会を希望する医師会を選択

グループ1	グループ2	グループ3
1層 大阪市北区医師会	1層 東京都港区医師会	1層 横浜市医師会
2層 大阪府医師会 <input checked="" type="checkbox"/>	2層 東京都医師会	2層 横浜市医師会
3層 日本医師会 <input checked="" type="checkbox"/>	3層 日本医師会	3層 神奈川県医師会
	4層 日本医師会	

次へ

お問合せ TEL. 000-0000-0000 [電話受付]

確認画面

退会される医師会をご確認のうえ「退会を申請する」ボタンを押下してください。
 退会申請が最寄りの医師会事務局に通知されます。

退会申請先

大阪府医師会

日本医師会

退会を申請する

戻る

Step2
確認画面で申請ボタンをクリック

Step3
減免対象者へアナウンス
※減免の有/無に合わせ表示内容を変更

会費無料期間中です
 ○年○月まで会費は発生しません。

医師会員には、以下のようなメリットがあります。

- 医師資格証の発行手数料・更新料が無料です。
- 日本医師会生涯教育制度やeラーニングなど、最新の医学・医療を学び続けることができます。
- 日本医師会が認定産業医や認定スポーツ医の認定制度に割引が適用されます。

Step4
「本当に退会しますか？」
確認を表示

退会手続きを続けますか？

退会手続きを続ける キャンセルする

本当に退会しますか？

- 退会申請が行われた場合
- ① 該当の医師会事務局へメールとシステム上で通知
- ② 事務局がご本人へ“電話”や“対面等”で退会事由を確認
最終の意思確認後、承認処理を行うまで入会状態を維持



3. 現在の都道府県医師会、郡市区等医師会連携状況

1) 先行導入対象医師会へのアプローチ

- ① システムを持つ医師会等を中心にヒアリングと協力依頼を実施
 - a. ブロック当番県を主体に構成
 - 北海道、宮城県、群馬県、栃木県、東京都、愛知県、三重県、京都府、大阪府、広島県、福岡県、大分県、熊本県
 - b. 14大都市医師会等を主体に構成
 - 札幌市、仙台市、国分寺市(新設)、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、堺市、神戸市、広島市、福岡市、北九州市
 - c. 上記以外の医師会かつ、下記同一のパッケージソフト導入医師会へ依頼予定
 - 愛媛県、松山市、徳島県、徳島市等
- ② 医師会用パッケージ製品を調査し新システム連携仕様を相談中※会員情報室調べ(2024年1月時点)
 - a. 川崎市、堺市、神戸市等を含む**12**医師会が使用中の製品(G社)
 - b. 札幌市、北九州市医師会を含む**7**医師会が使用中の製品(S社)

参考:2023年6月 会員情報管理に係る現況調査報告より抜粋 (Q1. 会員管理の方法 回答数:715件)

	① 独自構築システム	② 市販のWeb・パッケージ等システム	③ 他の医師会と共有するシステム	④ Access等データベースソフト	⑤ Excel等表計算ソフト	⑥ 紙の台帳管理	⑦ その他
都道府県医師会	31	2	0	12	2	0	0
郡市区医師会	55	20	0	55	346	178	14

一部医師会と個別相談中



2)新システム用周知サイトを開設:URL:<https://member-sys-info>

新会員情報管理システム
構築プロジェクト 情報共有サイト

① 進捗状況や今後の予定・説明会等を適宜公開し情報共有を図る

ご挨拶 | 日本医師会長 松本 吉郎

日頃より日本医師会の会務運営に特段のご理解とご支援を頂いておりますこと、厚く御礼申し上げます。

この度、新会員情報管理システム構築プロジェクトを開始いたしましたことを、皆様にご報告いたします。

本プロジェクトは、これまで課題とされていた、各医師会独自に運営されている情報管理システムの管理手法やセキュリティレベルの標準化、内部統制機能の発揮等を解決すると同時に、本会会内に設置しております医師会組織強化検討委員会からの提言「全国の医師会及び医師会員が共通で利用可能な入会・異動等のWeb手続きシステムの構築」の実現を目的とするものです。

新会員情報管理システムは、全国の医師会及び医師会員が利用できる、Webベースのシステムです。特に、これまで書類で行ってきた入会・異動等の手続きをWeb上で行うことで、医師会員及び医師会に入会を希望する者の負担を軽減することができ、また、各医師会での情報管理や手続きの効率化など、様々なメリットが期待できます。

本プロジェクトの成功には、全国の医師会・医師会員の皆様に等しく新システムをご利用いただくことが必要です。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年12月
日本医師会長 松本 吉郎



ご挨拶 | 日本医師会 常任理事 長島 公之

日本医師会 情報ならびに会員情報担当の、長島です。近年、医療業界でも、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進が重要な課題となっておりますが、会員情報管理システムの刷新は、「医師会DX」の推進に不可欠な取り組みです。新会員情報管理シ...

© 2023年12月18日 ■ メッセージ



ご挨拶 | 日本医師会 常任理事 笹本 洋一

新会員情報管理システム構築プロジェクト推進の任を受けております、笹本です。現在 日本医師会で運用している会員情報管理システムは運用開始から7年が経過し、老朽化が問題となっていました。また、日本医師会館内でしか利用できないクローズドシステム...

© 2023年12月19日 ■ メッセージ





4. 令和5年度～令和6年度の予定

1) 令和5年度中に予定する全国の医師会向け周知活動

- ① 2024年2月16日 事務局長連絡会議にて概要を説明
- ② 2024年3月 2日 医療情報システム協議会:事務局セッションにて説明
- ③ 2024年3月25日 会員情報担当理事連絡協議会にて説明と協議
- ④ 全国の医師会と構築検討会議を継続開催予定
 - a. 第二回新会員情報管理システム検討会:2月中のWeb開催予定
 - b. 第三回新会員情報管理システム構築検討会:3月中の開催を目指す

2) 令和6年度新システム公開に向けた周知・導入支援活動

- ① **会員向け周知の強化:システム紹介動画・マニュアルを周知サイトへ掲載予定**
- ② **全国の医師会事務局向け:個別説明会・ブロック別説明会の企画と実施**

本日の内容

Part 1. 医師会入会率等の現状分析

Part 2. 入会促進に向けた取り組み例

Part 3. 組織強化に向けた取り組み

Part 4. 医師会って、なんだ! ?

Part 5. まとめ



組織強化に必要なこと

- ① 入会を増やす
- ② 退会を減らす
- ③ 組織力の向上



① 入会を増やす



1) 研修医・専攻医の入会率を上げる

- ・ **研修医のオリエンテーション**が最も良いチャンス
- ・ 大学病院・臨床研修病院の研修担当者にアプローチする
- ・ **卒後5年目までの医師に日本医師会の会費が減免**になったこと、医賠償保険にお得に加入できることなどメリットをアピール

2) 日医に未入会の郡市区等医師会員へのアプローチ

- ・ 名簿を作成し、郡市区等医師会長、都道府県医師会長、日本医師会長名で呼び掛ける

3) 郡市区等医師会に未入会の医師へのアプローチ

- ・ 各都道府県、郡市区等医師会の様々な機会、それぞれの担当役員から医師会の意義や役割、メリット等について説明をお願いします
- ・ プレゼン資料の原案は日医で作成しますので、ご活用ください

② 退会を減らす



1) 会費の負担を減らす

- **卒後5年目まで日本医師会の会費を減免**
郡市区等医師会、都道府県医師会にもご協力をお願いしたい
- **30歳以下の勤務医**の医賠償の保険料は、**25,000円割引**（日医からの補助）
- **令和6年度より31歳以上の勤務医**の医賠償の保険料は、**4,000円減額**

2) 入退会、異動の届け出を簡素化

- 入会の際、書類による申し込みが必要。今の時代にそれでよいのか？
- 研修医、専攻医等若手の勤務医は職場の移動が多く、その都度書類による郡市区等医師会に退会・入会の手続きをするのが面倒
- 現在、Webで届け出ができるシステムを開発中
(2024年中の稼働開始を目標)

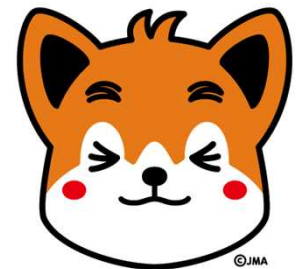
③ 組織力の向上

1) 医師会事業への理解促進と帰属意識の醸成

- ・ 入会した若手医師に対しては、医師会員としての定着を図るべく、**医師会事業への理解促進並びに帰属意識の醸成に向けた取り組み**の実施もご検討いただきたい
- ・ 例えば、研修医を構成メンバーとした委員会やWGを設置し、研修医自身が企画するイベントや学会・懇親会等に医師会が協力する
- ・ 研修医間のメーリングリストやSNSの開設を医師会がお手伝いする等

2) 組織率の現状と危機感を共有する

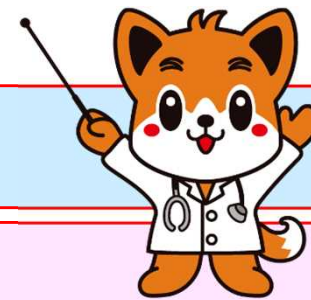
- ・ **「都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会」**並びに**「郡市区等医師会組織強化担当役員連絡協議会」**等を通じて全国の組織強化担当役員で**組織率の現状と危機感を共有**して、すべての医師会を挙げて組織強化に邁進する



3) 日本医師会 医師会組織強化検討委員会

- ・ 引き続き、日医の**医師会組織強化検討委員会**で組織強化に向けた具体的な対応を検討してまいります

日本医師会の主な取り組み等 ①



- ① 令和5年度からの医学部卒後5年目までの会費減免期間の延長
- ② 全国医師会勤務医部会連絡協議会(令和4年10月15日)での特別講演
- ③ 令和4年度都道府県医師会医師会組織強化担当役職員連絡協議会の開催
(令和4年10月19日)
- ④ 日医・四病院団体協議会懇談会において、医師会組織強化について意見交換
(令和4年12月21日)
- ⑤ 郡市区等医師会担当役職員連絡協議会の開催依頼 (令和4年度:開催時一律20万円の補助)
- ⑥ 若手医師の医師会事業への理解促進並びに帰属意識の醸成に向けた取り組み
(令和4年度:実施時一律10万円の補助)
- ⑦ 入会案内を日本医師会ホームページのトップページに配置
- ⑧ 日本医師会医師賠償責任保険制度・医師年金のリーフレット作成・配布 (都道府県医師会各200部、郡市区等医師会各20部、臨床研修病院各10部)、医師資格証の普及促進
- ⑨ 医師会組織強化推進費の配付(各20万円)

日本医師会の主な取り組み等 ②

- ⑩ 医師会組織強化検討委員会中間報告・提言（令和5年1月13日）
- ⑪ 令和4年度都道府県医師会事務局長連絡会（令和5年2月17日）における講演
- ⑫ 地域医師会会員で日本医師会未入会者に対する日本医師会への入会促進について（令和5年2月1日、日医発第2047号）
- ⑬ ⑫等に資するための松本会長から非医師会員に対する親書の送付について（令和5年2月17日、日医発第2176号）
- ⑭ 日本医師会の方針：医師会組織強化に向けたお願い（令和5年3月7日）
- ⑮ 医師会組織強化検討委員会による令和4年度版の「都道府県別医師会入会率（令和5年3月）」作成・配付（令和5年3月28日、日医発第2298号）
- ⑯ A②(C)、C会員の臨床研修修了に伴う異動手続きの推進と医学部卒後5年会費減免制度への取組について（依頼）（令和5年3月31日、日医発第2460号）
- ⑰ 医師会組織強化検討委員会による調査（令和4年10月、令和5年3月）
- ⑱ 医師会入会等に向けた取り組みについて（令和5年3月31日、日医発第2449号）
- ⑲ 常任理事4名の増員（令和5年3月26日、第153回臨時代議員会で承認）



日本医師会の主な取り組み等 ③



⑳ 常勤役員による大学・病院訪問、各種講演時の組織強化依頼

21 都内12大学医師会及び三鷹市医師会への医師会組織強化に係る調査実施(令和5年5月)

22 医師会組織強化への継続的な取り組みに向けて(お願い)
(令和5年7月14日、日医発第731号) ※令和5年度も④、⑤の補助を継続

23 医師会組織強化に係る貴会役員と本会常勤役員との面会について(令和5年7月19日、日医発第746号) ※令和5年11月までにすべての都道府県医師会役員と面会。

24 スライド「医師会の組織強化について」の掲載について(令和5年8月29日)

25 「医療に関する懇談会」(日本医師会・全国医学部長病院長会議)において、組織強化(主に入会促進)について意見交換(令和5年9月14日)

26 貴会会員の日本医師会への入会について(依頼)(令和5年9月15日、日医発第1085号)

27 日本医師会の方針:医師会入会促進について(令和5年9月26日)

28 医師会組織強化に係る貴会役員と本会常勤役員との面会について(令和5年9月29日、日医発第1181号)

日本医師会の主な取り組み等 ④

29 第2回都道府県医師会長会議にて、QRコードを用いた入会申込書請求フォームの検討状況を報告(令和5年10月17日)

30 日本医師会への入会促進について(資料提供)(令和5年10月23日、日医発第1338号)

31 QRコードを用いた入会申込書請求フォームについて(令和5年10月26日、日医発第1350号)

32 組織強化に向けた取り組みについて(依頼)(令和6年1月25日、日医発第1900号)

33 若手医師の入退会・異動手続き等の負担軽減について(依頼)
(令和6年1月25日、日医発第1895号)

34 令和5年度勤務医・組織強化関係助成費の配付(予算:5,000万円、令和6年1月26日振込)

35 日本医師会入会案内冊子発行(令和6年2月)

36 令和5年度 都道府県医師会事務局長連絡会における講演
(令和6年2月16日)

37 医師会組織強化検討委員会中間報告・提言(令和6年3月6日(予定))



① 令和5年度からの医学部卒業後5年目までの会費減免期間の延長

会員区分	会費	会費減免額	会費減免適用後
A①	126,000円	60,000円	66,000円
A②(B) (30歳超) (30歳以下)	68,000(※)	28,000円	40,000円(※)
	39,000円	24,000円	15,000円
A②(C)	21,000円	6,000円	15,000円
B	28,000円	28,000円	無料
C	6,000円	6,000円	無料



<ご参考：会費区分>

A①	病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員
A②(B)	上記A①会員およびA②会員(C)以外の会員
A②(C)	医師法に基づく研修医
B	上記A②会員(B)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員
C	上記A②会員(C)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

(※) 令和6年度より、医賠償保険料部分が4,000円減額となるため、
会費額は64,000円（会費減免適用後は36,000円）に減額

⑤ 郡市区等医師会担当役職員連絡協議会の開催依頼（開催時一律20万円の補助）

臨床研修修了後も、**医学部卒後5年間の範囲で日本医師会の会費が減免されることを、臨床研修修了を迎える会員に周知**いただくよう、入退会等の窓口業務を担う**郡市区等医師会に協力**を求めていただくよう、お願いいたします。

会費減免期間延長の周知徹底は、なるべく早い時期から行うことが重要となりますので、形式はどのようなものであれ、**都道府県医師会及び管内郡市区等医師会担当役職員が一堂に会するような機会を早急に設定**いただきたく存じます。

⑥ 若手医師の医師会事業への理解促進並びに帰属意識の醸成に向けた取り組み（実施時一律10万円の補助）

新臨床研修医を対象としたオリエンテーション等のほかに、医学部卒後5年間の会費減免期間中に入会した若手医師等を対象として、**医師会事業への理解促進並びに帰属意識の醸成に資する取り組みを実施**していただくようお願いいたします。

例) 2回目のオリエンテーション、症例検討会や懇親会等の開催、各種委員会への登用等



⑫ 地域医師会会員で日本医師会未入会者に対する日本医師会への入会促進について(令和5年2月1日、日医発第2047号)

⑬ ⑫等に資するための松本会長から非医師会員に対する親書の送付について(令和5年2月17日、日医発第2176号)

松本会長からの親書

「日本医師会への入会について(お願い)」



日本医師会への入会について(お願い)

先生方におかれましては、我が国の国民医療の増進に多大なるご尽力をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。

日本医師会は、医師個人の資格で加入する我が国唯一の医療界を代表する組織であり、医師たる者には、全て日本医師会に入会してほしいと考えております。そして、我が国の医療が医師にとっても、国民にとってもより良きものとなるよう、会員各位と力を合わせて、医療界が求める制度や政策等を実現していきたいと思っております。

我が国の医療は、全て制度や政策等の上に成り立っています。換言すれば、医療に関する制度や政策がいったん決定すれば、全ての医師がその決定に縛られることとなります。

医療界が求める制度・政策等を実現するためには、その決定プロセスに日本医師会が深く関与する必要があり、日本医師会を通じて医療界の意見等をその決定プロセスに反映させていく必要があります。

様々なステークホルダーが参画する医療政策を検討する場において、より説得力のある議論を展開するためには、より多くの会員各位の後押しが必要です。そして、そのことが、日本医師会の組織強化と発言力の強化、ひいては、先生ご自身の職務を存分に全うできる環境を実現することにつながると考えております。

まさに先生方お一人おひとりに日本医師会に入会していただくことが、今後の我が国の医療を変えていくことになると確信しておりますので、日本医師会への入会方について、ぜひご検討いただければ幸いです。

令和5年2月

公益社団法人 日本医師会

会長 松本吉郎



⑱ 常任理事4名の増員（令和5年3月26日、第153回臨時代議員会で承認）

⑳ 常勤役員による大学・病院訪問、各種講演時の組織強化依頼 など

令和5年6月25日、第154回定例代議員会で選任・選定された常任理事4名を加え、**郡市区等医師会担当役員連絡協議会**や**研修医オリエンテーション**など**都道府県医師会が企画する様々な研修会等**で、常勤役員が講師を務めさせていただきますので、お気軽にお声をおかけください。

また、常勤役員による**大学・臨床研修病院訪問**、各種講演時の組織強化依頼などを展開してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

医師会のことをあまりご存じない、若手の勤務医をターゲットにしたプレゼン資料「**医師会って、なんだ！？**」を作成しましたので、Part.3でご紹介します。



本日の内容

Part 1. 医師会入会率等の現状分析

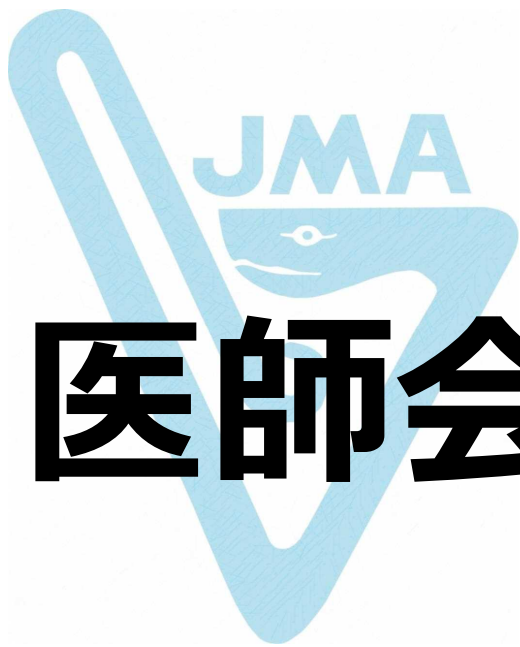
Part 2. 入会促進に向けた取り組み例

Part 3. 組織強化に向けた取り組み

Part 4. 医師会って、なんだ! ?

Part 5. まとめ





医師会って、なんだ！？

医療は制度で動いている！

医師会のメリットとは？



日本医師会公式キャラクター

日医君

医師会の役割

国民の生命と健康を守る！
医師の医療活動を守る！



本日、知っていただきたいこと

- 郡市区等医師会、都道府県医師会、そして日本医師会は、**国民の生命と健康を守るため、医師の医療活動を守るため**に、様々な取り組みをしています。
- 医師会は開業医の利権団体であるかのように言われることもありますが、日本医師会はそういった誤解を丁寧に払拭していきたいと考えています。
- 特に若い先生方に、医師会を正しく知っていただきたいと思います。そこで、**日本医師会の会費を卒後5年間無料**としました。
- 是非、医師会の真実と価値をご自身の眼で判断してください。



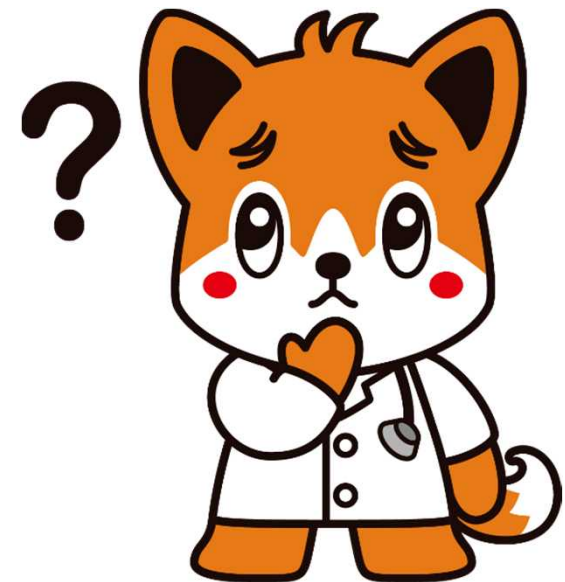
日本医師会

世界医師会に認められた、
日本で唯一の医師個人資格で加入する団体

任意設立・任意加入



何故、医師会は、
任意加入団体なのか？



GHQの命令

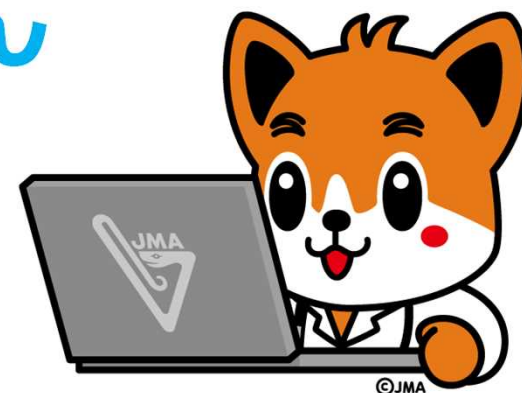


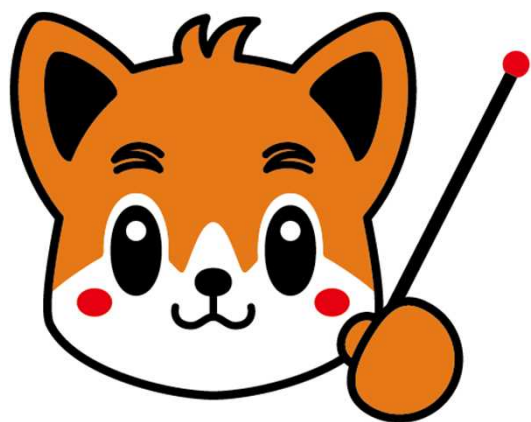
弁護士会、公証人会、弁理士会以外の職能団体は、**GHQの命令**で、任意設立・任意加入団体となった



初代日本医師会会長は、
どなたかご存じですか？

ヒント：開業医ではありません





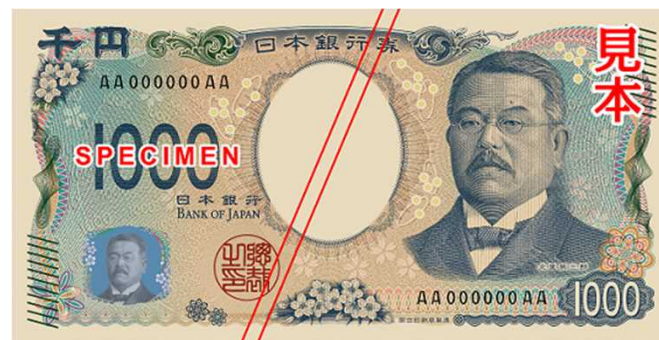
初代日本医師会 会長

北里柴三郎先生



「近代日本医学の父」と呼ばれる微生物学者

- 明治22年 破傷風菌の純粋培養に成功
- 明治23年 血清療法を開発
- 明治27年 ペスト菌を発見



新千円札の肖像に（2024年7月3日より）

日本医師会創設の歴史

1916年：大日本医師会設立

最初は開業医中心の任意団体

1923年：公法人 日本医師会設立

全医師強制加入

1941年：真珠湾攻撃

1943年：官製・日本医師会に改組

全医師強制加入は継続

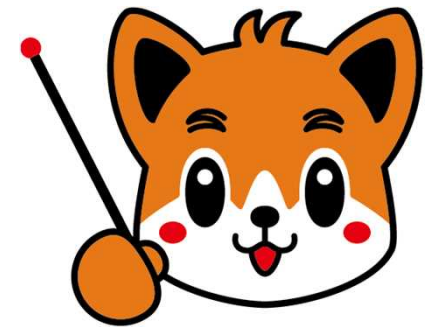
1945年：終戦

1947年：新生 社団法人日本医師会誕生

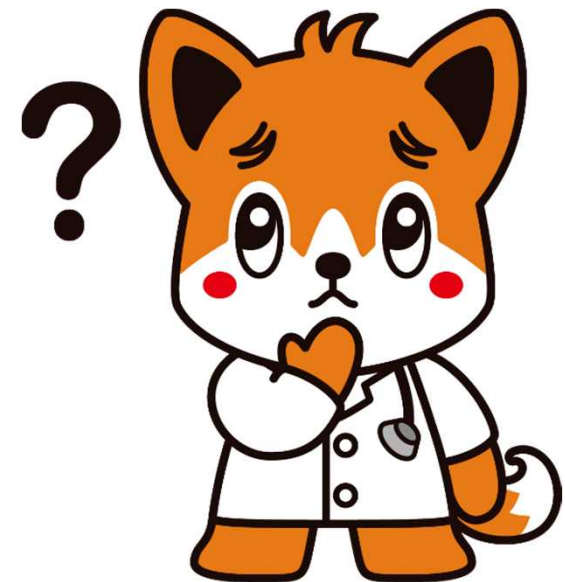
GHQの命令で、任意設立・任意加入となった



初代会長 北里柴三郎先生

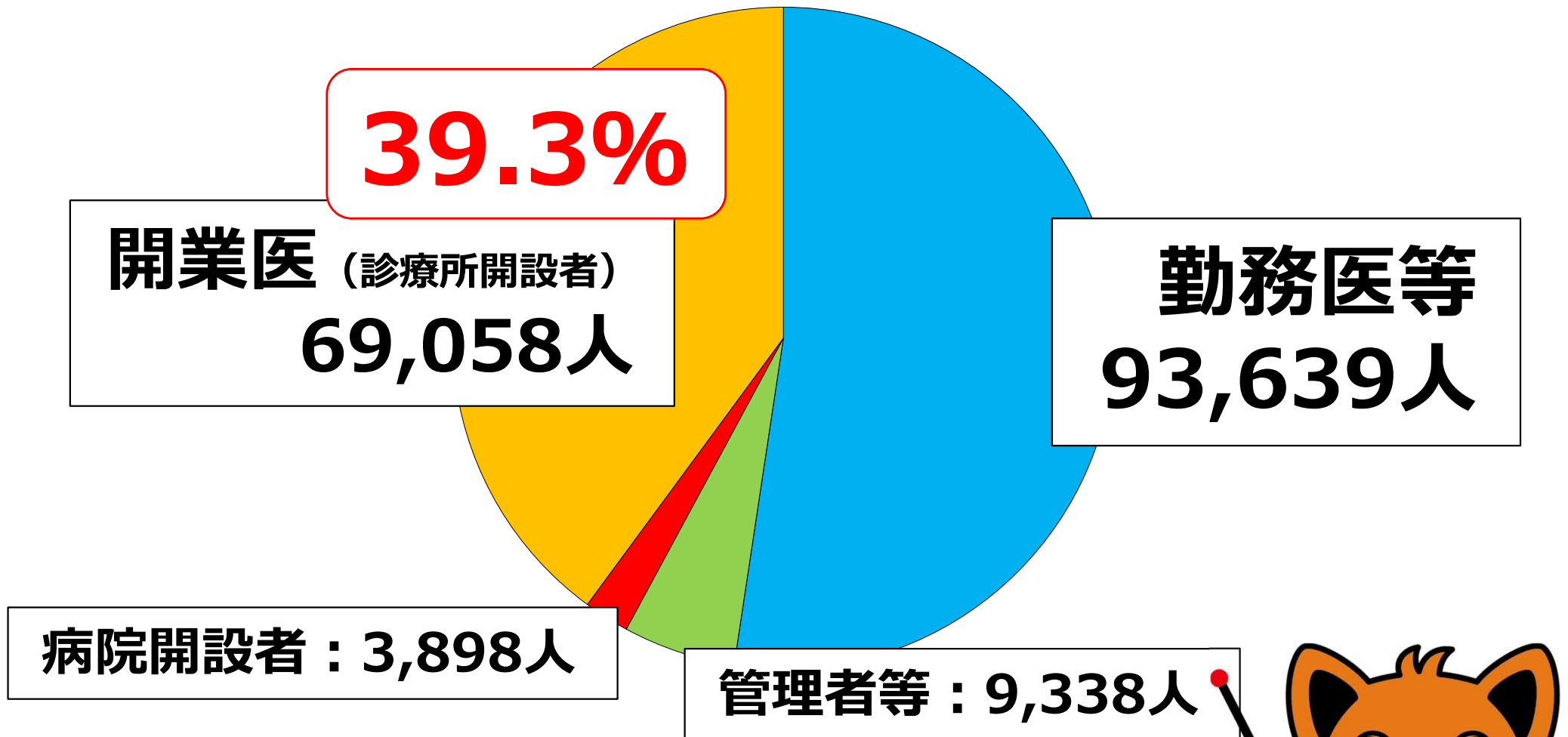


医師会は、**開業医の団体**
なんででしょうか？



日本医師会 会員数 175,933人

令和5年12月1日現在



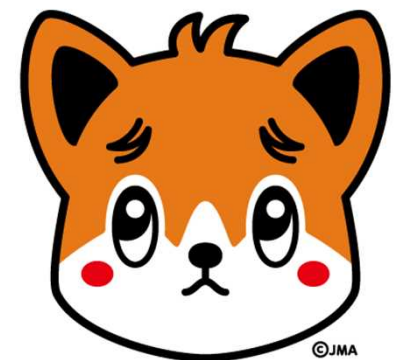
会員は、6 : 4で開業医以外の方が多い！



とは、いえ…

都道府県医師会や日本医師会の役員は、
比較的高齢の**開業医の比率が高い**

やはり、医師会は開業医
の団体なのでは？



いいえ、そうではありません

都道府県医師会や日本医師会の役員は、それぞれの
代議員会の**選挙**で**選任・選定**されます

役員候補者は、郡市区等医師会や都道府県医師会等での活動実績が評価されて、推薦されることがほとんどです。都道府県医師会でも日本医師会でも、やる気がある若手の医師の参加を心から待ち望んでいます。



**是非、若手の勤務医の
先生方にも、地域での
医師会活動に参加して
いただきたい！**



日本医師会理事に、勤務医・女性医師を登用

1. 勤務医・女性医師の登用に向けた理事定数の増員

2014年3月30日 第131回日本医師会臨時代議員会に、
勤務医・女性医師の各1名の登用に向けた理事定数の増員
に係る定款変更の件が議題として上程され、決議された

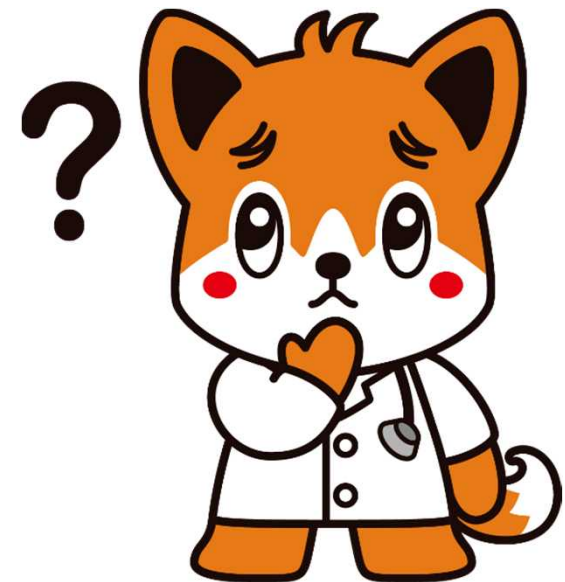
2. 今期の参画状況

勤務医の立場から **大久保ゆかり先生** (東京医科大学医師会副会長)

女性医師の立場から **小出詠子先生** (愛知県医師会理事)

が理事として日本医師会の会務に参画している

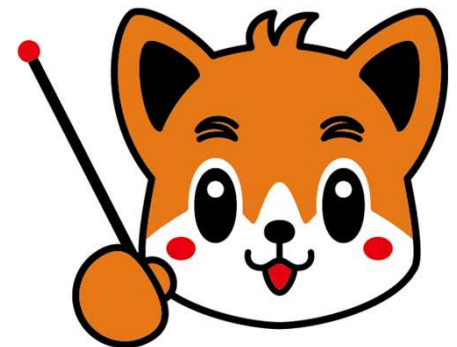
勤務医が医師会に入る
メリットはあるのか？



医師会のメリットは、

二つの視点 で考えてください

- 医師が医師会を**持つこと**のメリット
- 医師が医師会に**入ること**のメリット



医師が医師会を持つこと のメリット



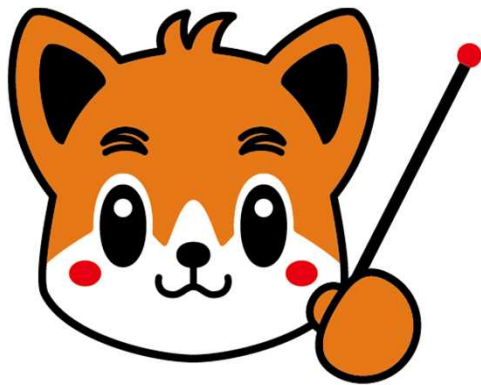
医師が医師会を持つことのメリット

1. **日本の医療制度を守る！**
2. 国民の生命と健康を守る！
3. 真摯に医療に取り組む医師を守る！
4. 勤務医の健康を守る！
5. 医師会は、こんなこともやっています！



医学は、科学

医療は、制度



- ・ 制度には、ルールがある
- ・ 制度のルールは、人によって作られる
- ・ ルールに現場の意見を反映させるには？

日本の医療は社会保障

国民皆保険

- すべての国民が、公的医療保険に加入
- 現物給付、保険からの支払いは事後
- 自由に医療機関を選ぶことができる



国民皆保険 スタート前

医師会は必ずしも積極的でなかった

—理由—

- ① 保険診療の報酬単価が安かった
- ② 厳しい制限診療

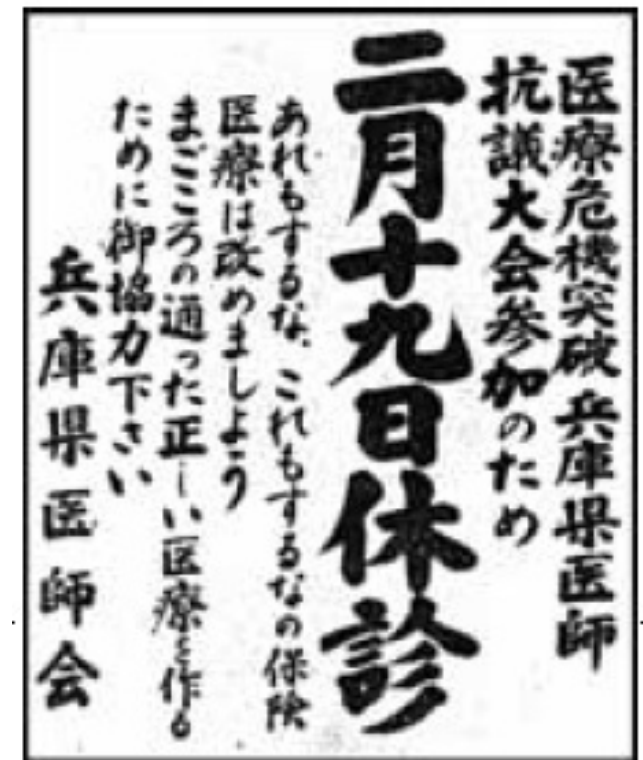


病気ごとに薬の使用基準や治療方針等が厳格に決められていて、医師の裁量はなく、その範囲でしか保険診療が行えなかった。

医師のストライキ

昭和36年2月19日（日） 一斉休診

3月1日保険医総辞退の届け出提出を示唆



2月27, 28日 自民党3役と武見太郎会長が会談

制限診療について4項目の具体的な申し合わせが交わされた

制限診療緩和

保険医総辞退は撤回され、
昭和36年4月国民皆保険スタート！



4項目の申し合わせ

- ① 学会が緊急必要と認める医薬品については、指針関係といえども簡素な手続きで保険に採用する。
- ② 指針は根本方針であるから患者の個性を尊重するようにする。
- ③ 手術に使用する機器、器具、検査の種類、回数は実情に即して認める。
- ④ 歯科における補てつ、ならびに施術、方法、資材の制限等も実情に即するように措置する。



元日本医師会会長
武見太郎先生

ところが、診療報酬が安い！

昭和46年7月1日 保険医総辞退

42都道府県
66,000人が参加

辞退届の山を東京都副知事に手渡す
渡辺真言東京都医師会長



政府との合意



7月28日 武見太郎会長と佐藤首相が会談

昭和47年診療報酬改定 +13.7%

3層構造の医師会組織

公益社団法人 **日本医師会**

会員数 175,933人 (令和5年12月1日現在)

都道府県医師会 (47)

会員数 192,780人 (令和5年11月1日現在)

郡市区等医師会 (889) (令和5年8月7日現在)

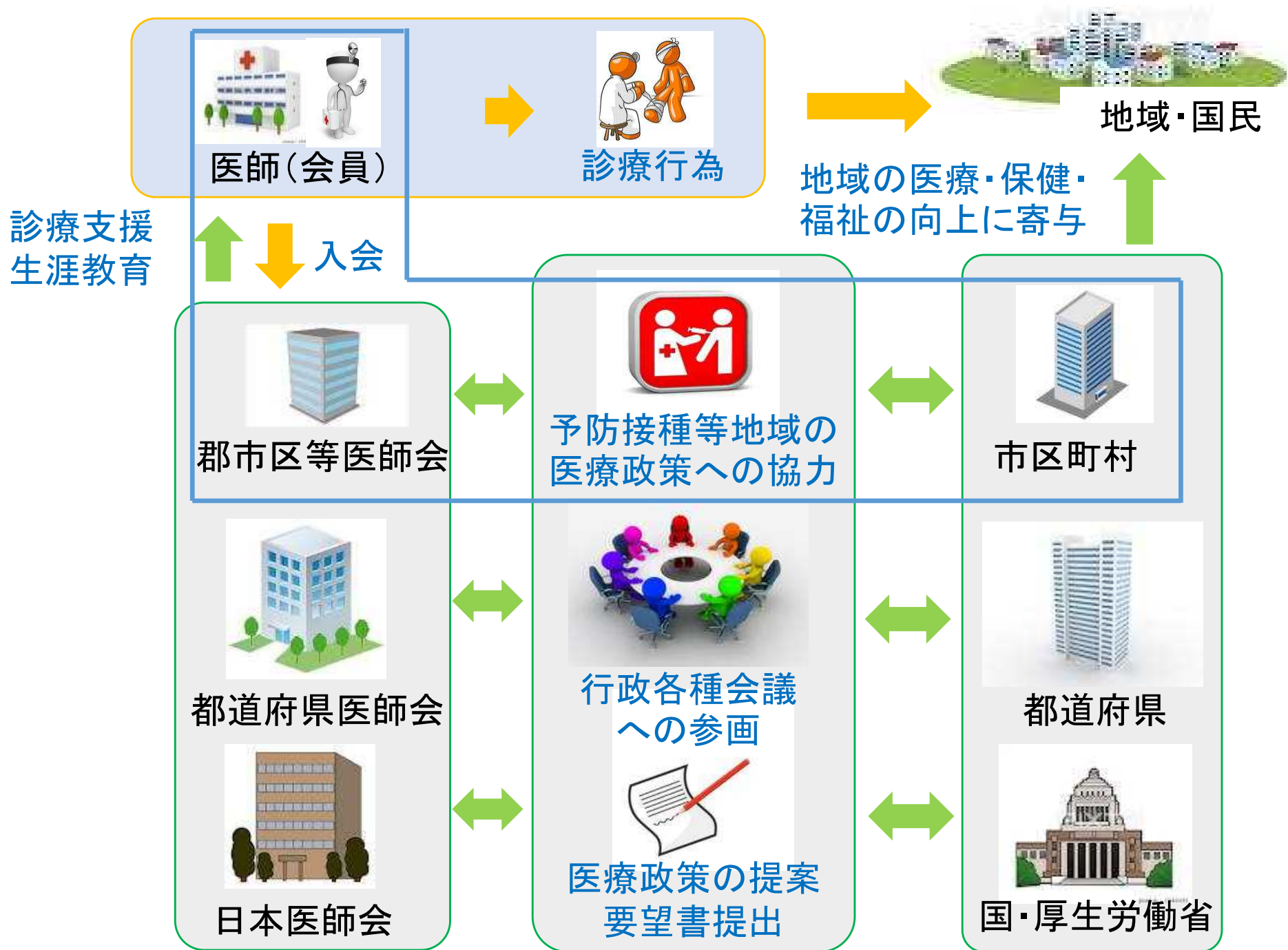
郡市区医師会 : 813 大学医師会 : 65 その他 : 11

会員数 207,984人 (令和5年11月1日現在)



- ・ 3層の医師会は、それぞれ独立して運営されています
- ・ 現在の規約では、都道府県医師会に入会するためには郡市区等医師会会員であること、日本医師会に入会するためには都道府県医師会会員であることが必要

行政のカウンターパートとしての3層の医師会



地域に根差した医師会の活動

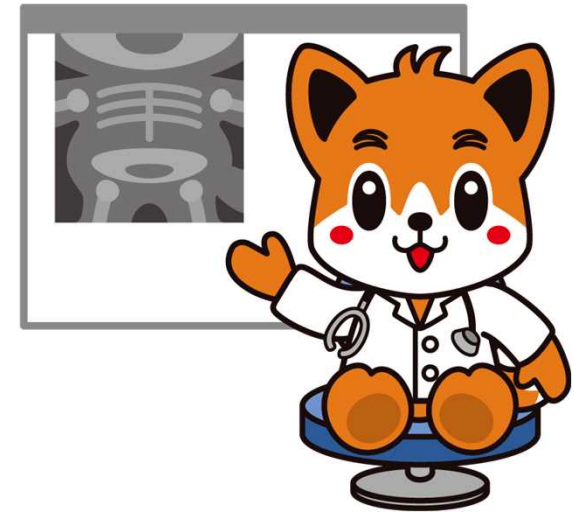
1. 地域の時間外・救急対応	平日夜間・休日輪番業務、地域行事の救護班、在宅当番医、休日夜間急患センター、電話相談業務など（災害時には救護所・避難所への巡回診療、感染症拡大時には検査センターへの出務など自らの地域を守る活動）
2. 行政・医師会等の公益活動	医師会・専門医会・自治会・保健所関連の委員、警察業務への協力、防災会議、地域医療に関する会議、地域ケア会議の出席、障害者認定審査会、介護保険認定審査会など
3. 地域保健・公衆衛生活動	母子保健、乳幼児保健（1歳6か月児健診・3歳児健診）、学校保健（学校健診、学校医活動）、学校健康教育（性教育、がん教育、禁煙・薬物教育等）、産業保健（地域産業保健センター活動、職場の健康相談、産業医活動）、事業主健診（特定健診・特定保健指導）、高齢者保健（高齢者健診・認知症検診）、予防接種（定期・その他）、がん・成人病検診、市民公開講座（健康講座・介護教室）、精神保健、健康スポーツ医活動など
4. 多職種連携	訪問診療等の在宅医療ネットワークへの参画、介護保険関連文書の作成（主治医意見書等）、多職種との会合（ケアカンファレンス等）、ACPなど
5. その他	看護師・准看護師養成所、医師会共同利用施設への参画、高齢者の運転免許に関する診断書の作成、成年後見人制度における診断書の作成、死体検案、医療DX、医療GX、学術活動、高齢者・障害者施設への対応など



それぞれの医師会が医療現場を代表して、対応する行政に協力・折衝をしています

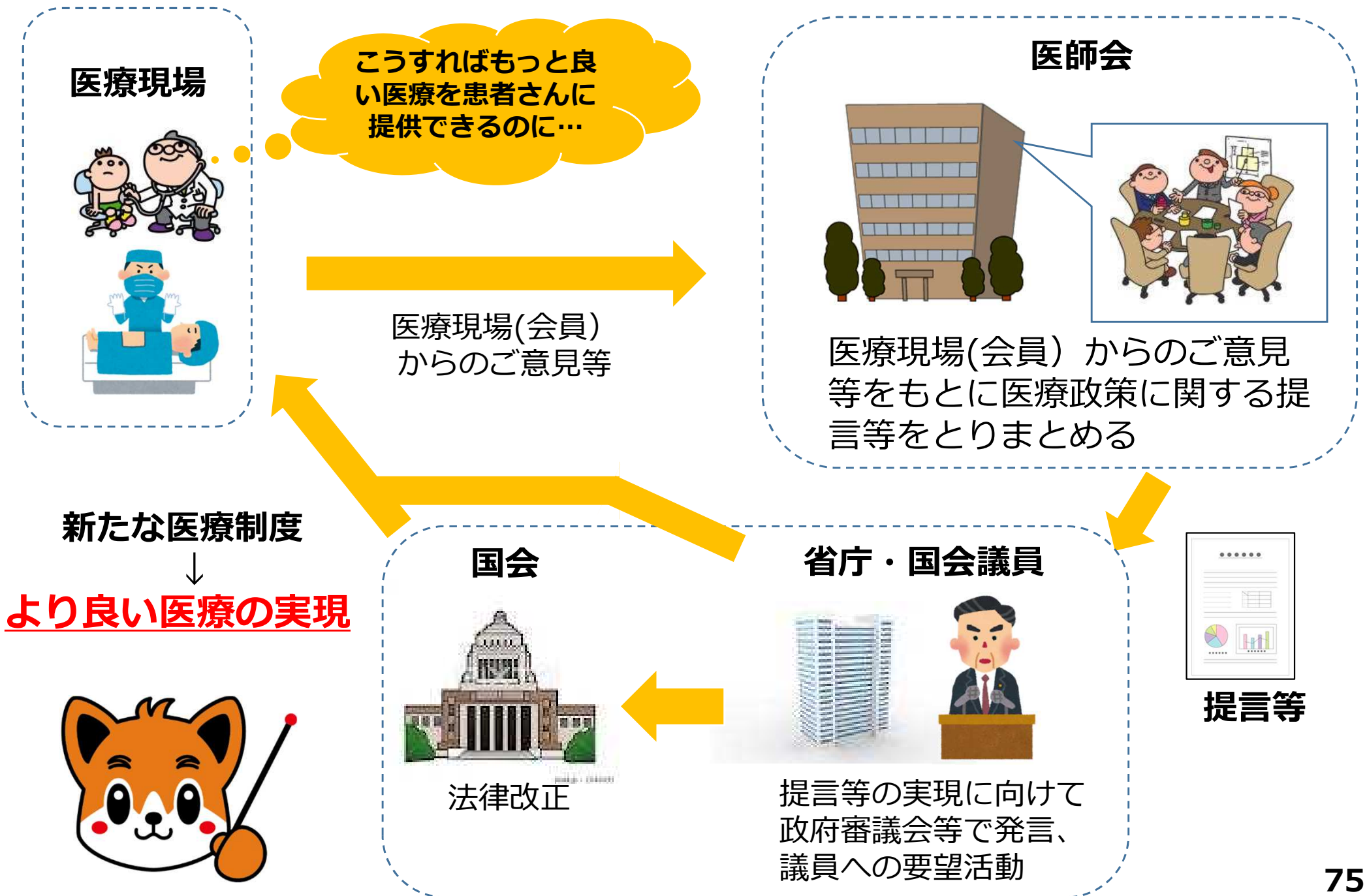
医療を取り巻く諸問題

- ・ 新型コロナ対策
- ・ 診療報酬改定
- ・ 医師の働き方改革
- ・ 新専門医制度
- ・ 地域医療構想
- ・ 医療DX
- ・ 2025年問題、2040年問題 などなど



誰かが現場の意見を伝えなくてはいけない

医療政策が実現するまで（例）



政府与党とのコミュニケーション

自民党、公明党をはじめとする政府与党の先生方とは、特に**普段からのコミュニケーションが大事**だと考えています。

普段からの付き合いの中で、**私どもの考えを正確にお伝え**して理解を賜る、あるいは逆に**政治家の先生方の考えを傾聴**し、それを日本医師会がどう考えていくのかを、心掛けることが一番大事なことだと思っています。

普段からのコミュニケーションの中で、しっかりと意見を申し上げていきます。

*2022年6月26日 第152回日本医師会臨時代議員会 会長所信表明



令和6年度予算要求要望

(令和5年7月31日 加藤厚労大臣)

概算要求

1. 新型コロナウイルス感染症等への予算確保
2. 働き方改革への予算確保
3. 地域医療への予算確保
4. 医療DXの適切な推進のための予算確保

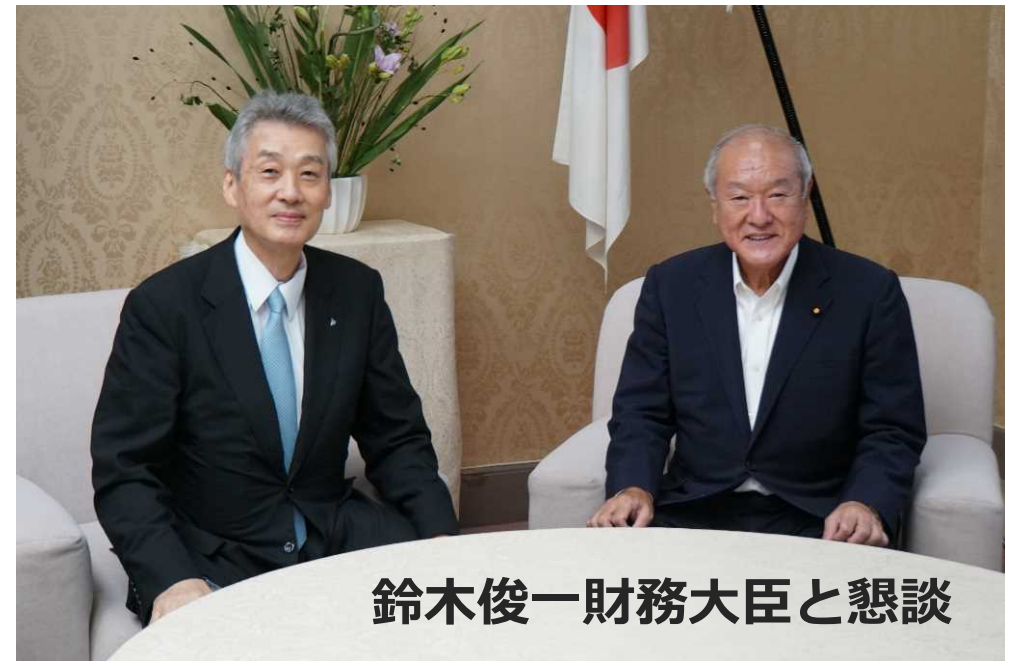
事項要求

次期診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬の同時改定



加藤勝信厚生労働大臣（当時）への要望
(令和5年7月31日)

政府与党とのコミュニケーション



日本医師会が参画している主な国の審議会等 ①





厚生労働省



- 医道審議会（医師分科会、死体解剖資格審査分科会、保健師助産師看護師分科会、理学療法士作業療法士分科会）
- 中央社会保険医療協議会
- 厚生科学審議会（科学技術部会、健康危機管理部会、医薬品医療機器制度部会、地域保健健康増進栄養部会、感染症部会、結核部会）
- 社会保障審議会（医療部会、医療分科会、医療保険部会、介護保険部会、介護給付費分科会、障害者部会、生活困窮者自立支援及び生活保護部会、児童部会）
- 薬事・食品衛生審議会（総会、医薬品第一部会、医薬品第二部会、血液事業部会、医療機器・体外診断薬部会、医薬品再評価部会、再生医療等製品・生物由来技術部会、薬事分科会、食品衛生分科会）
- 疾病・障害認定審査会（感染症・予防接種審査分科会、新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査第一部会）
- 第8次医療計画等に関する検討会（外来機能報告等に関するWG、救急・災害医療提供体制等に関するWG、在宅医療及び医療・介護連携に関するWG、地域医療構想及び医師確保計画に関するWG）、医療介護総合確保促進会議
- 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手を確保するための対応の在り方等に関する検討会
- 医師の働き方改革の推進に関する検討会、電子処方箋推進会議、がん対策推進協議会、肝炎対策推進会議、アレルギー疾患対策推進協議会、循環器病対策推進協議会 …など

日本医師会が参画している主な国の審議会等 ②



<p>内閣府</p> 	<p>中央防災会議、総合科学技術・イノベーション会議（生命倫理専門調査会）、健康・医療データ利活用基盤協議会、男女共同参画推進連携会議、食品安全委員会（企画等専門調査会）、防災推進国民会議 ……など</p>
<p>文部科学省</p> 	<p>中央教育審議会（初等中等教育分科会）、科学技術・学術審議会（生命倫理・安全部会）、いじめ防止対策協議会、保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成推進委員会、モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会、課題解決型高度医療人材養成推進委員会、大学における医療人養成の在り方に関する調査研究選定委員会 ……など</p>
<p>内閣官房</p>	<p>健康・医療戦略参与、新型インフルエンザ等対策推進会議、ナショナル・レジリエンス（防災・減災）懇談会、サイバーセキュリティ戦略本部 重要インフラ専門調査会 ……など</p>
<p>総務省</p>	<p>情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会 要配慮個人情報ワーキンググループ、個人番号カード・公的個人認証サービス等の利活用推進の在り方に関する懇談会 ……など</p>
<p>環境省</p>	<p>中央環境審議会（環境保健部会、動物愛護部会、大気・騒音振動部会、有害大気汚染物質排出抑制対策等専門委員会）、酸化工チレン大気排出抑制対策調査検討会 ……など</p>
<p>農林水産省</p>	<p>日本型食生活推進委託事業（朝食欠食改善等ごはん食推進事業）実施に係る検討会</p>

日本医師会が参画している主な国の審議会等 ③



経済産業省	健康・医療新産業協議会（健康投資WG、新事業創出WG）、医療機器・ヘルスケア開発協議会
国土交通省	今後の自動車損害保障制度のあり方に係る懇談会、病院等を対象とするヘルスケアリートの活用に係るガイドライン検討委員会
防衛省	自衛隊の第一線救護における適確な救命に関する検討会
金融庁	自動車損害賠償責任保険審議会
消防庁	消防審議会、全国メディカルコントロール協議会連絡会、救急業務のあり方に関する検討会、有床診療所・病院火災対策検討部会
消費者庁	特別用途食品制度に関する検討会
警察庁	高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議
海上保安庁	海上保安庁メディカルコントロール協議会
デジタル庁	マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関する検討会 専門家ワーキンググループ
スポーツ庁	スポーツ審議会
こども家庭庁	こども家庭審議会（子ども・子育て支援等分科会／成育医療等分科会／科学技術部会 ヒト受精胚を用いる生殖補助医療研究等に関する専門委員会／科学技術部会 NIPT等の出生前検査に関する専門委員会／障害児支援部会）

※任期終了したものも含む

日本医師会は、厚生労働行政のほか、経済、教育、環境、防衛など、数多くの分野の会議に参画するなかで、国政に大きく貢献しています！！

医療は制度で動いている！

一人でつぶやいても何も変わらない

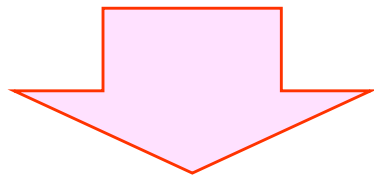
現場の意見を伝える手段

医師会



現場の声を踏まえた医療政策の実現に向けて

- 医療政策を検討する場には、様々なステークホルダーが参画しており、医療界がいくら正しいことを発言しても、それが実現するとは限らない。
- より説得力のある議論を展開するため、より多くの先生方の後押し（医療現場の声）が必要であり、より多くの先生方が医師会活動に参画することが、医師会の組織強化と発言力の強化につながる。
- 物事を動かそうとしても、医師個人の力ではどうにもならないことが多くあるが、多くの先生が医師会活動に参加することにより、先生ご自身の職務を存分に全うできる環境を実現する。それが国民により良い医療を提供し続けていくことにつながる。
- まさに先生方一人ひとりの意識が、今後の我が国の医療を変えていくことになる。



- 日本医師会は すべての医師を代表する団体であり、より多くの先生方と共に我が国のより良い医療を実現していきたい。
- 日本医師会は、医療現場の先生方の意見を踏まえて、医療政策の議論の場に臨んでいく。



医師が医師会を持つことのメリット

1. 日本の医療制度を守る！
- 2. 国民の生命と健康を守る！**
3. 真摯に医療に取り組む医師を守る！
4. 勤務医の健康を守る！
5. 医師会は、こんなこともやっています！



JMAT

Japan Medical Association Team

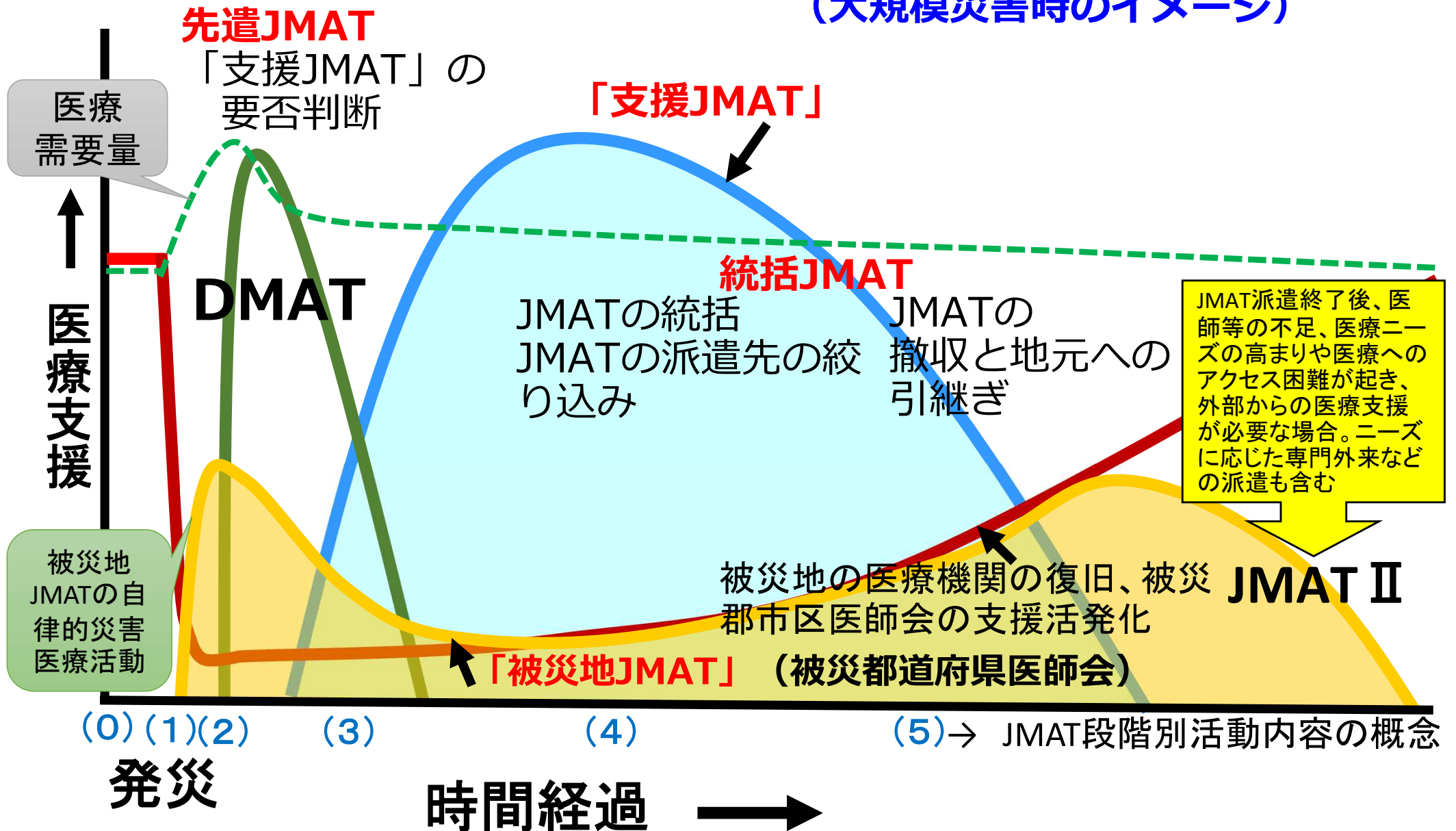
日本医師会災害医療チーム

- 医師 1 人、看護職員 2 人、事務職員 1 人が 1 チーム
- 災害などの際に、救護所や避難所などにおける医療と健康管理等を行うために、被災地に派遣



JMAT活動の概念図

(大規模災害時のイメージ)



日本医師会「JMATに関する災害医療研修会」(2012年3月10日)資料(「DMATとJMATの連携」)(小林國男 日本医師会「救急災害医療対策委員会」委員長(当時)を改変したもの)

平成23年東日本大震災

- ・ 日本医師会が、都道府県医師会に対し担当地区を指定してJMAT派遣要請
- ・ 全国から1,400チームが参加（医師2,200名 総計6,239名）
- ・ 職種を問わず、日本医師会負担により障害保険加入



石川県医師会JMAT
相馬市医療救護班連絡会
議長：相馬市医師会 杉本会長







令和6年能登半島地震

令和6年1月1日



新型コロナウイルス感染症への対応

- ・厚生労働省「**新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード**」
「**新型コロナ感染症の対応を踏まえたワクチン接種・検体採取の担い手**
を確保するための対応の在り方等に関する検討会」等の各種会議への参画
- ・**毎週の定例記者会見**を通じた、迅速かつ正確な情報発信
- ・国民の生命と健康を守るための、**コロナ医療とコロナ以外の医療との両立**
- ・**予防接種の推進等**の地域医師会及び医師会員への協力要請



松本吉郎日本医師会会長



釜谷 敏常任理事

都道府県医師会 新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会

- ・ Zoomを用いたオンライン開催
- ・ 第1波の時は週1回、その後は1～2か月に1回開催
- ・ 都道府県医師会の担当理事が参加し、日本医師会や厚労省の担当者から新しい状況や政策についての説明を聞いてディスカッション



感染症対策実施 医療機関



日本医師会
公式キャラクター
「はなちゃん」

当院は新型コロナウイルス感染症対策
チェックリスト[※]に沿った
対策を実施しております。

詳しくはこちら



院内における新型コロナウイルス 感染症対策チェックリスト

- 職員に対して、サージカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施しています。
- 職員に対して、毎日(朝、夕)の検温等の健康管理を適切に実施しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じています。
- 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指衛生の適切な実施を指導しています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行う、または対応できる医療機関へ紹介する等の対策を講じています。また、発熱患者を診察する場合には、時間的または空間的に動線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策(遮蔽物の設置等)を講じています。
- 患者間が一定の距離が保てるよう必要な措置を講じています。
- 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じています。

新型コロナウイルス

全国の郡市区等医師会、都道府県医師会が各地区の行政と協力

政府目標の1日100万回を突破！

2021年6月9日

1. 集団的接種（集団接種）

- ・ 接種場所と時間を設定して集団的に接種

2. かかりつけ医による個別接種

- ・ かかりつけ医がかかりつけ患者に接種

3. 高齢者施設での接種

- ・ 常勤医、嘱託医等が行う場合
- ・ 巡回接種を行う場合



医師が医師会を持つことのメリット

1. 日本の医療制度を守る！
2. 国民の生命と健康を守る！
- 3. 真摯に医療に取り組む医師を守る！**
4. 勤務医の健康を守る！
5. 医師会は、こんなこともやっています！



無実の医師が、逮捕！

福島県立大野病院事件をご存じでしょうか？



福島県立大野病院で何が起こったのか

- 事件当時、同院における常勤の産科医はこの医師一人。**前置胎盤**であったことが事前の検査で判明していた。医師は出産時の危険性を説明し、より設備の整った大学病院での分娩を勧めたところ「**大学病院は遠い。交通費がかかる**」と妊婦と家族は地元の大野病院での分娩を希望した。
- 平成16年12月17日、29才の女性に対して帝王切開。**癒着胎盤**も合併しており、出血多量で懸命な救命にもかかわらず永眠。
- 医師は院長に報告したが、院長は医療準則に反する行為はなく、**異状死に当てはまらない**と判断して警察署への届け出は行わなかった。

医療事故調査委員会の報告書

- 福島県が設置した医療事故調査委員会の報告書では、死亡の原因に**執刀医の判断ミス**を認め、胎盤が子宮の筋肉に付着していることに気付かなかったこと、通常使わないはさみを使って切り離したこと、大量の出血が続いたのに院内の他の医師に応援を頼まなかったことなどが指摘された。
- 報告書を見た警察が捜査を開始。
平成18年2月18日、業務上過失致死の容疑で担当医師が**逮捕**。
3月10日、担当医師起訴。

大野病院事件に対する日医の対応

担当医逮捕直後から日医は福島県医師会、日本産婦人科学会、日本産婦人科医会などから情報を聴取

平成18年 3月22日、記者会見で日医の見解を発表

**産婦人科医の身柄拘束は極めて残念
日医として全面的にバックアップする**

日医総研の**澤倫太郎研究部長**を特別弁護人、**水谷渉主任研究員**を弁護団の一員として、積極的かつ強力に加藤医師の支援を行った。



平成20年8月20日

産科医師に無罪

大野病院医療過誤事件で福島地裁



判決公判のため、福島地裁に入る加藤被告—20日午前9時50分ごろ

胎盤はく離の出血少ない

麻酔記録などから認定

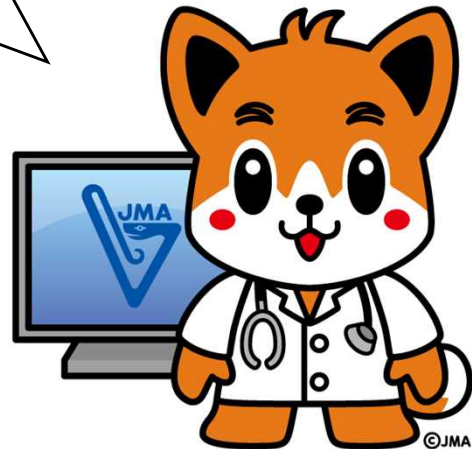
大野病院医療過誤事件
平成16年11月17日
福島地裁で公判
判決は午後1時

大野町の県立大野病院で平成16年、帝王切開手術中に女性患者が死亡した医療過誤事件で、業務上過失致死と医師法違反の罪に問われた大野町下野上、産婦人科医師加藤被告と医師の判決公判は10日、福島地裁で開かれ、鈴木信昭判事は加藤被告に無罪を言い渡した。医師の療行が刑事責任を求め、逮捕・起訴した捜査手法など医療界が注目を集めていた。検察側は同年、罰金5万円を求めていた。

十五回に及んだ公判「五半日」とした判では検察側、無罪主張の弁護側が真つ向から対立。胎盤娩出（へんしゅつ）時百五十五分を超え、胎盤はく離による出血が検察側主張に比べ少ないと認定した。胎盤はく離による出血は、女性が大出血する可能性がある。胎盤はく離を疑った上で、手術中に出血が少なかったから、胎盤はく離を疑ったと認定した。胎盤はく離を疑った上で、手術中に出血が少なかったから、胎盤はく離を疑ったと認定した。

この事件は、日医の医賠償とは直接関連はありませんでしたが、日本医師会は迅速な調査のもと、毅然とした声明を発表し、全面的にサポートしました。

医師が不当に逮捕されるなどあってはならない事件や、日本の医療の根幹が脅かされるような事態に対しては、日本医師会は全力で対応することをお約束します。





平成23年7月24日 日医総研シンポジウム

更なる医療の信頼に向けて 一無罪事件から学ぶ一

加藤克彦医師

(国立病院機構福島病院産婦人科)

最後になりますが、私がつらい裁判を闘うことができましたのは、ひとえにサポートしてくださった皆様のおかげです。特に私の指導教授でありました、福島県立医科大学産婦人科学の、**故佐藤章名誉教授**に感謝したいと思います。佐藤章教授は、私を命がけで守ってくださいました。教授に対する感謝の気持ちは、言葉で言い尽くすことはできません。

福島県の産婦人科医会、県医師会の先生方からは、様々なご支援をいただきました。地元の先輩、後輩からのご支援にも心を打たれました。本当に感謝しています。

またインターネットを通じまして、様々なご支援をしてくださった全国の先生方、医療関係者にも心よりお礼を申し上げます。先生方の応援が私の心の支えでもありました。また、**平岩敬一先生**をはじめ、私の弁護を引き受けてくださった弁護団の先生方、さらに**特別弁護人として、毎回裁判所に出廷し、応援し、励まし、勇気を与えてくださった、澤倫太郎先生**、証人として法廷で証言していただいた、大阪府立母子保健総合医療センターの**中山雅弘先生**、東北公済病院の**岡村州博病院長**、宮崎大学医学部附属病院の**池ノ上克病院長**、裁判を支援してくださった**日本医師会、各学会、日医総研**の先生の方々、職員の方々、**都道府県医師会、郡市医師会**の先生方、**日本産科婦人科学会**の**吉村泰典前理事長**をはじめ多くの先生方にも、心から厚くお礼を申し上げます。

医療事故調査制度

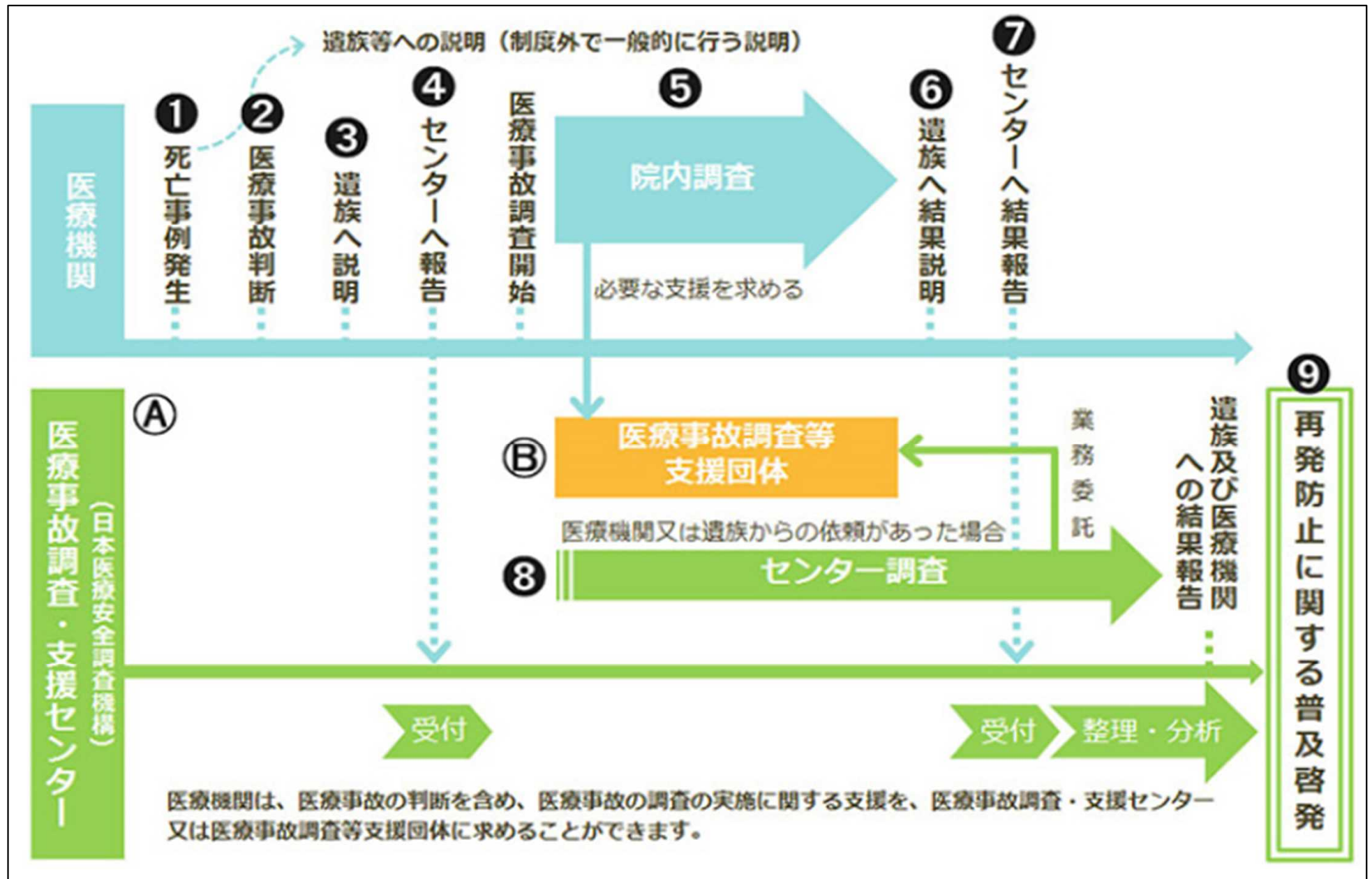
医療法第6条の10（平成27年10月施行）

- ・ 医療事故における死亡原因の究明、診療行為の評価、再発防止のための提言により、医療の安全を確保することを目的として制定
- ・ **特定の個人の責任を追及するものではない**
- ・ 病院、診療所、助産院の**管理者**に新たな義務が加わる（罰則規定なし）

次の①および②に該当する死亡・死産の原因を調査し報告する

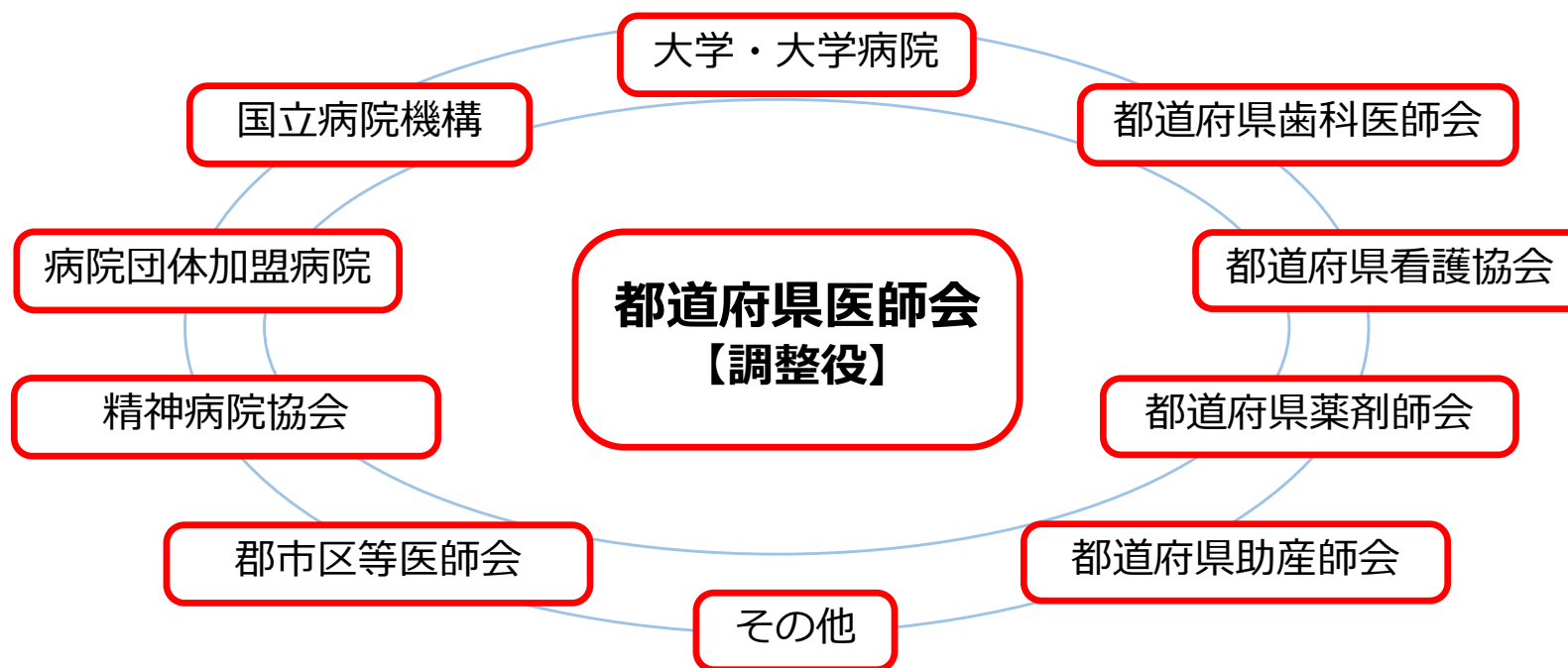
- ① 提供した医療に起因した、又は起因したと疑われる
- ② 予期しなかったもの

医療事故調査制度と支援団体



地域における支援団体の連携体制の例

都道府県医療事故等支援団体連絡協議会



連絡協議会の役割： 支援内容の分担の調整
支援団体間のネットワーク作り
医療資源の把握と相互派遣体制の構築
支援団体役員及び職員の実施

ただし、問題があった医師には厳しく対応

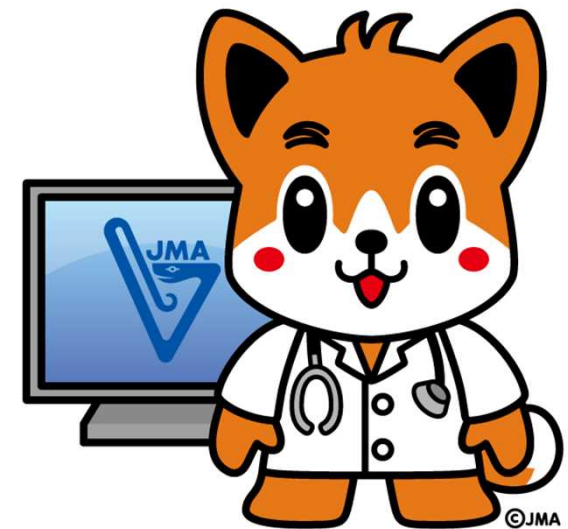
医道審議会

- ・ 委員及び臨時委員は、**日本医師会会長**、日本歯科医師会会長、学識経験者の中から、専門委員は、該当する専門事項の学識経験者の中から、それぞれ厚生労働大臣が任命する。
- ・ **問題があった医師** ・ 歯科医師、薬剤師、保健師・看護師、理学療法士・作業療法士の**免許取消・停止**などの行政処分とその手続を行う。

- 一 心身の障害により医師の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
- 二 麻薬、大麻又はあへんの中毒者
- 三 罰金以上の刑に処せられた者
- 四 前号に該当する者を除くほか、医事に関し犯罪又は不正の行為のあつた者

プロフェッショナル・オートノミー

国民の生命と健康を守るために、
国民から信頼される医師会であり続けるために、
医師会は自らを律し、医療を維持・発展させていくことが求められています

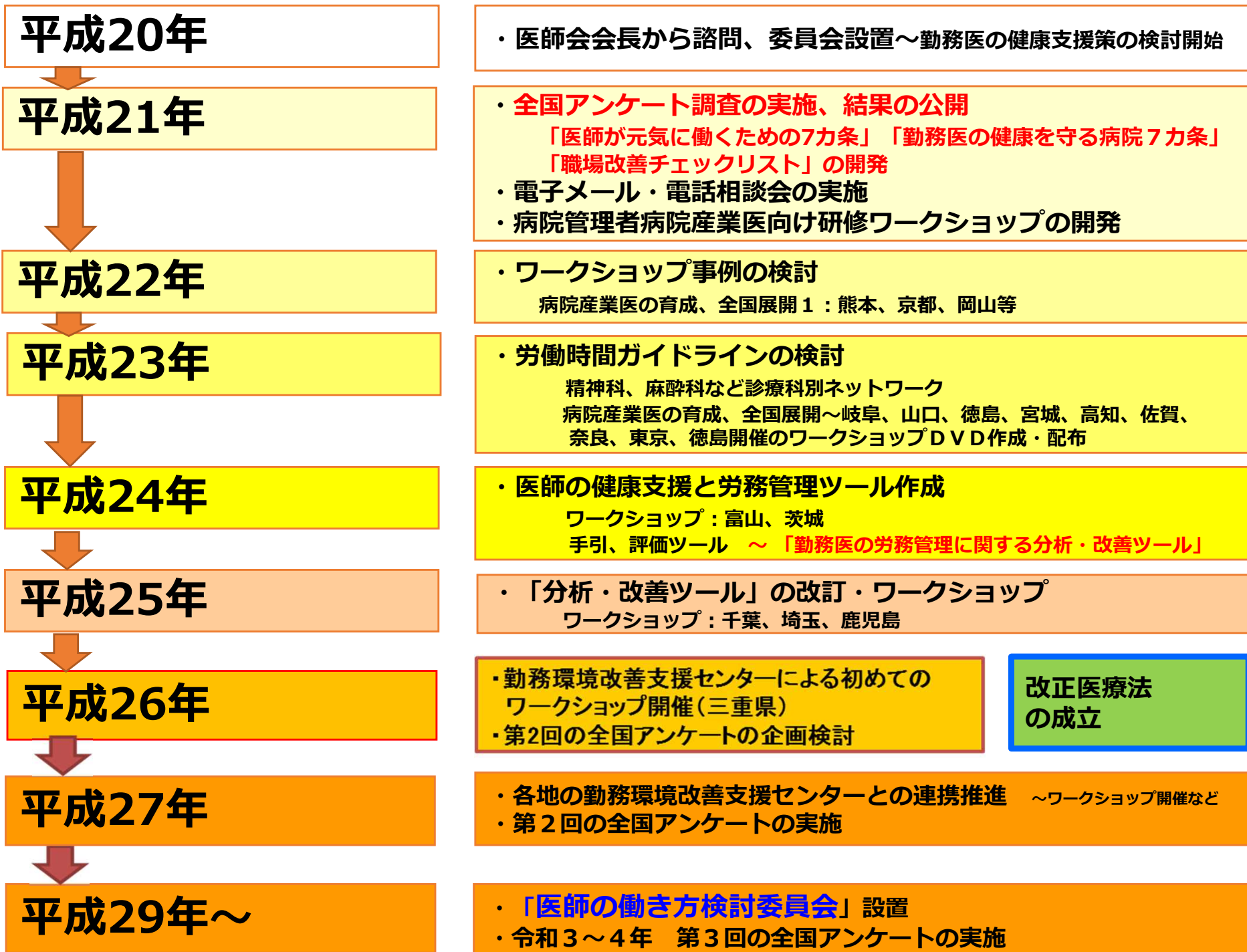


医師が医師会を持つことのメリット



1. 日本の医療制度を守る！
2. 国民の生命と健康を守る！
3. 真摯に医療に取り組む医師を守る！
4. **勤務医の健康を守る！**
5. 医師会は、こんなこともやっています！

勤務医の健康支援等に関する取り組み





医師が元気に働くための 7カ条



医師が元気に働くための7カ条

- 1 睡眠時間を充分確保しよう**

最低6時間の睡眠時間は質の高い医療の提供に欠かせません。
患者さんのために睡眠不足は許されません。
- 2 週に1日は休日をとろう**

リフレッシュすればまた元気に仕事ができます。
休日をとるのも医師の仕事の一部と考えましょう。
- 3 頑張りすぎないようにしよう**

慢性疲労は仕事の効率を下げ、モチベーションを失わせます。
医療事故や突然死にもつながり危険なのでやめましょう。
- 4 「うつ」は他人事ではありません**

「勤務医の12人に1人はうつ状態」。
うつ状態には休養で治る場合と、治療が必要な場合があります。
- 5 体調が悪ければためらわず受診しよう**

医師はとかく自分で診断して自分で治そうとするもの。
しかし、時に判断を誤る場合もあります。
- 6 ストレスを健康的に発散しよう**

飲んだり食べたりのストレス発散は不健康のもと。
運動（有酸素運動や筋トレ）は健康的なストレス発散に最も有効です。
週末は少し体を意識的に動かしてみましょう。
- 7 自分、そして家族やパートナーを大切にしよう**

自分のいのち、そしてかけがえのない家族を大切に。
家族はいつもあなたのことを見守ってくれています。

勤務医の健康を守る病院

7カ条



勤務医の健康を守る病院7カ条

1 医師の休息が、医師のためにも患者のためにも大事と考える病院

必要な睡眠時間や少なくとも週1回の休日がある体制が必要です。

2 挨拶や「ありがとう」などと笑顔で声をかけあえる病院

挨拶から始まる良好な人間関係こそが職場の財産です。

3 暴力や不当なクレームを予防したり、組織として対応する病院

事例の多くは組織的対策により予防や早期解決が可能です。

4 医療過誤に組織として対応する病院

医師個人の責任ではなく、組織としての対応が医師・患者に必要です。

5 診療に専念できるように配慮してくれる病院

業務の効率化・補助者の導入などで負担が減ると、診療の効率もあがります。

6 子育て・介護をしながらの仕事を応援してくれる病院

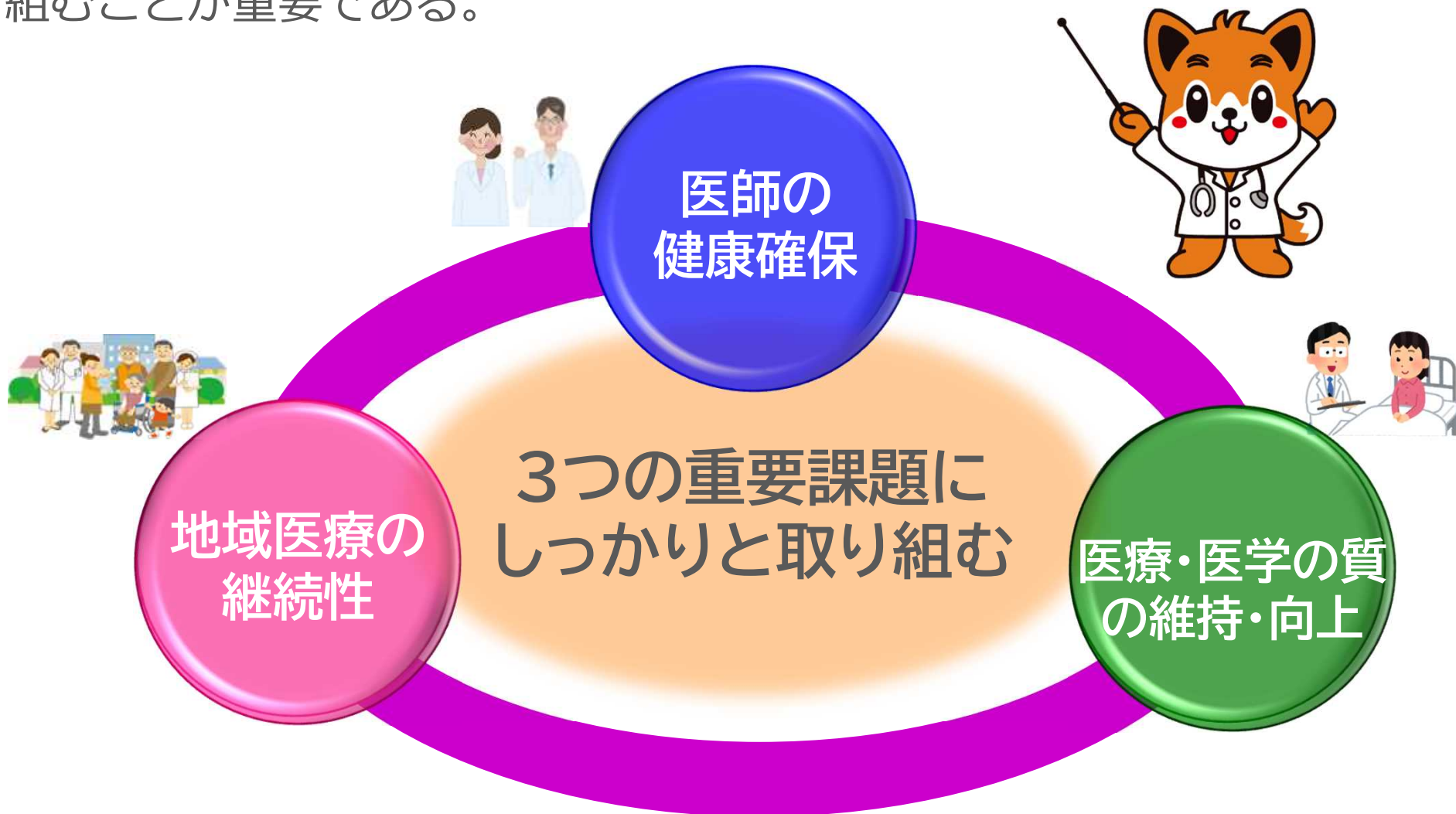
柔軟な勤務時間、妊娠・育児中の勤務軽減、代替医師の確保が望まれています。

7 より快適な職場になるような工夫をしてくれる病院

清潔な仮眠室や休憩室、軽食がすぐに食べられると元気がわきます。

医師の働き方改革の基本理念

医師の働き方改革では、「医師の健康確保」、「地域医療の継続性」、「医療・医学の質の維持・向上」の3つの重要な課題にしっかりと取り組むことが重要である。

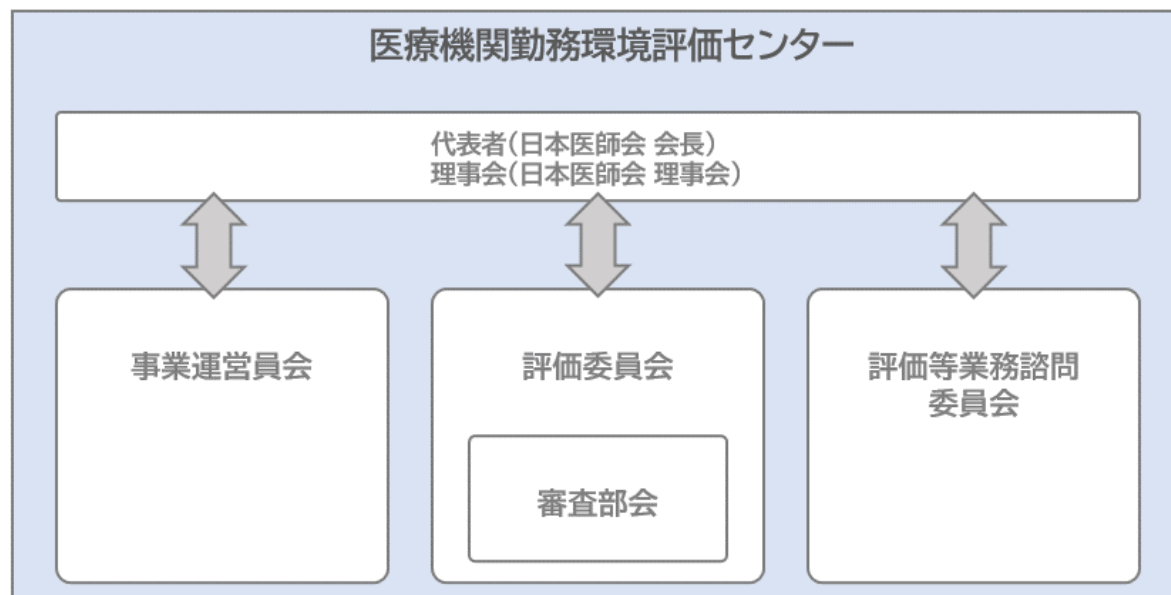


医療機関勤務環境評価センター

2022年4月1日、日本医師会が厚生労働省から指定

事業概要

- ① 医療機関の管理者からの求めに応じ、**医療機関に勤務する医師の労働時間の短縮のための取組の状況**、その他厚生労働省令で定める事項について**評価を行う**こと
- ② 医療機関に勤務する医師の労働時間の短縮のための取組について、医療機関の管理者に対し、**必要な助言及び指導を行う**こと
- ③ その他、医師による良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう、医療機関における医師の**労働時間の短縮を促進するための業務を行う**こと



医師が医師会を持つことのメリット

1. 日本の医療制度を守る！
2. 国民の生命と健康を守る！
3. 真摯に医療に取り組む医師を守る！
4. 勤務医の健康を守る！
5. **医師会は、こんなこともやっています！**



母体の生命と健康を守る！

母体保護法

- **母体保護法指定医師は、都道府県医師会が、母体保護法指定医師審査委員会を設置し、審査を行う**
- **人工妊娠中絶は、都道府県医師会が指定する指定医師のみが行い得る**

※日本医師会が、人格、技能、施設設備などについて指定基準モデルを作成



任命権者

母体保護法指定医師



都道府県医師会

精神保健指定医



厚生労働大臣

地域に貢献する医師を顕彰

日本医師会

赤ひげ大賞



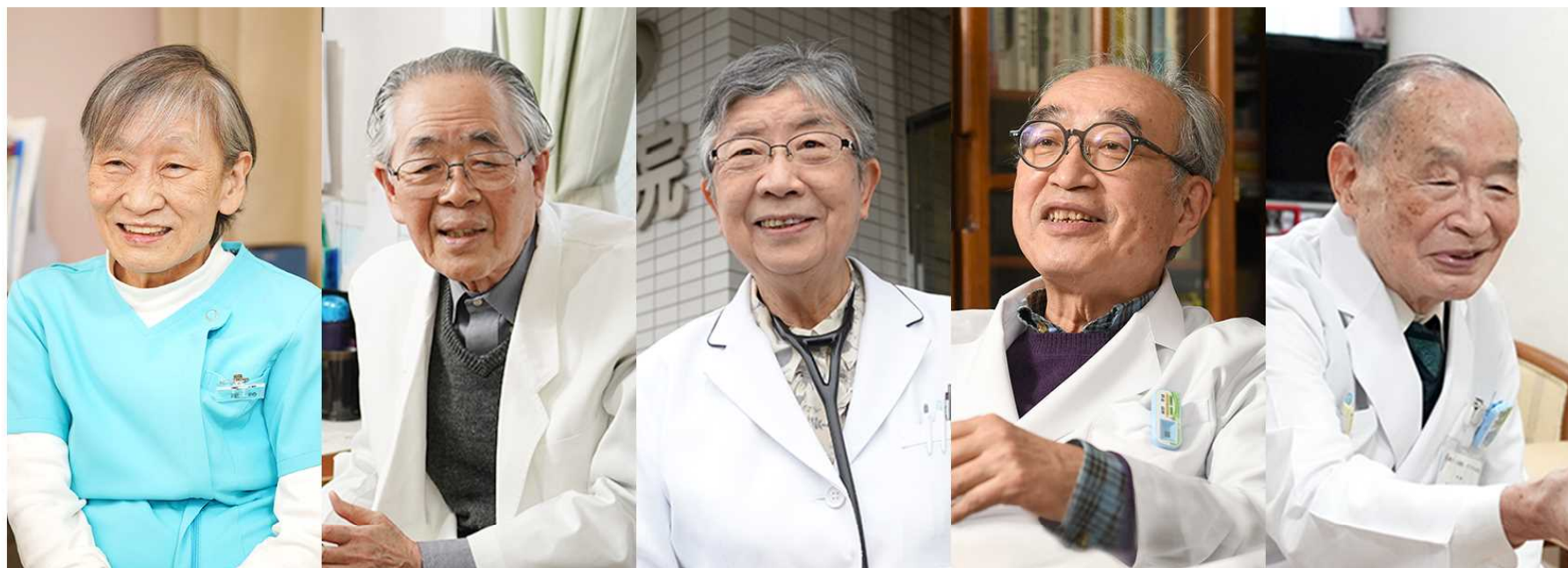
「日本医師会 赤ひげ大賞」は、日本医師会と産経新聞社の主催により「地域の医療現場で長年にわたり、健康を中心に地域住民の生活を支えている医師にスポットを当てて顕彰すること」を目的として、平成24年に創設されました。

主催 日本医師会、産経新聞社
後援 厚生労働省、フジテレビジョン、BSフジ

対象者

病を診るだけでなく、地域に根付き、その地域のかかりつけ医として、生命の誕生から看取りまで、さまざまな場面で住民の疾病予防や健康の保持増進に努めている医師。日本医師会及び都道府県医師会の会員で現役の医師
(ただし、現職の日本医師会・都道府県医師会役員は除く)

第11回「日本医師会 赤ひげ大賞」受賞者



尾崎 真理子氏

大阪府
尾崎医院 理事

石島 正嗣氏

兵庫県
青心会メンタルクリニック
医療法人社団青心会前理事長

桜井 えつ氏

徳島県
住友医院 副院長

藤野 孝雄氏

大分県
藤野循環器科内科医院
理事長・院長

大久保 直義氏

鹿児島県
希望ヶ丘病院 理事長

表彰式・
レセプション

2023年3月3日（金）17:00～20:00
パレスホテル 東京（表彰式：「葵（東）」 レセプション：「葵（西）」）

秋篠宮皇嗣同妃両殿下	レセプション	ご臨席
岸田 文雄 内閣総理大臣	表彰式	祝辞
加藤 勝信 厚生労働大臣	レセプション	祝辞



日本医師会は、人間や動植物のいのちの輝く一瞬をとらえた写真や、医師や看護師、患者との交流をつづったエッセーを募集する「**生命(いのち)を見つめるフォト&エッセー**」コンテストを開催しています

フォト部門

一般の部

厚生労働大臣賞（1点）	賞金10万円、賞状他
日本医師会賞（1点）	賞金10万円、賞状他
読売新聞社賞（1点）	賞金10万円、賞状他
審査員特別賞（数点）	賞金 5万円、賞状他
入選（数点）	賞金 3万円、賞状他

小中高生の部

文部科学大臣賞（1点）	QUOカード 3万円分、賞状他
優秀賞（数点）	QUOカード 5千円分、賞状他

エッセー部門

一般の部

厚生労働大臣賞（1点）	賞金30万円、賞状他
日本医師会賞（1点）	賞金30万円、賞状他
読売新聞社賞（1点）	賞金30万円、賞状他
審査員特別賞（数点）	賞金10万円、賞状他
入選（数点）	賞金 3万円、賞状他

中高生の部

文部科学大臣賞（1点）	QUOカード 3万円分、賞状他
優秀賞（数点）	QUOカード 5千円分、賞状他

小学生の部

文部科学大臣賞（1点）	QUOカード 1万円分、賞状他
優秀賞（数点）	QUOカード 5千円分、賞状他

令和4年度 フォト部門入賞作品

厚生労働大臣賞【一般の部】



小さな笑み
脇元 まみか
(鹿児島県)

日本医師会賞【一般の部】



がんばって
土居 健二
(愛媛県)

読売新聞社賞【一般の部】



縄張り争いの果て
渡辺 聡
(愛知県)

審査員特別賞【一般の部】



90歳差の二人
古賀 美奈
(熊本県)

審査員特別賞【一般の部】



ゆりかご
山本 芳子
(高知県)

審査員特別賞【一般の部】



平熱家族
馬場 このみ
(埼玉県)

医師が医師会に入ること のメリット



医師が医師会に入ることのメリット

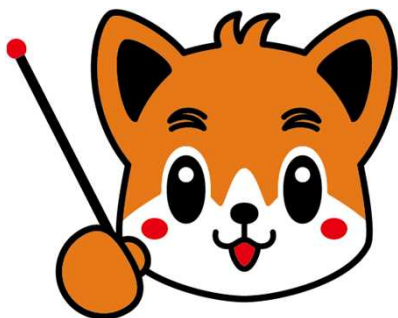
1. **日本医師会 医師賠償責任保険**
2. 医師資格証
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
4. 女性医師・若手医師支援
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. 学術団体としての日本医師会
8. 世界と日本医師会



日医の医賠償

(日本医師会 医師賠償責任保険)

- 卒後5年間は日医の会費免除のため、**費用が圧倒的に低額!**
- 医師会が全面的に支援しますので、**サポートが圧倒的に充実!**
- 個人の補償ですので日本国内の、**アルバイト先の事故も補償!**



安心して医療活動に専念いただくために

日本医師会の 医師賠償責任 保険制度に ぜひご加入ください!



医学部卒後5年間は、
**日本医師会の
会費が免除**
されます。

日本医師会員の特典として、
医賠償責任に
年間 **15,000円**^{※1}で
加入できます。

(※1: 病院・診療所の開設者、管理者等や30歳超は掛金が異なります)

特長その1

納得のサポート

- 交渉や訴訟など、解決まで弁護士の手配等、医師ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決できるように、医師会が全面的に協力

特長その2

充実の補償額

- 支払限度額は、1事故につき**1億円**、保険期間中**3億円**を補償(免責金額100万円)
- さらに、特約保険に加入すると、1事故につき**3億円**、保険期間中**9億円**を補償

特長その3

信頼の判断

- 医療・法律の専門家による中立的な調査・審査機関が事案を1つ1つ調査、中立・公正な判断

特長その4

幅広い補償とサービス

- 日本国内であれば、どの医療機関で診療等の医療行為を行う場合であっても補償
- また、産業医・学校医等の医師活動賠償保険及び医療通訳サービスも自動付帯

日本医師会員ならではの制度をぜひご確認ください!

お問い合わせ先

公益社団法人 日本医師会 医賠償対策課

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
TEL: 03-3942-6136 (平日 午前9時30分~午後5時30分)



日本医師会 医師賠償責任保険（概要）

特長その1

納得のサポート

- 交渉や訴訟など、解決まで弁護士の手配等、**医師ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決**できるように、**医師会が全面的に協力**

特長その2

充実の補償額

- 支払限度額は、1事故につき**1億円**、保険期間中**3億円**を補償（免責金額100万円）
- さらに、特約保険に加入すると、1事故につき**3億円**、保険期間中**9億円**を補償

特長その3

信頼の判断

- **医療・法律の専門家による中立的な調査・審査機関**が事案を1つ1つ調査、**中立・公正な判断**

特長その4

幅広い補償とサービス

- 日本国内であれば、**どの医療機関で診療等の医療行為を行う場合であっても補償**
- また、産業医・学校医等の医師活動賠償保険及び医療通訳サービスも自動付帯

民間保険 と 日医の医賠償 の違い

民間保険

紛争解決において、**医師本人、もしくは保険会社手配弁護士が対応**することとなり最終的にかかった費用が支払われる

※会社によって異なりますので、個別に御確認ください

日医の医賠償

紛争解決まで、弁護士の手配など**医師会が全面的に支援**するため、個人で手配する必要がない

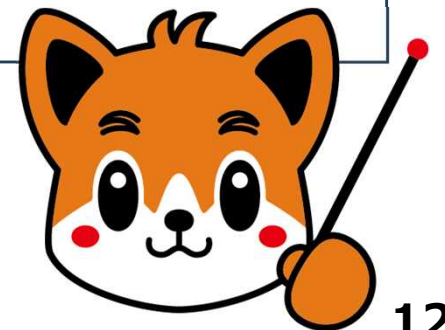
日医の医賠償 (日本医師会医師賠償責任保険)

日医の医賠償は、郡市区等医師会及び都道府県医師会がサポートするため、加入するには郡市区等医師会・都道府県医師会・日本医師会の3層すべての会員であることが必要です

ただし、2つの割引制度を活用すれば、お得に日医の医賠償に加入できます

- ① 卒後5年間は、日本医師会の会費が無料※
- ② 30歳以下の勤務医の保険料は、25,000円割引

※郡市区等医師会、都道府県医師会の会費はそれぞれ異なりますので、個別に確認をしてください。



卒後5年目までの年間掛金

31歳以上の勤務医	40,000円 (※R6年度より36,000円)
30歳以下の勤務医	15,000円
研修医	15,000円

- ・ 病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員は、別料金となります。
- ・ 日医の医賠償保険の免責100万円を補償する“通称100万円保険”に加入希望の場合は、別途費用が必要となります。

- ・ 卒後5年間は日医の会費は無料なので、医賠償に加入しない場合は日本医師会の会費負担はありません。
- ・ 郡市区等医師会、都道府県医師会の会費はそれぞれ個別にご確認ください。
- ・ 卒後6年目以降は、日本医師会の会費が発生しますが、日医の医賠償ならではの圧倒的に充実したサポートと医師会員としての他の多くの特典もあります。6年目以降も、継続のご検討をお願いいたします。



医師が医師会に入ることのメリット

1. 日本医師会 医師賠償責任保険
- 2. 医師資格証**
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
4. 女性医師・若手医師支援
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. 学術団体としての日本医師会
8. 世界と日本医師会



医師資格証 (HPKIカード)

The image shows a blue and white Medical Doctor Qualification Certificate (HPKI Card) issued by the Japan Medical Association (JMA). The card features a cartoon illustration of a brown and white fox-like character wearing a white lab coat and a stethoscope. The text on the card includes the HPKI logo, the JMA logo, and the following information:

Medical Doctor Qualification Certificate	医師資格証
氏名	日医君
Date of birth 生年月日	01 Aug 1900 1900年 8月 1日
JMA Membership ID No. 日医会員 ID 番号	9999999999
Medical License No. 医籍登録番号	999999
Date of expiry 有効期限	01 Aug 2027 令和9年8月1日
カードID	JMA999999999
Date of issue 発行日	01 Apr 2022 令和4年4月1日

上記の者は、医師であることを証明する。
We hereby certify that the person above mentioned is a Medical Doctor.

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION
公益社団法人 日本医師会

HPKI:Healthcare Public Key Infrastructure

今後、医療におけるデジタル化の中での個人の身分証明書になる

医師資格証の利用シーン

身分証としての利用シーン



採用時の 医師資格確認

医療機関等での採用時に、医師免許証の原本確認に代えて、医師資格証による確認も認められています。

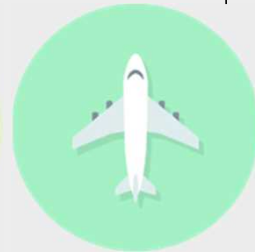
今後、医師資格証による資格確認を、より広く様々な場面でできるように、各方面へ働きかけを進めていく予定です。



緊急時の身分証

災害時緊急時に、医師資格証によって医師であることを示すことができます。

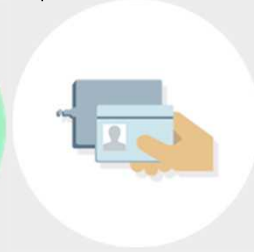
日本医師会では、JMAT等、災害時における医療チーム派遣時にも医師資格証の携帯を推奨しています。



JAL DOCTOR 登録制度

JALグループ便機内で急病人や怪我人が発生し、医療援助が必要となった場合、登録いただいた医師の方へ客室乗務員が直接お声がけをさせていただきます。

この制度に申し込む際、医師資格証が必要になります。



講習会受付

生涯教育制度、認定医制度、かかりつけ医機能研修制度等、各種研修会で「医師資格証向け出欠管理システム」が導入された医師会等での研修会では、医師資格証をICカードリーダーにかざすだけで受付を行うことができます。

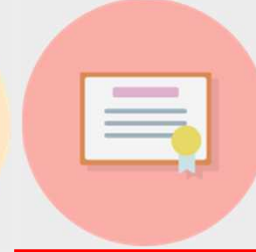
※研修会に同システムが導入されているかについては、ご所属の医師会にご確認ください。



ログイン認証

通常のID/パスワード等のフレーズを利用したログインの代わりに、医師資格証を利用したサービスへのログインが可能となります(併用可)。

電子認証センター提供のサービスでは、医師資格証によるログイン認証を行っております。



HPKI電子署名

電子化された医療情報文書に対してHPKI署名を付与することで、本人であり、医師資格を持っていることを証明することができます。

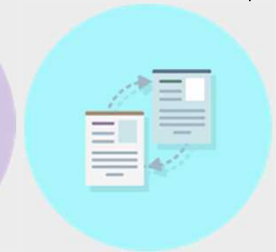
HPKI署名は、診療情報提供書の加算を算定する時の要件になっています。
また、現時点で電子処方箋を発行する際に求められる電子署名を行う唯一の方法です。



研修会受講履歴 単位管理

「全国医師会研修管理システム」を導入している都道府県で開催された研修会を受講した際に、出欠が確定された研修会に関する受講履歴の閲覧や単位管理ができます。

確認は、「医師資格証ポータル」ログイン後、該当のページ(タブ)よりご確認ください。



他社サービスの 利用

日本医師会ORCA管理機構株式会社が提供している文書交換サービスである「MEDPost」のログイン時に医師資格証が必要となります。

※ 2023年1月から運用開始されている電子処方箋を発行するためには、
医師が国家資格を証明しつつ、電子署名を行う必要がある

現時点でそれを満たす方法は、HPKI電子署名のみ

医師資格証搭載の電子証明書 or クラウド上のHPKIセカンド電子証明書

医師資格証の利用料が無料に。

医師資格証は医師資格を証明するICカードです。
様々な医療活動がスムーズに行えるよう支援しています。

医師資格証について >

身分証明書として



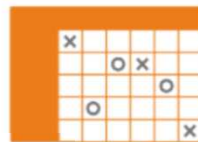
救急災害時やボランティア活動時
など医師資格証を提示することで
医師であることを証明できます。

電子署名として



紹介状、診断書、主治医意見書な
ど、コンピューター上で捺印の必
要な文書を作成する場合、電子的
な印鑑の機能として利用できま
す。

出欠管理として



講習・研修会の受講管理や取得単
位の確認等に利用できます。

認証として



カルテや地域医療連携バスなどの
医療情報を閲覧する場合、認証を
行います。



日本医師会員は、更新料も無料

非会員は、発行と5年毎の更新時に各5,500円がかかります

医師が医師会に入ることのメリット

1. 日本医師会 医師賠償責任保険
2. 医師資格証
3. **日本医師会 医師年金・医師国保**
4. 女性医師・若手医師支援
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. 学術団体としての日本医師会
8. 世界と日本医師会



日本医師会 医師年金

若いうちからコツコツと
(または、余裕が出てきたらまとめて)
一生受け取れる年金を備えられる

日本医師会員だけの
『医師のための年金』



日本医師会 **医師年金**

早い時期からの加入で
長期の

複利効果を
最大限に活かしましょう!

予定利率
1.5%

(※令和5年4月1日現在)



加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員

特長その1

超低金利時代に
賢く資産形成

- 保険料は**複利**で運用。早く始めれば始めるほど高い効果が期待
- 事務手数料は**0.25%のみ**で、年金事業で得られた利益はすべて加入者に還元

特長その2

ライフスタイルに
合わせた保険料

- 毎月、12,000円を基本年金保険料として、**いつでも、いくらでも**、自由に加算年金保険料(月額6,000円単位)を追加可能
- 人生100年時代を見据えた、**一生継続給付**

特長その3

医師のための
年金制度

- 昭和43年に創設され、現在では5,000億円を超える運用資産を持つ国内最大級の私的年金
- 公的年金とは違い、「**自分の年金**」を「**自分で積み立てる**」年金
- 非営利団体の日本医師会が運営する**医師のための年金制度**

医師年金ホームページでも
シミュレーションできます



医師年金

検索

<https://nenkin.med.or.jp/>



お問い合わせ先・郵送先

公益社団法人 日本医師会 年金福祉課

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
TEL:03-3942-6487 (平日 午前9時30分~午後5時)



医師年金

予定利率

現在 **1.5%** ※
※ 2021年10月時点



制度加入者数

約 **40,000** 名



資産規模

運用資産
約 **5,000** 億円



Point!



- 積立型の医師専用の私的年金で、利率は現在 **1.5%** です。
- 事務手数料が少額 (**0.25%**) で効率的な積立ができます。
- 終身年金で **一生涯受取可能** です。





医師のための年金概要

- ① 全体概要編、② 勤務医・研修医向け編、③ 開業医向け編、④ 女性医師向け編、⑤ 年金受取を検討している方向け編、の5つのパートに分かれています。

1本5分前後で、字幕付きなので音の出せない場所でもなどで視聴できます。

医師のための年金概要

①年金制度の全体像

日本医師会 年金福祉課



医師のための年金概要

②勤務医・研修医向け

日本医師会 年金福祉課



医師年金に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

日本医師会 年金福祉課 TEL：03-3942-6487 平日9：30～17：00

医師国保



- 医師会員の医師、家族・職員が加入できる健康保険
- 医師会費※¹を含めても市町村国保よりも割安になる場合が多い※²
- 市町村国保にはない任意給付や保健事業があります



特に、このような方が有利です※²

- 大学院生や子育てのため、常勤を離れる方
- 開業を予定される先生（従業員5人未満）

※¹ 日本医師会及び多くの地域医師会では医学部卒後5年目まで会費減免(無料化)を実施しています

※² 加入条件や保険料は都道府県医師国保によって異なりますので、ご確認ください

医師が医師会に入ることのメリット

1. 日本医師会 医師賠償責任保険
2. 医師資格証
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
- 4. 女性医師・若手医師支援**
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. 学術団体としての日本医師会
8. 世界と日本医師会





医師ならではの休業時サポートの落とし穴

医師ならではの複雑な雇用形態が休業時のサポートに影響を及ぼす可能性があります。①育児休業の取得や給付金の受給の対象外になる可能性があります ...



旧姓のまま働きたい場合はどうしたらいい？



「女性医師バンク」PR動画のご案内



労働条件通知書を見てください

「労働者を守る制度・仕組み」で触れたとおり、使用者は労働条件を書面などで明示するよう法律で定められています。明示しなければならない内容は、下記...



ハンドブックのご案内



医師の健康を守る

医師の働き方改革も進められています。①「医師の働き方改革」が始まります 近年は「働き方改革」が進み、医師についても長時間労働の是正などが行われ...

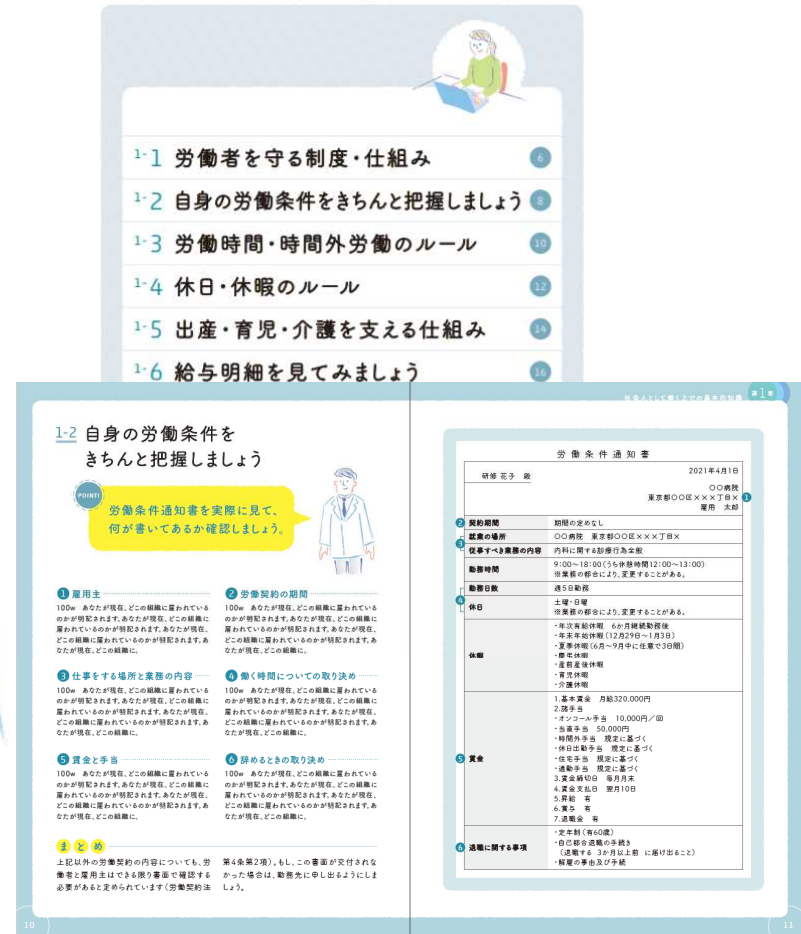


育児休業中の資格やスキルの維持



「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」

女性医師支援センターでは、『医師の多様な働き方を支えるハンドブック』を制作・配布しております。このハンドブックは、医師が社会人として働く上での基礎知識や出産・育児に関して直面する課題、それを支える制度など必要な情報を掲載しており、医学生、研修医など若手医師をはじめ多くの医師にご活用頂ける内容となっています。



詳細は女性医師支援センターHP
(<https://www.med.or.jp/joseiishi/article037.html>)をご覧ください。





日本医師会女性医師バンク

結婚・出産・育児・介護・・・

女性医師は様々なライフイベントによって働き方に変化が生じます。

日本医師会では「女性医師バンク」（無料の職業紹介事業所）の運営を行っており、女性医師が無理なく就業を継続するための相談窓口や就業・復職（再研修）のサポートを実施しています。

<相談事例>

産休後、育児をしながら無理なく勤務できる就業先を探しています。
(産婦人科医、30代)

医師不足だった公的病院をご紹介し、週3回から勤務を始めました。これによって、休診中だった産婦人科外来が再開しました。その後、子どもの成長とともに外来から病棟へと勤務を広げ、常勤医として現在に至っています。

夫の転勤にともなって他県に転居。幼児がいるため、院内保育所のある施設での就業を希望します。
(整形外科、30代)

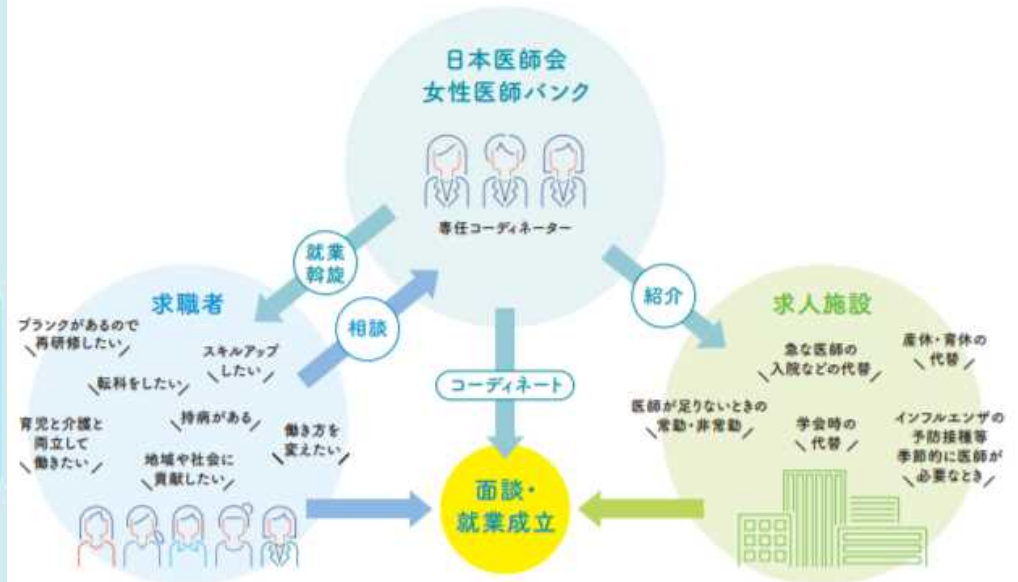
県内の大学病院の整形外科に照会し、保育所のある関連病院の整形外科に週1回からの勤務が決定しました。慣れてきたところで週2回に増やし、外来や入院、手術を経験されました。第二子の妊娠・出産のため退職されましたが、様子を見て再登録を希望されています。

夫の海外留学に伴い、7年間のブランクがあります。
(内科、30代)

お子さんが小学校低学年と幼稚園ということもあって、居住地近くの私立病院を紹介し、就業が決定しました。同僚の女性医師との関係も良好で、ご本人からは「働きやすい」との感謝の言葉をいただきました。

●費用はすべて無料!

●専任コーディネーターがきめ細かくサポート!



まずはお気軽にご相談ください!

03-3942-6512

(平日10:00～17:00)



詳しくはWebサイトをご覧ください。

日本医師会女性医師バンク で検索

または、QRコードを読み込み、アクセスしてください。



医師が医師会に入ることのメリット

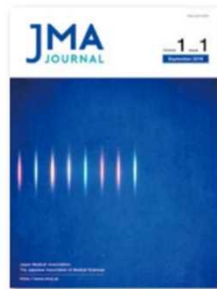
1. 日本医師会 医師賠償責任保険
2. 医師資格証
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
4. 女性医師・若手医師支援
5. **日本医師会からの情報発信**
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. 学術団体としての日本医師会
8. 世界と日本医師会



日本医師会の定期刊行物

刊行物名	創刊	発行	内容および備考
日医ニュース	昭和 36 年 9 月 20 日	月 2 回 (5 日、20 日)	日本医師会の機関紙
日医 FAX ニュース	平成元年 5 月	週 2 回 (原則火、金)	中央情勢の即時的伝達
日本医師会雑誌	大正 10 年 10 月 「醫政」として発刊	月 1 回	日本医師会の機関誌 昭和 12 年 5 月誌名変更
日本医師会年次報告書	昭和 39 年 医業白書として発刊	年 1 回	日本医師会の主張、施策、諸活動を中心 に編纂した学術書 (日医ホームページ 〈メンバーズルーム〉、日医 Lib * に掲載)
JMA Journal	平成 30 年 9 月	年 4 回 (予定)	JMAJ (昭和 33 年 AMJ として創刊) の後継誌、日本医師会・日本医学 会発行英文医学総合ジャーナル

* 日本医師会の各種発行物をスマートフォンやタブレット端末、PC で読むことができる電子書籍配信サービス



JMA Journal

- 日本医師会は、日本医学会との協力により、2018年9月28日、**英文医学総合ジャーナル『JMA Journal』**を創刊しました。年4回発行しており、優れた学術成果を広く世界に公開することで、国際的な医学の高揚と医療の質の向上に貢献することを目指しています。
- 創刊号には、山中伸弥京都大学 iPS細胞研究所所長・教授による「人工多能性幹細胞（iPS細胞）技術の臨床への応用」についてのレビュー論文をはじめ、日本のトップの研究者らの論文が掲載されています。
- 掲載論文は医学、医療全般をカバーし、医療政策やオピニオンを含む幅広い分野について、国内外の医学研究者、その他医療従事者からの投稿を募集し、**投稿料は当面無料**としています。
- JMA Journalはオープンアクセスのオンラインジャーナルです。査読後、受理された論文から速やかに早期公開されます。
- J-StageやPMC（旧PubMed Central）への収載、TrendMDやTwitterの積極的な活用に努め、諸外国からのアクセスも年々増加しています。



入会案内冊子の発行

日本医師会はライフステージにあわせて会員の皆様を“サポート”いたします。

Work 診療支援

- 非常勤でも手厚い補償
- 日本医師会 医師賠償責任保険制度 P11
- 医師資格証 P13
- 医療DX時代に必須の一枚を無料で発行
- 1.5%の予定利率で自分の年金を運用
- 医師年金 P19
- 医師国保 P21
- 会費免除
- 医学部卒業後5年間の

Study 教育支援

- 世界を舞台に活躍の場を広げる
- ハーバード大学 武見国際保健プログラム P27
- 論文の投稿料は 当園無料
- JMA JOURNAL P27
- 日本医師会 医学賞・医学研究奨励賞 P27
- のちのノーベル賞受賞者も顕彰
- 認定産業医・認定スポーツ医 P17
- 論文の投稿料は 当園無料
- JMA JOURNAL P27
- 日本医師会 医学賞・医学研究奨励賞 P27
- のちのノーベル賞受賞者も顕彰

Life 生活支援

- 生涯教育・かかりつけ医機能研修制度 P25
- 女性医師支援センター（女性医師バンク） P23
- 無料で医療機関を紹介、男性の登録も可能
- 会員価格でお得に受講
- 認定産業医・認定スポーツ医 P17
- タイムリーなサポートありがとう!
- 多岐にわたるサポートありがとう!

医師が心身ともに健全に、その職責を存分に発揮してもらえるよう環境整備にも取り組んでいます。 P15

地域医療

一人ひとりの医師の活動には限界があります。専門性をもつ多くの医師が医師会活動を通じて地域を担って支えています。

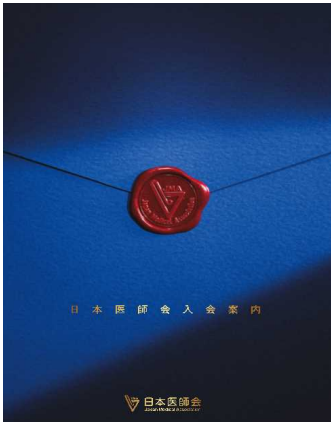
- 高齢者施設 施設医師・院長として施設の高齢者の健康を支援
- 公民館 地域住民への健康啓発活動
- 地域連携 地域連携センター 多職種連携で地域の健康を支える
- 地域連携 地域連携センター 多職種連携で地域の健康を支える
- 学校 学校医として子どもたちの成長・健康を見守る
- 行政との連携 行政・医師会、お互いの強みを活かして政策を実施
- COVID-19では、検査体制の拡充のほか、無料外来診療やワクチン接種体制の構築等、地域医療の確保に尽くしました。
- 災害時には、医療従事者の協力を得て日本医師会災害医療チームJMAATも結成し、多くの医療チームを被災地に派遣しています。 JMAAT: Japan Medical Association Team

日本医師会、医師個人が代表する唯一の団体として、医療現場の声を国に届けるために、日々活動しています。

皆様の声を届けるため、議員活動をはじめ、内閣府、内閣府、文部科学省、厚生労働省、国土交通省、経済産業省、消防庁、国土交通省など、34の省庁等における約200の各種会議（ministry）に参加しています。

また、医療現場の声を重要視するなどの影に取られ、関係方面に働きかけています。

様々なステップ・プログラムが導入される医師会の認定プログラムに、医師会の認定を受け、より良い医療現場を実現していくために、医師会の一員となり、皆様の声を届けてください。

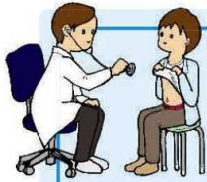


主な内容

- ・ 地域医療、医療現場の声を国に届ける
- ・ 医師資格証（**会員は発行料・更新料が無料**）
- ・ 日本医師会医師賠償責任保険
- ・ 医師年金、医師国保、女性医師支援センター（女性医師バンク）
- ・ 認定産業医・認定健康スポーツ医
- ・ 研究・学習支援（生涯教育制度や国際的な研究・高度研修プログラム）など

医療現場の声を国に届ける





もしも医事紛争が起きてしまったら？

日本医師会医師賠償責任保険

近年では勤務医個人に対する訴訟も増えています。日本医師会医師賠償責任保険では、医療の専門家から構成される中立的な調査・審査機関が、賠償の有無や額を判断します。また、医師ができるだけ失面に立つことなく紛争を解決できるよう、訴訟・示談などの交渉を支援する仕組みも整っています。

専門の調査・
審査機関がある

訴訟や
示談などを支援

勤務先を問わず
補償(日本国内)

退職・退会後も
サポート

診療

医師だと証明することが 必要なとき

日本医師会電子認証センター

医師資格証を活用することで、ネットワーク上で間違いなく医師本人だと証明することや、医師が作成する公的文書などに医師資格入りの電子署名を付与することができます。

ICカードの
医師資格証
発行

産業医として 働くためには？

日本医師会認定産業医制度

従業員50人以上の事業場には、産業医を置くことが法律で定められています。その産業医になるための研修および認定を受けることができます。

厚労省が
定める研修

勤務先の
選択幅が
増える

女性医師

女性医師が、仕事と育児・家庭を両立するために

日本医師会女性医師支援センター／日本医師会女性医師バンク

医学部卒業生の3割以上が女性である現在、女性医師が出産・育児と仕事を両立できる環境づくりは医療界全体の課題であり、男性医師にとっても重要な問題です。日本医師会は、女性医師の働きやすい環境作り積極的に取り組んでいます。

女性医師
支援
センター

医学生や
研修医への支援

勤務環境の整備に
関する啓発活動

女性医師
バンク

コーディネーターが
実情に合わせた職場を紹介

復職・再研修の
サポート



安心できる老後のために

日本医師会年金

日本医師会年金は日本医師会が会員福祉の一環として昭和43年に発足させた、積立型の私的年金制度です。公的年金に上乗せする形で積み立てることができ、勤務先が変わっても継続できます。金利設定が比較的高いことも魅力のひとつです。

日本医師会会員の
ための私的年金

一生涯受け取れる
年金

保険料の増減は
自由

年金の受給開始を
75歳まで延長可能



生活

研究・進学などで 常勤ポストを離れたら

医師国民健康保険

医師とその家族・従業員のための健康保険で、保険料が比較的安く設定されています。

非常勤も
加入可

保険料が
比較的
安い

会員を支える 4つの安心

日本医師会が用意している様々なサポート

日本医師会は、診療・生活・学習・女性医師の4つの側面から医師と

してのあなたを支えます。

どこにいても 大学図書館並みのサービスを

日本医師会医学図書館

約110,000冊の蔵書、約1,000タイトルの雑誌を利用できます。

蔵書数は
大学図書館
並み

インター
ネットで
申込

複写を
全国各地に
発送可能

学習

分野を問わず、最新の医学・医療を学び続けるために

日本医師会生涯教育制度

国民の生命と健康に深く関わる医師が、継続的な自己学習・研修を効果的に行えるように作られた制度です。勤務医や若手医師が専門分野以外の情報や知識に触れる機会としても活用していただけます。e-ラーニングや講習会など様々な形式で、学習機会が提供されています。

要件を満たす
ことで認定証発行

最新の情報に
触れられる

専門医の共通
講習も開催

e-ラーニング
受講可能

各地域で講習会を
恒常的に開催



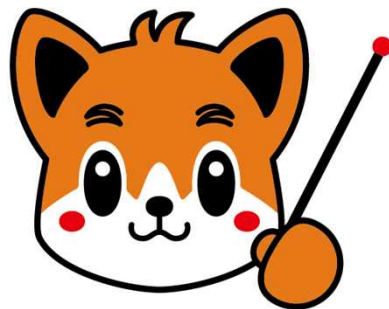
日医Libは、2014年に日本医師会が開始した**学術に特化した電子書籍配信サービス**です。

現在、会員誌である日医雑誌をはじめとする各種の出版物など**約1,200冊**を収載しており、都道府県医師会コーナー、研修医・医学生コーナー等が設置されているほか、一部一般公開も行っています。

利用者は日医Libアカウント取得後にタブレット・スマートフォン・パソコンなど、ご自身のデバイスへ豊富な出版物の中から必要なコンテンツを取り込み、論文、専門書に最適化されたビューワーで閲覧することができます。

まずは登録！ 日医Libのご利用には**日医Libユーザー登録**が必要です
「日医会員ID」とは別に **ユーザー登録はこちら**

<https://jmalib.med.or.jp/index.php>



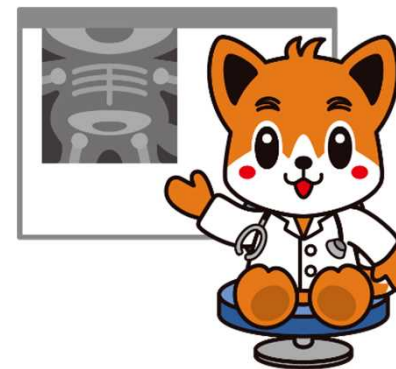
医師が医師会に入ることのメリット

1. 日本医師会 医師賠償責任保険
2. 医師資格証
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
4. 女性医師・若手医師支援
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 **認定産業医、認定健康スポーツ医**
7. 学術団体としての日本医師会
8. 世界と日本医師会



産業医とは？

- 産業医は、「**職場で労働者の健康管理等を行う医師**」で、定期的に職場に訪問して、従業員の心身の健康状態や労働衛生を把握したうえで会社に助言する
- **メンタルヘルス**や、**過重労働管理**など、リスクマネジメントやコンプライアンスの観点で意見が求められる
- **50名以上**の労働者が働く職場では、産業医を選任することが義務
(労働安全衛生法第13条)
- 大企業では専属産業医を配置しているところもあるが、中小企業では勤務医や開業医が**診療の合間に嘱託医**として働くケースが多い
(50名以上の職員がある医療機関にも産業医を配置する義務がある)
- 産業医の認定と更新には、日本医師会や都道府県医師会、産業医科大学が行う研修会に出席することが必要
- 医師会員には産業医の研修会の案内が届くほか、有料の研修会も割引制度あり



日本医師会認定産業医

I. 日本医師会認定産業医

所定のカリキュラムに基づく産業医学基礎研修50単位以上を修了した医師、または、それと同等以上の研修を修了したと認められる医師に、申請に基づき日本医師会認定産業医の称号を付与し、認定証を交付します。**この認定証をもって労働安全衛生法に規定された産業医の要件を満たし、産業医活動を実施することができます。**

また、この認定証は、有効期間5年間に、産業医学生涯研修20単位以上を修了した医師について更新ができます。

II. 産業医学講習会

日本医師会では、産業医学生涯研修単位を取得できる研修として、「産業医学講習会」を50年以上にわたり実施しています。

産業医学講習会では、3日間の講習で産業医学生涯研修単位が16.5単位取得できるほか、労働衛生コンサルタント試験（保健衛生区分に限る）の筆記試験の免除を受けることができます。

【産業医学講習会 受講料】

日本医師会会員：18,000円 、 非会員：27,000円



日本医師会認定健康スポーツ医制度

I. 目的

日本医師会では、平成3年、地域社会における運動への関心の高まりから、運動を行う人に対して医学的診療のみならず、メディカルチェックや運動処方を行い、各種運動指導等に指導助言を行い得る医師を要請することを目的として、認定健康スポーツ医制度を発足した。

II. 概要

所定のカリキュラムに基づく健康スポーツ医学講習会（25科目）を修了した医師を日本医師会認定健康スポーツ医として認定している。

認定証更新のためには、有効期間の5年間に健康スポーツ医学制度再研修会5単位以上を修了し、かつ健康スポーツ医としての実践活動を行う必要がある。

III. 実績

この制度では都道府県医師会が窓口となり、各種申請の受付等を行っている。令和5年1月末までに延べ24,636人の認定健康スポーツ医を養成している。

IV. 費用（前期後期合算額）

➤ 日本医師会会員：24,000円 非会員：36,000円



医師が医師会に入ることのメリット

1. 日本医師会 医師賠償責任保険
2. 医師資格証
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
4. 女性医師・若手医師支援
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. **学術団体としての日本医師会**
8. 世界と日本医師会





日本医学会

日本医師会定款第8章

第48条 本会に、日本医学会（以下「学会」という。）を置く

第49条 学会は、各分科会をもって構成する。

2 分科会は、別に定めるところにより、医学の各専門分野に応じて、区分する。

第50条 学会は、医学に関する科学及び技術の研究促進を図り、**医学及び医療の水準の向上**に寄与することを目的とする。

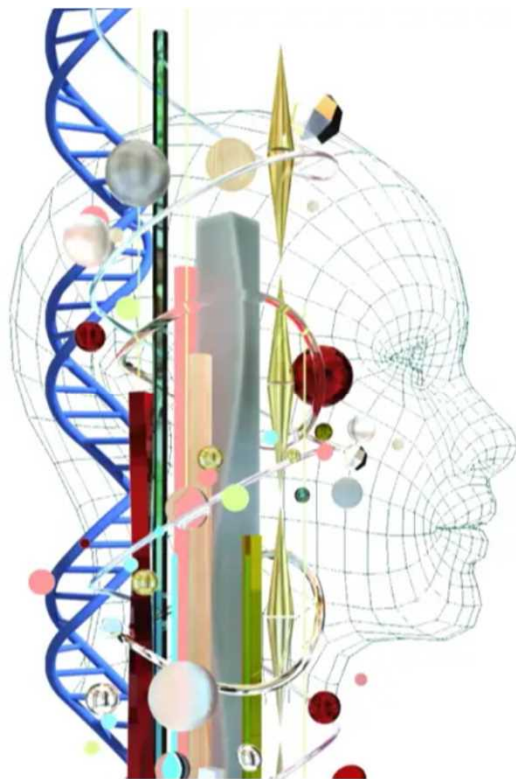
学会は、日本内科学会、日本外科学会など**142の分科会**（令和5年8月24日現在）で構成され、学会の目的を達成するため次の事業を行っています。

- ① 日本医学会総会の開催
- ② 日本医学会シンポジウムの開催
- ③ 医学および医療に関する情報の収集と伝達
- ④ その他学会の目的達成上必要な事業

日本医学会総会

医学会総会は、明治35年（1902）に「第1回日本聯合医学会」として開催され、その後、日本医学会と改称、以後4年ごとに総会を開催しています。

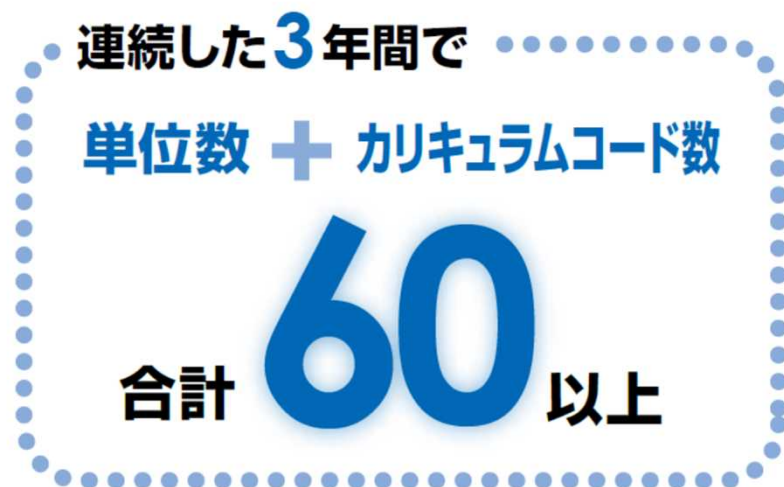
令和5年（2023）には、「ビッグデータが拓く未来の医学と医療～豊かな人生100年時代を求めて～」をメインテーマに、第31回日本医学会総会が東京で開催されました。



第31回
日本医学会総会 2023 東京
ビッグデータが拓く未来の医学と医療
～豊かな人生100年時代を求めて～



日本医師会生涯教育制度の概要



「日医生涯教育認定証」を発行



認定期間は**3**年

単位・カリキュラムコードの取得方法

1. 日本医師会雑誌を利用した解答
2. 日本医師会e-ラーニングによる解答
(1. 2.は、日本医師会員のみ)
3. 講習会・講演会・ワークショップ等
4. 医師国家試験問題作成
5. 臨床実習・臨床研修制度における指導
6. 体験学習
共同診療、病理解剖見学、症例検討、
手術見学等の病診・診診連携の中での学習
7. 医学学術論文・医学著書の執筆

「日医e-ラーニング」で日本専門医機構認定共通講習

- 「日医e-ラーニング」の一部コンテンツでは、日本専門医機構が認める専門医共通講習の単位が取得できます。
- 「日医e-ラーニング」は、日本医師会員のみが受講できる学習教材であり、専門医共通講習の単位取得に大きなメリットとなっています。

「日医e-ラーニング」で取得できる専門医共通講習

- ① 必修講習 A（3 カテゴリー）：医療安全、医療倫理（臨床倫理、研究倫理、生命倫理を含む）、感染対策。
- ② 必修講習 B（5 カテゴリー）：医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済（保険医療に関するものを含む）、両立支援及びそれらに関連する講習会。
- ③ 任意講習 C（2 カテゴリー）：臨床研究・臨床試験、災害医療

※共通講習のカテゴリーのうち、赤字は「日医e-ラーニング」のコンテンツで単位取得ができる。



日医かかりつけ医機能研修制度

平成28年4月1日より実施

【目的】

今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「**かかりつけ医機能**」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修を実施する。

【かかりつけ医機能】

1. 患者中心の医療の実践
2. 継続性を重視した医療の実践
3. チーム医療、多職種連携の実践
4. 社会的な保健・医療・介護・福祉活動の実践
5. 地域の特性に応じた医療の実践
6. 在宅医療の実践



* 日本医師会ホームページ「日医かかりつけ医機能研修制度」制度概要より作成
(http://dl.med.or.jp/dl-med/doctor/kakari/system20160317_1.pdf)

【研修内容】

基本研修

- ・日医生涯教育認定証の取得。

応用研修

- ・日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区医師会が主催する研修等の受講。

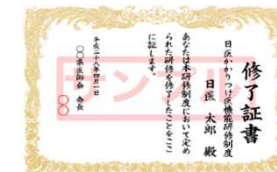
規定の座学研修を10単位以上取得

実地研修

- ・社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践。

規定の活動を2つ以上実施
(10単位以上取得)

3年間で上記要件を満たした場合、都道府県医師会より
修了証書または認定証の発行（有効期間3年）。



日医かかりつけ医機能研修制度

(令和5年12月6日現在)

応用研修受講者数(延べ人数)合計:64,430名

第1期

H28年度受講者:9,391名
(研修開催回数:日医中央研修1回、22都道府県42回)

H29年度受講者:9,712名
(研修開催回数:日医中央研修1回、27都道府県47回)

H30年度受講者:10,609名
(研修開催回数:日医中央研修1回、31都道府県46回)

第1期 合計:29,712名

第2期

R元年度受講者:9,361名
(研修開催回数:日医中央研修1回、30都道府県53回)

R2年度受講者:6,571名
(研修開催回数:43都道府県138回 ※日医中央研修未開催)

R3年度受講者:6,296名
(研修開催回数:日医中央研修3回、26都道府県68回)

第2期 合計:22,228名

第3期

R4年度受講者:6,618名
(研修開催回数:日医中央研修3回、27都道府県56回)

R5年度受講者:5,872名※
(研修開催回数:日医中央研修3回、16都道府県22回
※ R5.12.6現在)

第3期 合計:12,490名

修了者数 認定期間有効実人数(R2~4年度):4,158名 累計:12,578名

R2年度修了者:1,547名 R3年度修了者:1,225名 R4年度修了者:1,386名

日本医師会医学図書館の特徴①（日医会館地下1階）

約990タイトルの専門雑誌や書籍など、11万点以上の資料を揃えているほか、全国の医学図書館や大学附属図書館、国立国会図書館、海外の図書館とも連携してサービスの充実を図っており、多くの会員の利用に応えています。

特徴1 登録料や手続きは不要

- 日本医師会の会員であれば、図書館利用の登録料や手続きは不要で、すぐに医学図書館をご利用いただけます。



特徴2 ユニークな蔵書構成

- 主要な臨床医学の雑誌に加え、保健医療制度、医療政策、医史学等、大学医学部の図書館などには見られない、日本医師会ならではの特色あるコレクションを取り扱っています。
- 日常診療や臨床研究に必要な時をはじめ、地域医療において制度や政策を知りたい時、過去の出来事や経緯を調べたい場合などにもご活用いただけます。

日本医師会医学図書館の特徴②(日医会館地下1階)

特徴3 幅広い対応

- 勤務先の病院図書室の蔵書に見当たらない場合など、お申込みいただければ、医学図書館の蔵書をはじめ、他の大学図書館等から該当資料を入手し、お届けいたします。
- 所蔵の有無や文献情報を事前にお調べいただかなくとも、気になる文献がありましたら気軽に本会ホームページからお申込みいただければ、医学図書館にて必要事項を補足し、文献を入手してお届けいたします。

※ 現行の著作権法上、複写物は郵便でのお届けとなります(有料)。

特徴4 文献複写サービス

- 医学図書館は文化庁長官の指定を受けた図書館で、大学図書館等と同等に資料の複製を行うことができます。
- 企業等による文献提供サービスと異なり著作権使用料等の負担が不要のため、安価で文献複写を提供しています。電子ジャーナルに掲載された論文も医学図書館や大学図書館等から入手が可能ですので、論文単位で個人購読する場合よりも安価※にお届けいたします。

※ (例) Anatomical Science International (1論文)
医学図書館での複写 : 1頁@20~50円+郵送料
論文単位での個人購読 : 1論文約5,000円

日本医師会医学賞受賞者 (H19～)

H19.11.1	奥村 康	順天堂大学	H27.11.1	岩井 一宏	京都大学大学院
H19.11.1	高野 健人	東京医科歯科大	H27.11.1	磯 博康	大阪大学大学院
H19.11.1	門脇 孝	東京大学大学院	H27.11.1	藤田 敏郎	東京大学
H19.11.1	西田 輝夫	山口大学大学院	H27.11.1	笹子三津留	兵庫医科大学
H20.11.1	間野 博行	自治医科大学	H28.11.1	河西 春郎	東京大学
H20.11.1	上島 弘嗣	滋賀医科大学	H28.11.1	小川 久雄	国立循環器病センター
H20.11.1	日比 紀文	慶應義塾大学	H28.11.1	澤 芳樹	大阪大学大学院
H21.11.1	米田 悦啓	大阪大学大学院	H29.11.1	高柳 広	東京大学大学院
H21.11.1	岸 玲子	北海道大学大学院	H29.11.1	小泉 昭夫	京都大学大学院
H21.11.1	波利井清紀	杏林大学	H29.11.1	荒木 栄一	熊本大学大学院
H22.11.1	山中 伸弥	京都大学	H30.11.1	狩野 方伸	東京大学大学院
H22.11.1	辻 省次	東京大学大学院	H30.11.1	津金昌一郎	国立がん研
H22.11.1	森 正樹	大阪大学大学院	H30.11.1	小林 哲郎	冲中記念成人病研
H23.11.1	武藤 誠	京都大学大学院	H30.11.1	本庶 佑	京都大特別教授
H23.11.1	浅香 正博	北海道大学大学院	R1.11.1	高橋 雅英	名古屋大学
H23.11.1	中村 耕三	国立障害者リハセン	R1.11.1	辻 一郎	東北大学
H24.11.1	仲野 徹	大阪大学大学院	R1.11.1	戸田 達史	東京大学
H24.11.1	佐藤 洋	内閣府	R2.11.1	水島 昇	東京大学
H24.11.1	下川 宏明	東北大学大学院	R2.11.1	近藤 克則	千葉大予防医学センター
H24.11.1	高橋 公太	新潟大学大学院	R2.11.1	小池 和彦	東京大学
H25.11.1	小川 誠司	京都大学大学院	R3.11.1	岩坪 威	東京大学
H25.11.1	川上 憲人	東京大学大学院	R3.11.1	中村 好一	自治医科大学
H25.11.1	清野 裕	関西電力病院	R3.11.1	小室 一成	東京大学
H26.11.1	畠山 昌則	東京大学大学院	R3.11.1	北川 雄光	慶應義塾大学
H26.11.1	酒井 敏行	京都府立医科大	R4.11.1	今中 雄一	京都大学
H26.11.1	山本 一彦	東京大学大学院	R4.11.1	福田 恵一	慶應義塾大学
			R4.11.1	伊達 洋至	京都大学

日本医師会医学研究奨励賞

- 日本医師会医学研究奨励賞（Medical Research Encouragement Prize of The Japan Medical Association）は、**日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っているもの**に授与する。
- 本賞は、毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学（内科系）、臨床医学（外科系）の各部門を通じ計15名に授与する（令和4年度は**副賞として1名150万円を授与**）。
- 日本医学会分科会長、大学院医学系研究科長または大学医学部長・医科大学長、大学附属病院長（本院）、関係機関長、都道府県医師会長に各部門それぞれ1名以内の推薦を依頼する。
- 本賞の選考は、日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会があたる。
- 研究成果を論文によって発表する際には、和文・英文を問わず、日本医師会医学研究奨励賞を受賞した旨を明記し、その別刷2部を下記（日本医師会事務局宛）に送付する。



医師が医師会に入ることのメリット

1. 日本医師会 医師賠償責任保険
2. 医師資格証
3. 日本医師会 医師年金・医師国保
4. 女性医師・若手医師支援
5. 日本医師会からの情報発信
6. 日本医師会 認定産業医、認定健康スポーツ医
7. 学術団体としての日本医師会
8. **世界と日本医師会**



- 1947年9月17日、パリにおいて27か国のからの医師が一堂に会して設立
日本医師会は1951年の第5回ストックホルム総会において加盟
- 医学教育・医学・医術および医の倫理における国際的水準をできるだけ高め、
また世界のすべての人々を対象にしたヘルスケアの実現に努めながら人類に
奉仕することを目的としている。

- 過去、**日本医師会から3名がWMA会長に就任**

武見太郎元会長 (1975年就任、第29代会長)
坪井栄孝元会長 (2000年就任、第52代会長)
横倉義武名誉会長 (2017年就任、第68代会長)

- 現在、**日本医師会から3名の理事を派遣**

松本吉郎会長
角田 徹副会長 (WMA理事会副議長)
今村英仁常任理事



横倉 義武 第68代世界医師会長
2017年10月13日 世界医師会シカゴ総会

JDN と JMA-JDN

- 2010年10月のWMAで、世界中の若手医師が情報や経験を共有し、未来の医療を考え行動するための国際的なプラットフォーム **Junior Doctors Network (JDN)**の設置が承認された
- 2012年10月、**日本の若手医師の有志**によるプラットフォーム **Japan Medical Association Junior Doctors Network (JMA-JDN)** が活動開始

具体的な活動内容

- 世界の同世代の仲間と医療問題を議論し、解決策を模索して研究すること
- 各国の社会的・文化的背景を知ること
- 若手医師の意見を纏めてPolicy Statementを提案すること
- 海外留学のための情報や機会を得ること



武見国際保健プログラム

- 国際保健に功績のあった武見太郎元日本医師会長の功績を称え、1983年にハーバード大学が日本医師会の協力の下、同大学公衆衛生大学院に設立した**中堅の医療従事者のための研究・高度研修プログラム**
- 2023年7月までに**日本人フェロー68名**を含む**61カ国322名**の武見フェローを輩出
- 各国の大学、官民研究所、政府保健当局、非政府組織、国際機関といった国際保健の第一線で活躍するなど、その国際ネットワークは世界中に広がっている
- 同プログラムに参加した武見フェローの専門は、経済学、栄養学、看護学、医学教育、地域医療、疫学、生命倫理学、医療サービスの利用、感染症、社会学、救急医療、医療保険、労働衛生、政策学など多岐にわたる
- 日本医師会は武見プログラムの設立当初よりその活動を支援し、特に1994年以降は選考委員会を設け、毎年2名の日本人フェローを選考し、**奨学金300万円**（2名分計600万円）をそれぞれ付与して送り出している

武見フェロー帰国報告

日本医師会のホームページで視聴可能

2021-2022年度



宮原 麗子
国立感染症研究所感染症疫学センター 第14室室長
「結核高蔓延国タイにおける結核感染高リスク群の同定と介入の検討」

2020-2021年度



阿部 計大
東京大学大学院医学系研究科 公衆衛生学特任研究員
「要介護高齢者に対する居宅介護サービスの有効性の検討」

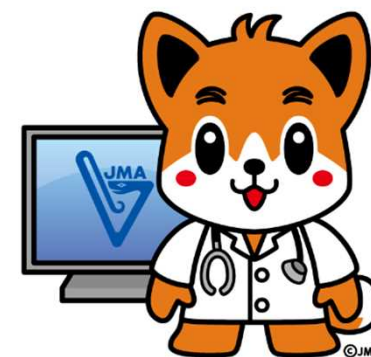
2019-2020年度



中込 敦士
千葉大学大学院医学研究院 循環器内科医員
「死別後のうつをソーシャルキャピタルは緩和するか」



小熊 妙子
東京大学大学院医学系研究科 公衆衛生学 特任助教
「アジア地域のHIV関連スティグマ」ほか





日本医師会 会員限定割引ホテル ON LINE 予約サービス

日医には
こんな特典も
あるよ!



全国28のホテル及びホテルチェーンの協力を得て、宿泊割引制度を実施しています。一部のホテルでは、臨床研修医向けの優待プランやレストラン・婚礼割引プランもありますので、ご利用ください。

<ホテル及びホテルチェーンの例>



東京ステーションホテル



東京ドームホテル



ルートインホテルズ



JR西日本ホテルズ*



阪急阪神第一ホテル
グループ*



ワシントンホテルズ*

*臨床研修医向け優待プランあり

<都内ホテル>

- アンダーズ東京
- The Okura Tokyo
(旧ホテルオークラ東京)
- 帝国ホテル東京・大阪
- ハイアットリージェンシー東京
- ホテル椿山荘東京
- ホテルニューオータニ
- リーガロイヤルホテル東京

<ホテルチェーン>

- オークラニッコーホテルズ
- JR東日本・JR東海ホテルズ
- JR西日本ヴィアインホテルズ
- 東急ホテルズ&リゾート
- 野村不動産ホテルズ
- バレスホテルグループ
- 藤田観光リゾート
- プリンスホテルズ&リゾート
- ホテルトラスティ

【利用方法】

希望される各ホテルのページよりWEB申し込みをするか（一部ホテルを除く）、各ホテルが用意した「FAX申込書」をダウンロードしたうえで、必要事項をご記入し、直接お申し込みいただくことになります。

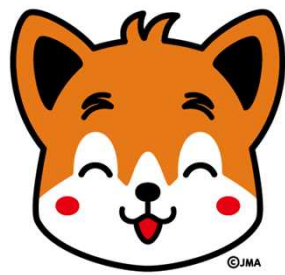
<https://www.med.or.jp/japanese/members/hotel/>



[ホテル予約サービス（会員特別割引）
：日医メンバーズルーム内]

医師会は、 コミュニケーションの場

- 地域の医師同士の**コミュニケーション**
- 地域の多職種との**コミュニケーション**
- 国内外の医師との**コミュニケーション**



日本には、素晴らしいインフラがある

すべての地域に、郡市区等医師会****

すべての都道府県に、都道府県医師会****

全国をカバーする、日本医師会** がある**

**医師会があることが、すべての国民と
医師にとって大きなメリットである！**

医師会のメリットは、

二つの視点 で考えてください

- 医師が医師会を**持つこと**のメリット
- 医師が医師会に**入ること**のメリット



あなたが医師会に加入することが、
「国民の生命と健康を守ること」
「医師の医療活動を支えること」
につながります。



教えて！日医君！ 「知って欲しい！ 日本医師会」



日本医師会の歴史や主な活動について、分かりやすく解説しています。

「医学生・研修医向け」と「国民向け」の2種類ありますので、是非一度ご覧ください。

【医学生・研修医向け】

https://youtu.be/M_Qfep3ljw8



【国民向け】

<https://www.youtube.com/channel/UCrZ632iTbtYIZ5S2CtGh6r>



本日の内容

Part 1. 医師会入会率等の現状分析

Part 2. 入会促進に向けた取り組み例

Part 3. 組織強化に向けた取り組み

Part 4. 医師会って、なんだ! ?

Part 5. まとめ



まとめ ①

- 「全ての医師を代表する組織」としてのプレゼンスや発言力を高め、国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支えるという医師会の役割を果たしていくためにも、**医師会の組織率を、上昇の方向に転じさせることが必要**です。
- そのため、以下について特段のご協力をいただきたい。

1. 会費減免期間の延長

令和5年度より日本医師会が実施する、医学部卒後5年目までの会費減免期間の延長について、その実効性を高めるためには、**各地域医師会と足並みを揃えて実施することが不可欠**です。引き続き、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 臨床研修医への対応

- ① 医師会員の卒後2年目の臨床研修医については、特に、3月から4月にかけて、会員区分の変更手続きが必要となります。そのため、**3年目以降も医師会員として継続してもらえよう**、各医師会におかれましては、特段のご協力をお願いいたします。
- ② 非会員の臨床研修医については、今から入会すれば、3～4年以上の会費減免が適用されることとなります。**臨床研修医の今からの入会**についても、特段のご協力をいただければ幸いです。

3. 来年度の新臨床研修医への対応

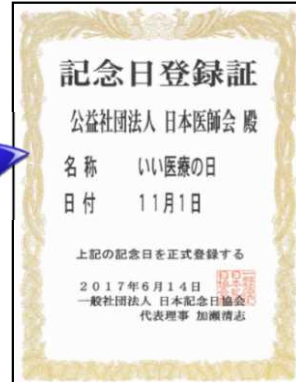
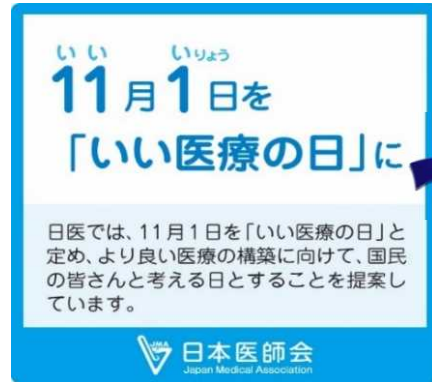
来年度より、臨床研修医となる先生方の入会（日本医師会まで）についても、一層のご協力をお願いいたします。

まとめ ②

- また、入会促進にあたっては、face to face の取り組みの重要性がアンケート等からも指摘されていることから、たとえば、病院に直接ご足労いただくなど、対話を通じた入会促進ということもぜひ考慮いただきたい。
- 併せて、継続的な組織強化の取り組みに向けて、**①仕組みづくり、②三層すべての医師会への入会**と、開業医については廃業後も医師会員として残ってもらうための取り組み、**③会費減免と、会費減免終了後に医師会に残ってもらうための取り組み**について、ぜひご検討いただき、取り組みを進めていただきたい。
- 入会した若手医師に対しては、医師会員としての定着を図るべく、**医師会事業への理解促進並びに帰属意識の醸成に向けた取り組み**の実施もご検討いただきたい。



ご清聴ありがとうございました



日本記念日協会に
認定されました！

*<http://www.kinenbi.gr.jp/>

11月1日は
「いい医療の日」



公益社団法人日本医師会創立70周年
「いい医療の日」制定記念切手

